

愛媛県美術館

平成29年度年報・研究紀要第17号

**ANNUAL REPORT
and
BULLETIN**

THE MUSEUM OF ART, EHIME

総目次

■ 平成29年度年報

I	沿 革	1
II	展覧会事業	
1	所蔵品展示	2
2	企画展示・共催展示	10
III	作品の収集事業及び保存管理	
1	収集方針	40
2	取得作品の概要	41
3	収蔵作品数	44
4	保存・修復	44
5	館蔵品貸出状況	46
IV	調査研究事業	54
V	教育普及事業	
1	普及啓発事業	57
(1)	連続講座	
(2)	一日講座	
(3)	土曜講座	
(4)	コレクショントーク	
2	創作活動支援事業	61
(1)	アトリエの設置	
(2)	創作学習の支援	
3	美術情報関係事業	62
(1)	美術館情報発信	
(2)	美術情報の提供	
4	他機関との連携事業	63
(1)	館内プログラム	
(2)	館外プログラム	
(3)	大学との連携	
(4)	審査員・委員	
(5)	原稿執筆	
5	その他	71
(1)	第19回愛媛県美術館開館記念イベント	
(2)	平成29年度文化庁・地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業	
VI	貸館事業	
1	展示施設の利用方法	73
2	展示施設の利用状況	74

VII	入館者の状況	78
VIII	組織及び職員構成	
1	組織図	79
2	職員名簿	79
IX	愛媛県美術館協議会委員名簿	80
X	関係法規	
1	愛媛県美術館使用料条例	81
2	愛媛県美術館管理規則	81
3	愛媛県博物館協議会設置条例	86
4	愛媛県美術館協議会運営規則	86
5	愛媛県美術品等収集評価委員会設置要綱	86
XI	施設・設備の概要	88

■ 愛媛県美術館研究紀要 第17号

- * アトリエにおける版画制作の安全性を考える 石崎三佳子
- * 高橋周桑 人と作品 長井健

○ 開館までの歩みとその後

- 昭和45年 9月 愛媛県立美術館が開館
- 昭和54年10月 愛媛県立美術館分館郷土美術館を設置
- 平成2年 5月 生活文化県政推進懇談会で新しい美術館の建設が提言される
9月 愛媛県中核美術館整備検討委員会設置
(会長：門田圭三 委員21人)
- 平成3年 3月 第1回整備検討委員会開催
11月 「県民の美術館に対するニーズ調査及び特色ある美術館の調査」
(～4年2月まで)
11月 第2回整備検討委員会開催
- 平成5年 3月 第3回整備検討委員会開催
- 平成6年 6月 立地場所について検討委員会に確認
- 平成7年10月 第4回整備検討委員会開催
11月 中核美術館基本構想報告
- 平成8年11月 現状変更許可（文化庁）
12月 起工式
- 平成10年 4月 愛媛県立美術館は教育委員会から知事部局に移管
9月 定礎式
10月 愛媛県立美術館を廃止し、愛媛県美術館を設置
11月 落成式
- 平成12年 4月 知事部局から教育委員会へ移管
- 平成21年 3月 愛媛県美術館分館（萬翠荘）を知事部局に移管

II 展覧会事業

1 所蔵品展示

○ 企画展示室

平成29年6月13日～7月17日

都市と自然

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
速水御舟	ベルラジオの裏街	昭和6年(1931)	絹本着色・額	69.5×31.5	
三好藍石	布引瀑布図	明治25年(1892)	絹本墨画淡彩・軸	各173.0×75.0	
中林竹洞	江村煙火図	天保12年(1841)	紙本墨画・軸		寄託作品
都路華香	舞子浜図	明治時代後期	絹本墨画・四曲屏風一隻	170.0×261.0	
狩野山雪	山水図屏風	江戸時代初期	紙本墨画・四曲屏風一隻		寄託作品
甲賀文麗	四季耕作図屏風		紙本着色・六曲屏風一双		寄託作品
松本山雪	製茶風俗図屏風	江戸時代初期	紙本墨画淡彩・六曲屏風一双	各161.0×360.0	
	賀茂競馬図屏風		紙本着色・六曲屏風一双		寄託作品
	西日本名城図屏風		紙本着色・六曲屏風一双		寄託作品
岩波昭彦	マンハッタン	平成15年(2003)	紙本着色・四曲屏風一隻	152.0×304.0	
岩波昭彦	駅	平成16年(2004)	紙本着色・額	146.0×71.0	
岩波昭彦	五番街	平成13年(2001)	紙本着色・額	146.0×71.0	

平成29年6月13日～7月17日

海をみる、私をみる

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
土田次枝	瀬戸内海	昭和40年(1965)	油彩・画布	116.0×91.4	
土田次枝	海に見える丘	昭和34年(1959)	油彩・画布	90.6×116.1	
土田次枝	海の前の静物	昭和37年(1962)	油彩・画布	100.0×80.2	
野間仁根	画室	昭和8年(1933)	油彩・画布	162.0×130.3	
野間仁根	鷗	昭和6年(1931)	油彩・画布	91.0×65.2	
野間仁根	海と生物	昭和30年(1955)	油彩・画布	90.9×116.7	
野間仁根	来島水道仲渡島附近	昭和42年(1967)	油彩・画布	72.7×91.0	
野間仁根	来島水道	昭和40年(1965)	油彩・画布	97.0×130.3	
大野逸夫	三津内港	昭和49年(1974)	油彩・画布	97.0×145.0	
河本一男	瀬戸の海		油彩・画布	91.0×116.8	
吉田博	春の瀬戸内海	大正時代	油彩・画布	45.5×60.6	
中川八郎	寒霞溪四望眺より	大正5年(1916)	油彩・画布	45.6×37.8	
中川八郎	漁村風景		油彩・画布	33.3×45.5	
中川八郎	漁港		油彩・画布	45.5×33.5	
古茂田公雄	伯方島	昭和37年(1962)	油彩・画布	38.0×45.5	
古茂田公雄	中島風景	昭和32年(1957)	油彩・画布	60.6×72.7	
古茂田公雄	佐田岬燈台	昭和38年(1963)	油彩・画布	53.0×72.5	
畦地梅太郎	八幡浜ノ海 『創作版画 伊豫風景』より	昭和11年(1936)頃	木版・紙	27.5×36.0	
畦地梅太郎	高浜四十島 『創作版画 伊豫風景』より	昭和11年(1936)頃	木版・紙	27.5×36.5	
石崎重利	窓辺静物	昭和17年(1942)	木版・紙	34.3×45.3	
石崎重利	伊予・今治港	昭和12年(1937)	木版・紙	20.0×28.2	
石崎重利	伊予・来島瀬戸	昭和12年(1937)	木版・紙	20.1×27.8	
石崎重利	伊予・松山遠望	昭和12年(1937)	木版・紙	11.8×28.1	

平成29年6月13日～7月17日

「時」の諸相、「場」の記憶

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
村上保	降りた天蛾	平成16年(2004)	乾漆	125.0×135.0×115.0	
井出創太郎	piacer d'amor bush<蘭塔婆>—銅の山 時の便り—	平成19年(2007)	エッチング緑青刷り・石膏	190.0×140.0×30.0	
大竹敦人	乳化庭／三本の楠から	平成18年(2006)	ガラス玉・写真	各径40.0	
白岡順	新居浜、愛媛 1971年11月	昭和46年(1971)	ゼラチンシルバープリント	16.6×24.6	
白岡順	Versailles,France 1980年7月8日	昭和55年(1980)	ゼラチンシルバープリント	16.6×24.6	
白岡順	Monmartre,Paris,France 1981年5月	昭和56年(1981)	ゼラチンシルバープリント	16.6×24.6	
白岡順	Centre G.Pompidou,France 2006年7月10日	平成18年(2006)	ゼラチンシルバープリント	16.6×24.6	

吉田勝彦	隅田川河岸 勝鬨橋近辺	平成3年(1991)	エングレーヴィング・紙	23.8×36.3	
吉田勝彦	隅田川河岸 向島・言問橋 春うらら	平成3年(1991)	エングレーヴィング・紙	29.8×36.3	
吉田勝彦	隅田川河岸 浜離宮夕照	平成3年(1991)	メゾチント・紙	24.0×36.3	
吉田勝彦	隅田川河岸 月と星と(1991年、1月17日P.M.8:40)	平成3年(1991)	メゾチント・紙	18.0×29.6	
吉田勝彦	隅田川河岸 永代橋・越中島付近	平成3年(1991)	エングレーヴィング・紙	23.8×36.0	
遠藤広実	吉野・龍田図	安政3年(1856)	絹本着色・軸対幅	各95.5×30.2	
伊藤溪水	四季花鳥図屏風		絹本金地着色・六曲屏風一雙	各169.0×372.0	
遠藤貫周	花旅路・滝見・紅葉狩・雪遊		絹本着色・軸四幅対		寄託作品
猪熊弦一郎	LANDSCAPE.L.O.	昭和47年(1972)	アクリル・画布	127.5×102.0	
猪熊弦一郎	時代は躍進する[緞帳原画]	昭和61年(1986)	アクリル・画布	52.5×100.0	
三野計	かわたれ時	平成20年(2008)	墨、油彩、トナー・紙	53.0×90.0	
大竹伸朗	芥子／音影II	平成20年(2008)	油彩、墨、ボールペン ほか	125.0×105.0×8.0	
吉峯和美	Passage of time 2	平成20年(2008)	油彩・亜麻	50.0×55.0	
吉峯和美	Passage of time 3	平成20年(2008)	油彩・亜麻	50.0×55.0	
松本秀一	蚕豆	平成4年(1992)	メゾチント・紙	9.6×6.2	
松本秀一	李	平成5年(1993)	メゾチント・紙	16.0×16.3	
洗春海	ざくろ	昭和50年(1975)	油彩・画布	31.8×41.0	
坂本榮太郎	寒山子	昭和47年(1972)	ブロンズ	9.5×9.0×9.6	
吉岡正人	浅き夢		テンペラ、油彩・石膏地、ハードボード	50.0×91.0	寺田コレクション
上田勇一	ドライブフラワー	平成20年(2008)	シルバーポイント・板	72.8×30.0	

平成29年6月13日～7月17日
武智光春コレクション 福田平八郎一夏の風物

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
福田平八郎	鮎	昭和38年(1963)	紙本着色・額	41.0×58.5	
福田平八郎	鯉(丹頂)	昭和38年(1963)	紙本着色・額	77.3×52.1	
福田平八郎	初夏	昭和40年(1965)	紙本着色・額	38.0×46.0	
福田平八郎	青楓大瑠璃	昭和40年(1965)	紙本着色・額	45.6×33.4	
福田平八郎	蛸	昭和43年(1968)	紙本着色・額	40.9×53.0	

平成29年6月13日～7月17日
華麗なる19-20世紀フランス絵画の世界

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	ヴァイル＝ダヴレー 白樺のある池	1855-60年頃	油彩・画布	49.0×73.0
ギュスターヴ・クールベ	波	1869年	油彩・画布	49.0×73.0
ウジェーヌ＝ルイ・ブーダン	プレスト、停泊地	1872年	油彩・画布	55.2×89.5
クロード・モネ	アンティーブ岬	1888年	油彩・画布	65.0×92.0
ポール・セザンヌ	水の反映	1888-90年頃	油彩・画布	65.0×92.0
ピエール・ボナール	アンドレ・ボナール嬢の肖像 画家の妹	1890年	油彩・画布	188.0×80.0
ウジェーヌ・グラッセ	瞑想	1897年	リトグラフ・紙	87.7×54.0

○ 常設展示室 1

平成29年9月9日～11月6日
愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会開催記念 侍 samurai の美

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
	源平合戦図屏風	江戸時代	紙本金地着色・六曲屏風一雙		寄託作品
	黒漆塗投頭巾形兜 前立銀箔押向兜	江戸時代	兜		寄託作品(伊佐爾波神社蔵)
	卯ノ花威具足(松平定長奉納)	江戸時代	甲冑		寄託作品(伊佐爾波神社蔵)
	皺草包浅葱糸花色具足(松平定長奉納)	江戸時代	甲冑		寄託作品(伊佐爾波神社蔵)
	金小札白糸威二枚胴具足(翁具足)	江戸時代	甲冑		東雲神社蔵
	金彩獅子枝菊和製南蛮胴具足	江戸時代	甲冑		東雲神社蔵
	紫糸中紅威三十八間筋兜	南北朝時代	兜		東雲神社蔵
	太刀 銘助包【重要文化財】	鎌倉時代	刀剣		寄託作品(東雲神社蔵)
	短刀 銘国弘作【重要文化財】	南北朝時代	刀剣		寄託作品(東雲神社蔵)
	太刀 銘国行【重要文化財】	鎌倉時代	刀剣		寄託作品(伊佐爾波神社蔵)
	猩々緋鎧羽織(松平定長奉納)	江戸時代	羽織		寄託作品(伊佐爾波神社蔵)
佐伯量良	強弓		木	110.0×60.0×28.0	

鱸松堂	神武帝金鶏呈祥図		絹本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	八幡太郎義家図		絹本着色・軸		寄託作品
梶田半古	鶴越	明治25年(1893)	絹本着色・軸	143.0×69.0	
伊藤溪水	平敦盛像	明治時代後期	絹本着色・軸	15.0×80.0	
伊藤溪水	武士図		絹本着色・軸		寄託作品
谷口香嶺	鶴越		絹本着色・軸		寄託作品
川辺旭陵美箱	雪中行軍		絹本着色・軸		寄託作品
	源平合戦図屏風	江戸時代	紙本金地着色・六曲屏風一雙		寄託作品
岩波昭彦	俱利伽羅谷の合戦	平成10年(1998)	紙本着色・四曲屏風一隻	152.0×304.0	
岩波昭彦	六波羅行幸の武者	平成13年(2001)	紙本着色・額	162.0×97.0	
岩波昭彦	八艘跳び 源義経	平成29年(2017)	紙本着色・額		個人蔵

平成29年11月14日～平成30年1月28日
ものあはれ—物語と季節の趣

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
高橋周桑	冬木立	昭和5年(1930)頃	紙本着色・額	65.0×50.0	
伊東正次	黒牡丹図	平成26年(2014)	紙本着色・額	103.0×60.0	
岩波昭彦	秋の匂い	平成元年(1989)	紙本着色・額	146.0×71.0	
梶田半古	平安美人		紙本着色・軸		寄託作品
遠藤貫周	平安美人図		絹本着色・軸		寄託作品
遠藤貫周	貴人弾琴図		絹本着色・軸	112.8×34.5	
遠藤貫周	花旅路・滝見・紅葉狩・雪遊		絹本着色・軸四幅対		寄託作品
住吉広賢	小督局図・清少納言図		絹本着色・軸対幅		寄託作品
遠藤広実	源氏物語 初音・真木柱図	嘉永元年(1848)	絹本着色・軸対幅		寄託作品
遠藤広実	春秋観花図		絹本着色・軸		寄託作品
遠藤広実	貴人観楓図	江戸時代後期	絹本着色・軸	81.3×31.6	
遠藤広古	貴人観月図		紙本着色・軸		寄託作品
宗達派	武蔵野図屏風	江戸時代前期	紙本金地着色・六曲屏風一雙		寄託作品
高橋乙斗	菊花		紙本着色・額		寄託作品
矢野鉄山	上高地焼岳	昭和9年(1934)	紙本着色・額	273.0×181.0	
伊東正次	野仏図		紙本着色・額		寄託作品

平成30年2月3日～4月2日
矢野橋村と矢野鉄山

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
矢野橋村	枝頭宿鳥		紙本墨画淡彩・額		寄託作品
矢野橋村	瀑布		紙本墨画淡彩・軸		寄託作品
矢野橋村	秋山帰樵	昭和14-19年(1939-44)頃	紙本淡彩・軸		寄託作品
矢野橋村	湖山清曉	大正2年(1913)	紙本淡彩・軸		寄託作品
矢野橋村	秋山水図	大正6年(1917)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	早春図	大正7年(1918)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	圓蔵寺一隅	大正8年(1919)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	近藤尺天像	大正9年(1920)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	水仙図	大正9年(1920)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	双鶴図	大正15年(1926)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	童戯図	昭和2年(1927)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	月明	昭和4年(1929)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	雨霽	昭和27年(1952)頃	紙本金地墨画・六曲屏風一雙		寄託作品
矢野橋村	松間	昭和33年(1958)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	富貴図	大正9年(1920)	紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	玉堂富貴図		紙本着色・軸		寄託作品
矢野橋村	羅浮逢仙	大正10年(1921)	紙本墨画・六曲屏風一雙		寄託作品
矢野鉄山	松壑(吟雪)	大正9年(1920)	紙本墨画・額	240.0×94.5	
矢野鉄山	廬山瀑布図	大正15年(1926)	紙本墨画・額	160.0×140.0	
矢野鉄山	孤琴涓潔	昭和4年(1929)	紙本墨画淡彩・額	233.2×214.2	
矢野鉄山	媚風	昭和47年(1972)	紙本着色・額	160.0×90.0	

○ 常設展示室2

平成29年11月14日～平成30年1月28日

生誕140年 中川八郎

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
中川八郎	風景		油彩・画布	53.0×72.0	
中川八郎	寒霞溪四望眺より	大正5年(1914)	油彩・画布	45.6×37.8	
中川八郎	維懸城壁	大正5年(1914)	油彩・画布	45.5×33.3	
中川八郎	杏花の村	大正7年(1916)	油彩・画布	89.5×130.3	
中川八郎	風景	大正8年(1917)	油彩・画布	33.3×45.5	
中川八郎	裾野残雪	大正9年(1918)	油彩・画布	60.6×80.3	
中川八郎	浅間之秋	大正9年(1918)	油彩・画布	33.3×45.5	
中川八郎	漁村風景		油彩・画布	33.3×45.5	
中川八郎	風景		油彩・画布	53.0×72.0	
中川八郎	漁港		油彩・画布	45.5×35.5	
中川八郎	奈良風景		油彩・画布	37.9×45.3	
中川八郎	風景		水彩・紙	45.5×53.0	
中川八郎	木曾の風景	明治32年(1899)	水彩・紙	37.2×54.5	
中川八郎	アゼリア	明治38年(1905)	水彩・紙	38.3×55.0	
中川八郎	東横堀	明治42年(1909)	水彩・紙	45.5×33.3	
中川八郎	風景(投網)	明治時代後期	水彩・紙	33.6×50.7	
中川八郎	風景(帆掛舟)	明治時代後期	水彩・紙	33.7×50.4	
中川八郎	門前の松原	明治時代後期	水彩・紙	34.2×51.3	
中川八郎	山城遠望	明治時代後期	水彩・紙	39.2×55.8	
中川八郎	松のある海辺の風景	明治時代後期	水彩・紙	50.7×33.1	
中川八郎	風景		水彩・紙	45.5×32.3	
中川八郎	アラブの母子		水彩・紙	24.0×17.0	
中川八郎	風景		水彩・紙	45.5×53.0	
中川八郎	風景		水彩・紙	45.5×32.3	
河合新蔵	風景(日暮里)	明治時代後期	水彩・紙	35.6×49.8	
河合新蔵	門前囃	明治時代後期	水彩・紙	49.2×32.5	
丸山晚霞	秋景	明治35年(1902)	水彩・紙	32.9×49.8	
丸山晚霞	桜の茶屋	明治時代後期	水彩・紙	34.5×50.6	
大下藤次郎	笑花園	明治35年(1902)	水彩・紙	34.1×51.0	
大下藤次郎	松山新立橋	明治44年(1911)	水彩・紙		寄託作品
満谷国四郎	帰漁	明治33年(1900)頃	水彩・紙	24.2×32.6	
中澤弘光	上州塩原	明治40年(1907)	水彩・紙	23.5×30.2	杉浦非水 旧蔵
吉田博	丘の上の家	明治35年(1902)	水彩・紙	34.2×51.8	
吉田博	霧の木立	明治36年(1903)	水彩・紙	48.1×67.7	
吉田博	藤香漂う春の宵囃	明治時代後期	水彩・紙	50.5×33.9	
杉浦非水	大正十二年夏 テッセーラ・マドレーヌにて	大正12年(1923)	水彩・紙	25.8×22.5	
杉浦非水	[フランス風景]	大正12年(1923)頃	水彩・紙	25.8×22.5	
杉浦非水	[フランス風景]	大正12年(1923)頃	水彩・紙	25.8×22.5	
	杉浦非水旧蔵 画材一式				
中西利雄	少女像	昭和14年(1939)	水彩・紙	62.0×48.5	
中西利雄	H嬢	昭和18年(1943)	水彩・紙	63.5×49.0	
小堀進	海(大島)	昭和49年(1974)	水彩・紙	66.0×99.7	

平成29年11月14日～平成30年1月28日

武智光春コレクション 福田平八郎一冬の風物

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
福田平八郎	釣自画像	昭和11年(1936)	紙本着色・額	16.7×52.4	
福田平八郎	鸞(雪中)	昭和26年(1951)	紙本着色・額	31.4×41.0	
福田平八郎	寒牡丹小禽	昭和36年(1961)	紙本着色・額	32.4×24.5	
福田平八郎	鴛鴦	昭和40年(1965)	紙本着色・額	65.0×97.0	
福田平八郎	初雪	昭和41年(1966)	紙本着色・額	41.5×55.5	

平成29年11月14日～平成30年1月28日
ヨーロッパ美術にみる愛と怒り

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレー 白樺のある池	1855-60年頃	油彩・画布	49.0×73.0
ピエール・ボナール	アンドレ・ボナール嬢の肖像 画家の妹	1890年	油彩・画布	188.0×80.0
オシップ・ザッキン	恋人達 または、2つのトルソの親密性	1957-59年 (1998年鑄造)	ブロンズ	126.0×64.0 ×33.0
アルフォンス・ミュシャ	『ロレンザッチオ』のポスター	1896年	リトグラフ・紙	206.8×76.5
アルフォンス・ミュシャ	『メディア』のポスター	1898年	リトグラフ・紙	207.4×77.1

平成30年2月3日～4月2日
しずかなもの—静物画への視線

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
石崎重利	窓辺静物	昭和17年(1942)	木版・紙	34.3×45.3	
石崎重利	砂上静物	昭和19年(1944)	木版・紙	41.5×57.3	
吉田勝彦	コップに挿した春の野草	昭和59年(1984)	エッチング・紙	13.8×9.8	
吉田勝彦	コップに挿したシクラメン	昭和58年(1983)	ビュラン・紙	22.5×17.6	
吉田勝彦	ワイングラスに挿した春の野草	昭和59年(1984)	エッチング・紙	13.8×9.8	
吉田勝彦	玩具のある静物(佳世に)	昭和60年(1985)	メゾチント・紙	25.6×22.5	
松本秀一	李	平成5年(1997)	メゾチント・紙	16.0×16.3	
松本秀一	木の葉	平成5年(1997)	メゾチント・紙	12.2×16.4	
松本秀一	蚕豆	平成4年(1996)	メゾチント・紙	9.6×6.2	
古茂田公雄	ほご	昭和18年(1943)頃	スクラッチング・紙	19.9×28.9	
古茂田公雄	静物	昭和14-15年 (1939-40)	スクラッチング、着色・印画紙	22.0×26.5	
古茂田公雄	石膏	昭和15年(1940)	スクラッチング・紙	68.0×54.5	
古茂田公雄	カボチャ	昭和50年(1975)	油彩・画布	33.3×45.5	
古茂田公雄	柿		鉛筆・紙	19.9×27.5	
古茂田守介	柿		鉛筆・紙	24.7×34.1	
古茂田守介	西洋かぼちゃ		インク・紙	26.7×34.7	
古茂田守介	干魚	昭和34年(1959)	コンテ、パステル・紙	17.5×26.2	
古茂田守介	干魚と壺	昭和32年(1957)	油彩・画布	45.5×53.2	
古茂田守介	静物(1)	昭和30年(1955)	油彩・画布	65.5×91.2	
古茂田守介	静物(2)	昭和30年(1955)	油彩・画布	50.0×60.6	
野間仁根	静物	大正13年(1924)	油彩・画布	112.2×145.3	
野間仁根	静物	大正14年(1925)	油彩・画布	91.0×116.0	
野間仁根	花 ダリア	昭和45年(1970)頃	油彩・画布	45.5×53.0	
野間仁根	花	昭和2年(1927)	油彩・画布	91.0×72.8	
野間仁根	壺の中のダリア	昭和3年(1928)	油彩・画布	53.0×65.5	
野間仁根	薔薇	昭和46年(1971)	油彩・画布	31.8×41.0	
土田次枝	黄色い花のある静物	昭和34年(1959)	油彩・画布	65.2×53.0	
土田次枝	城山の見える静物	昭和36年(1961)	油彩・画布	91.2×116.7	
土田次枝	籠の魚	昭和34年(1959)	油彩・画布	80.3×65.0	
桂ゆき	静物	昭和50年(1975)	油彩・画布	60.5×72.8	
中山巍	月と静物	昭和27年(1952)	油彩・画布	116.7×80.3	
井上和	埴輪	昭和51年(1976)	油彩・画布	162.0×162.3	
井上和	窓辺の静物		油彩・画布	91.0×116.5	

平成30年2月3日～4月2日
武智光春コレクション 福田平八郎—春の風物

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
福田平八郎	白梅	昭和33年(1958)	紙本着色・額	41.2×62.0	
福田平八郎	鶴(折鶴)	昭和38年(1963)	紙本着色・額	40.0×29.2	
福田平八郎	光春	昭和44年(1969)	紙本着色・額	27.0×34.5	
福田平八郎	春に匂ふ	昭和45年(1970)	紙本着色・額	36.5×43.5	
福田平八郎	旭光富士	昭和46年(1971)	紙本着色・額	23.5×16.5	

平成30年2月3日～4月2日
ヨーロッパ美術にみる自然と人間

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
ジャン=バティスト=カミュー=コロー	ヴィル=ダヴレー 白樺のある池	1855-60年頃	油彩・画布	49.0×73.0
ウジェーヌ=ルイ=ブーダン	プレスト、停泊地	1872年	油彩・画布	55.2×89.5
ポール=セザンヌ	水の反映	1888-90年頃	油彩・画布	65.0×92.0
ピエール=ボナール	アンドレ=ボナール嬢の肖像 画家の妹	1890年	油彩・画布	188.0×80.0
ウジェーヌ=グラッセ	瞑想	1897年	リトグラフ・紙	87.7×54.0

○ 常設展示室3

平成29年4月5日～5月10日

平成28年度新収蔵品展

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
中川八郎	松のある海辺の風景	明治時代後期	水彩・紙	50.7×33.1
柳瀬正夢	Kの像	昭和9年(1934)	油彩・板	45.6×38.2
柳瀬正夢	人形(お使ひ)	1930年代	油彩・板	18.0×13.0
柳瀬正夢	大同の石仏 第一窟 西面壁の一部	昭和13年(1938)	水彩・紙	25.6×33.2
柳瀬正夢	黒の毛織い	昭和5年(1930)頃	水彩・紙	27.0×24.1
柳瀬正夢	雛人形	昭和8年(1933)	水彩・紙	26.0×23.5
柳瀬正夢	魚		油彩・板	9.5×8.0
柳瀬正夢	おでん屋のん兵衛		墨、水彩、鉛筆・紙	31.5×94.5
柳瀬正夢	鐘馭		絹本着色	132.0×30.3
三輪田俊助	ひらかれた壁	昭和39年(1964)	油彩・画布	80.6×100.0
古茂田公雄	佐田岬燈台	昭和38年(1963)	油彩・画布	53.0×72.5
大野雄山	猿谷の民家	昭和58年(1983)	水彩・紙	68.5×104.0
大野雄山	桜くもる道後	昭和63年(1988)	水彩・紙	37.0×46.0
宇高龍	マスクをかけた魚	1970年代	油彩・画布	117.0×91.0
宇高龍	お金を食べる男	1970年代	油彩・画布	117.0×91.0
宇高龍	自由を求めてNo1	1970年代	油彩・画布	117.0×91.0
宇高龍	人質	1970年代	油彩・画布	162.0×131.0
高見和秀	はるか	昭和63年(1988)	油彩・画布	73.0×117.0
真鍋博	「産経新聞日曜版 街・ウォッチング」挿絵画稿	昭和59年(1984)	墨、コピー・紙 ほか	19.8×13.0 ほか
真鍋博	「朝日新聞朝刊 朝のガスパール」 筒井康隆著 挿絵画稿	平成3-4年 (1991-92)	墨、ポスターカラー、スクリーン・ ン・紙 ほか	各18.0×25.6
真鍋博	「NITTOKU NEWS No.38」 日本特殊塗料株式会社 表紙ラフ	平成10年(1998)	色鉛筆・紙	17.3×18.2
真鍋博	「NITTOKU NEWS No.38」 日本特殊塗料株式会社 表紙原画	平成10年(1998)	墨・紙	17.8×18.1
真鍋博	「NITTOKU NEWS No.38」 日本特殊塗料株式会社 表紙画稿	平成10年(1998)	コピー、墨・紙(色鉛筆、TP)	25.1×21.5 ほか
真鍋博	「NITTOKU NEWS No.39」 日本特殊塗料株式会社 表紙校正刷	平成10年(1998)	コピー、墨・紙(色鉛筆、TP)	20.3×21.5
真鍋博	「星 第22巻」表紙画稿	平成12年(2000)	墨・紙(色鉛筆、TP)	13.5×15.2
真鍋博	「星 第22巻」表紙校正刷	平成12年(2000)	墨・紙(色鉛筆、TP)	21.0×15.6
真鍋博	「週刊朝日」CM 絵コンテ(4)		鉛筆・紙	各23.3×16.9
真鍋博	「週刊朝日」ジョンソン米大統領への手紙 (入選発表) CMカット		鉛筆・紙	18.3×25.7
真鍋博	「週刊朝日」CM カット		鉛筆、紙	18.8×31.8
真鍋博	「週刊朝日」CM セル画(cut5A)		ポスターカラー、セル	19.3×26.5
真鍋博	「週刊朝日」〈ニュース座談会〉ブラウン管から のぞいた1964年 CM セル画		ポスターカラー、セル	17.1×24.1
真鍋博	「太陽を抱く女」映画タイトル 絵コンテ	昭和39年(1964)頃	水彩・鉛筆、紙	36.8×9.5 ほか
真鍋博	「モンローのような女」映画タイトル 絵コンテ メインタイトル案	昭和38年(1963)頃	水彩・鉛筆、紙	17.0×9.2
真鍋博	「銀の長靴(ブーツ)」映画タイトル 絵コンテ	昭和42年(1967)頃	水彩・鉛筆、紙	24.6×16.4
真鍋博	「三味線とオートバイ」映画タイトル 絵コンテ	昭和36年(1961)頃	鉛筆、紙	各25.5×17.9

平成29年4月5日～5月10日
武智光春コレクション 福田平八郎—春の風物

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
福田平八郎	雉	昭和38年(1963)	紙本着色・額	45.6×36.5	
福田平八郎	光春	昭和44年(1969)	紙本着色・額	27.0×34.5	
福田平八郎	花菖蒲	昭和40年(1965)	紙本着色・額	26.5×23.5	
福田平八郎	竹鷄	昭和41年(1966)	紙本着色・額	28.0×43.0	
福田平八郎	隈笹鶯	昭和40年(1965)	紙本着色・額	53.5×44.5	
福田平八郎	鮎(静物)	昭和36年(1961)	紙本着色・額	40.7×59.0	

平成29年4月5日～5月10日
みどりを描く：19世紀フランスの絵画と版画

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレー 白樺のある池	1855-60年頃	油彩・画布	49.0×73.0
クロード・モネ	アンティーブ岬	1888年	油彩・画布	65.0×92.0
ポール・セザンヌ	水の反映	1888-90年頃	油彩・画布	65.0×92.0
ピエール・ボナール	アンドレ・ボナール嬢の肖像 画家の妹	1890年	油彩・画布	188.0×80.0
ウジェーヌ・グラッセ	瞑想	1897年	リトグラフ・紙	87.7×54.0

平成29年7月19日～10月9日
正岡子規生誕150年・柳原極堂生誕150年記念 子規門下の人々—阿部里雪コレクションを中心に

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	寸法(cm)
下村為山	子規庵句会写生図		紙本墨画・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
正岡子規	喫茶去	明治28年(1885)	紙本墨書・額	32.0×75.5	
正岡子規	拓本(柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺)		紙本拓本		寄託作品(阿部里雪コレクション)
正岡子規	梅花図	明治33年(1890)頃	紙本着色・軸	26.3×34.9	
正岡子規	陸羯南宛書簡 明治24年10月21日付	明治24年(1881)	紙本墨書・卷子	18.0×147.5	坪内コレクション
正岡律	大原ちか子宛葉書 等	大正7年(1918)	紙本墨書・はがき(軸装)	15.7×11.6 ほか	坪内コレクション
正岡子規	句「湯の町の門を閉たる夜寒哉」		紙本墨書・短冊		寄託作品(阿部里雪コレクション)
高浜虚子	書簡(阿部里雪・松根東洋城・内藤鳴雪宛)	大正8-9年(1919-20)	紙本墨書・卷子		寄託作品(阿部里雪コレクション)
高浜虚子	書簡(阿部里雪・柳原極堂宛)	大正12年(1923)か	紙本墨書・卷子		寄託作品(阿部里雪コレクション)
高浜虚子	句「さしくれし春雨傘を受鳥取し」		銅板焼付・短冊		寄託作品(阿部里雪コレクション)
高浜虚子	句「秋晴や坦々として十七字」		紙本墨書・短冊		寄託作品(阿部里雪コレクション)
高浜虚子	『伊予の湯』原稿		紙本墨書・冊子	27.2×19.7	
下村為山(画)／河東碧梧桐(句)	句「桐の花さく山畑の朝のふきおろしなる」		紙本淡彩／墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
柳原極堂	句「鶏頭に雨ふりそそぐ子規忌哉」		紙本墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
柳瀬正夢(画)／柳原極堂(句)	柳原極堂像		紙本墨画／墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
柳原極堂	句「春風やふね伊予に寄りて道後の湯」		紙本墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
柳原極堂	句「炭山の粉炭今宵はたりぬべし」		紙本墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
五百木飄亭	句「乏しきを分かちつくして除夜の鐘」		紙本墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
阿部里雪	句「飄亭の椅子たりし椅子年守る」		紙本墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
下村為山 ほか	扇面「花月帖」		紙本着色・画帖		寄託作品(阿部里雪コレクション)
下村為山	金魚図		紙本着色・扇面		寄託作品(阿部里雪コレクション)
夏目漱石	森次太郎宛書簡 大正2年6月2日付	大正2年(1913)	紙本墨書・卷子	本文18.3×105.8、封筒19.5×16.0	
村上霽月	句「行雲と孰れ日永の主哉」		紙本墨書・短冊		寄託作品(阿部里雪コレクション)
村上霽月	句「長湯してほてり長閑にくつろぎぬ」		紙本墨書・短冊		寄託作品(阿部里雪コレクション)
寒川鼠骨	句「あす雨とくるる山田やひたに刈る」		紙本墨書・短冊		寄託作品(阿部里雪コレクション)
長谷川竹友(画)／阿部里雪(賛)	阿部里雪像		紙本墨画／墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
長谷川竹友	上海風景		紙本淡彩・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
長谷川竹友	上海風景		紙本淡彩・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
塩月桃甫(画)／酒井黙禅(句)	句「湯の山のうしろ或時雪の峰」		紙本淡彩／墨書・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
中村不折	巖島図		紙本墨画淡彩・軸	41.8×50.7	井上正夫旧蔵

平福百穂	露の臺・かけ稲	大正13年(1924)	絹本着色・軸双幅	各148.5×50.0	
結城素明	春景山水図		紙本着色・額		寄託作品
石崎重利	松山名所図絵	昭和8年(1933)	木版・紙		寄託作品(阿部里雪コレクション)
長谷川竹友ほか	短冊		紙本着色・短冊		寄託作品(阿部里雪コレクション)
四田親水	上州草津温泉		紙本着色・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
四田親水	信州野沢温泉		紙本着色・軸		寄託作品(阿部里雪コレクション)
坂田虎一	阿部里雪像	昭和38年(1963)	油彩・画布		寄託作品(阿部里雪コレクション)

平成29年7月19日～10月9日

武智光春コレクション 福田平八郎一夏・初秋の風物

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
福田平八郎	茄子	昭和29年(1954)	紙本着色・額	37.0×51.6
福田平八郎	南瓜天津桃	昭和32年(1957)	紙本着色・額	35.6×52.5
福田平八郎	林檎	昭和41年(1966)	紙本着色・額	28.0×43.0
福田平八郎	爽秋	昭和42年(1967)	紙本着色・額	36.5×32.5
福田平八郎	葉鶏頭	昭和45年(1970)	紙本着色・額	39.0×52.0

平成29年7月19日～10月9日

20世紀の挑戦：ヨーロッパ美術の新展開

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
ヴァシリー・カンディンスキー	生き生きとした白	1934年	油彩・画布	60.0×73.0
アンドレ・ロート	マルグリットの肖像	1913年	油彩・画布	164.0×86.0
マリノ・マリニー	踊り子	1953年	鉛	155.0×32.0×35.0
オシップ・ザッキン	恋人達 または、2つのトルソの親密性	1957-59年 (1998年鑄造)	ブロンズ	126.0×64.0×33.0
ジャン・アルプ	ギュール	1963年(1976年鑄造)	ブロンズ	97.0×23.5×33.0

平成30年2月3日～4月15日

線と面と空間とーやさしい世界の描き方

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
山口華楊	飛んで来た目白	昭和56年(1981)	紙本淡彩・額	24.5×35.0
野間仁根	はまゆう	昭和38年(1963)頃	コンテ・紙	72.3×45.3
野間仁根	浜木綿	昭和38年(1963)	油彩・画布	72.5×53.0
古茂田公雄	マフラーの少女	昭和14-15年(1939-40)	スクラッチング・印画紙	25.9×22.0
井上正夫	藤図		紙本着色・額	31.7×33.5
田窪恭治	ドローイング3	平成6年(1994)	顔料・紙	70.3×103.0
吉田勝彦	小さな波止場	昭和60年(1985)	ビュラン・紙	29.5×36.0
吉田勝彦	死の森(木下闇) 銅版画集『森』より	昭和63年(1988)	エッチング・紙	37.4×51.0
上田勇一	ドライフラワー	平成20年(2008)	シルバーポイント・板	72.8×30.0
真鍋武	連鎖ーそこにあるものー	平成19-22年 (2007-2010)	鉄 ほか	
難波田龍起	コンポジション(青)A	昭和42年(1967)	油彩・画布	116.3×81.3
木下恵介	陽炎-水影-2	平成7年(1995)	エッチング、アクアチント、スピットバイト、リトグラフ、凹凸版刷り・紙	91.3×62.9
木下恵介	CALM-3	平成7年(1995)	エッチング、アクアチント、スピットバイト、凹凸版刷り・紙	91.8×62.8
木下恵介	CALM-5	平成7年(1995)	エッチング、アクアチント、スピットバイト、凹凸版刷り・紙	91.3×63.0
木下恵介	Marks-Lines-5.0.3	平成11年(1999)	リフトグラウンド、アクアチント、凹凸刷り・紙	91.0×63.0
オノサトシノブ	SILK-76	昭和51年(1976)	シルクスクリーン・紙	52.0×58.0
山田正亮	Work F.140	平成4年(1992)	油彩・画布	259.0×388.0
荒川修作	Beneath Untitled	昭和60-61年 (1985-86)	油彩、アクリル・画布、彩色された額	217.0×156.0
山口勝弘	ヴェトリース 空中の花	昭和30年(1955)	合成樹脂絵具・紙・木版	59.0×50.0×10.0
井川惺亮	Peinture(絵画)	平成3年(1991)	アクリル・紙	258.0×530.0

2 企画展示・共催展示

企画展示一覧

場所	展 覧 会 名	会 期
新 館	名嘉睦稔展 風の伝言（イアイ）を彫る	平成29年4月8日（土）～5月7日（日）
	若冲、琳派、かざりと雅 京都・細見美術館名品展	平成29年4月22日（土）～6月5日（月）
	ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	平成29年6月7日（水）～7月23日（日）
	「美人画」は語る 培広庵コレクション展	平成29年7月26日（水）～9月4日（月）
	レオナルド・ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展 日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎	平成29年11月2日（木）～12月24日（日）
	生誕200年 沖冠岳と江戸絵画展	平成30年1月20日（土）～3月25日（日）

共催展示一覧

場所	展 覧 会 名	会 期
新 館	アードマン・アニメーションズ設立40周年記念 ひつじのショーン展	平成29年9月12日（火）～10月22日（日）

名嘉陸稔展

アイ
—風の伝言を彫る—

- 会 期：**平成 29 年 4 月 8 日（土）— 5 月 7 日（月）（26 日間）
- 主 催：**「名嘉陸稔展」実行委員会（愛媛県、愛媛新聞社、株式会社プロジェクト・コア）
- 後 援：**松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、（公財）愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県 PTA 連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛県文化協会、（公財）愛媛県文化振興財団、（一社）愛媛県観光物産協会、愛媛経済同友会、愛媛県商工会議所連合会、愛媛県公民館連合会、（公財）松山観光コンベンション協会、連合愛媛、愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合、愛媛ホテル協会、道後温泉旅館協同組合、四国旅客鉄道㈱、伊予鉄道（株）、愛媛県理容生活衛生同業組合、愛媛県美容業生活衛生同業組合、愛媛県料飲業生活衛生同業組合、愛媛県喫茶業生活衛生同業組合、南海放送、テレビ愛媛、愛媛朝日テレビ、愛媛 CATV、FM 愛媛
- 特別協力：**全日本空輸株式会社
- 広報協力：**あいテレビ
- 会 場：**愛媛県美術館 常設展示室 1・2

趣 旨

木版画家・名嘉陸稔（1953年沖縄生まれ）は、頭に立ち上がるイメージを墨で簡単なあたりをつけ、一気に版木を彫り、墨色で刷った後、紙の裏から彩色する独特のスタイルで制作する。何枚描いても描き足りないと言語る陸稔は、自然の営みに関心を寄せ、風が運ぶ伝言を感じながら作品を作り続け、30年間に制作した木版画は2,300点に及ぶ。本展では、大作の「大礁円環」「節気慈風」など、これまでの沖縄の風物などをテーマにした作品に加え、しまなみ海道や遊子の段畑など愛媛の地を訪ねて制作した作品を含む80点を展示し、沖縄の自然、風土に育まれた名嘉陸稔の版画の魅力を紹介した。

また、ライブ制作や遊子小学校での出前ワークショップ等の関連イベントの実施により、作品の制作手法や作家の考えを作家自身の制作の様子や言葉を通して、伝えることができた。

観覧者数：6,071名

関連行事

ライブ制作

日 時：4月8日（日） 13：30～15：00
講 師：名嘉陸稔
場 所：愛媛県美術館 エントランスホール
参加人数：100名

アーティスト・トーク

日 時：4月8日（日） 11：00～（30分程度）
講 師：名嘉陸稔
場 所：展示室
参加人数：140名

連続講座「シーサーをつくろう」

日 時：4月16日（日）、30日（日） 各13：30～15：30
 講 師：八木誠一（当館普及グループ担当係長）、檜垣正（当館教育専門員）
 場 所：愛媛県美術館 エントランスホール
 参加人数：28名
 ※詳細は教育普及事業報告を参照。

創作体験「クスノキをかざろう」

名嘉睦稔氏が彫った葉や花、虫などの版を用いて参加者が刷りと裏手彩色の体験し、中庭のクスノキを飾った。
 日 時：4月15日（土）、29日（土）、5月4日（木） 14：00～15：00
 講 師：石崎三佳子（当館専門学芸員）、田代亜矢子（当館専門学芸員）
 場 所：愛媛県美術館 エントランスホール
 参加人数：98名

出前ワークショップ

名嘉睦稔氏と児童の共同制作を行った。
 日 時：4月20日（木） 8：40～12：15
 講 師：名嘉睦稔
 場 所：宇和島市立遊子小学校
 対 象：宇和島市立遊子小学校4～6年生
 参加人数：24名
 ※完成した作品は、美術館内で展示した。

BOKUNEN NAKA

名嘉睦稔展
 風の伝言を彫る

2017年4月8日(日) - 5月7日(日)
 開館時間9:40 - 18:00 (入場は17:30まで) 休館日: 月曜日(5月1日) 日曜日(5月7日) 祭日(火) 休館日
 常設展示室1・2

愛媛県美術館
 〒790-0001 愛媛県松山市11-20-10 93-0010 1900-009 93-0011
 http://www.ehime-art.jp/

出品目録

	作 品 名	制作年	技法・素材	画寸 (cm)	備 考
1	さんご はなばたけ ようこう 珊瑚花畑五「陽光」	1990	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
2	さんご はなばたけ りしゅう 珊瑚花畑二十一「離礁」	1991	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
3	さんご はなばたけ ほうりょう 珊瑚花畑二十六「豊漁」	1991	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
4	さんご はなばたけ ひきしお 珊瑚花畑三十四「引潮」	1991	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
5	さんご はなばたけ ゆうなぎ 珊瑚花畑三十五「夕風」	1991	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
6	さんご はなばたけ うすまち 珊瑚花畑三十八「潮待」	1991	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
7	さんご はなばたけ はなとびら 珊瑚花畑四十四「花扉」	1991	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
8	さんご はなばたけ らいほう 珊瑚花畑四十五「来訪」	1991	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
9	ねかた ストレチアの根方	1993	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×42.0	
10	かぜ うりずんの風	1994	木版・裏手彩色・月桃紙	93.0×92.0	
11	しゅりじょう 首里城	2000	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	九州・沖縄サミット記念絵葉書原画
12	みらい かぜ 未来からの風	2000	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	九州・沖縄サミット記念絵葉書原画
13	さんご みち 珊瑚の道	2000	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	九州・沖縄サミット記念絵葉書原画
14	あかね 茜さす	2000	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	九州・沖縄サミット記念絵葉書原画
15	へいわ おど 平和の踊り	2000	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	九州・沖縄サミット記念絵葉書原画
16	ぶせなみき 部瀬名岬	2000	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	九州・沖縄サミット記念絵葉書原画
17	がっしょうじし 合唱獅子	2000	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	九州・沖縄サミット記念絵葉書原画
18	カムロ	1998	木版・裏手彩色・月桃紙	26.0×18.0	沖縄郵政創業 125 周年記念ふるさと切手原画
19	ワライジシ	1998	木版・裏手彩色・月桃紙	26.0×18.0	沖縄郵政創業 125 周年記念ふるさと切手原画
20	のぞみわき 望 湧	1997	木版・裏手彩色・月桃紙	26.0×18.0	地球温暖化防止京都会議記念切手原画
21	ふうてき 風笛	1997	木版・裏手彩色・月桃紙	26.0×18.0	地球温暖化防止京都会議記念切手原画
22	わき 和季	1997	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	Less CO2 キャンペーンポスター原画
23	ぼうよ 望夜	1997	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	Less CO2 キャンペーンポスター原画
24	ヨナグチ	2011	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
25	とよ ていだこ 響む太陽子	2006	木版・裏手彩色・月桃紙	44.0×84.0	沖縄県浦添市てだこホール緞帳原画
26	てんくうまんべん 天空満遍	2005	木版・裏手彩色・月桃紙	190.0×370.0	
27	うふていーだ 大太陽	2011	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
28	しんえんきょうしん 深遠響森	2004	木版・裏手彩色・月桃紙	273.0×364.0	
29	せつきじふう 節気慈風	1996	木版・裏手彩色・月桃紙	182.0× 1,098.0	
30	しんえんきょううく 深遠響空	2004	木版・裏手彩色・月桃紙	273.0×364.0	
31	うりずん もり 潤甸の森	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／蜘蛛の精」挿絵原画
32	まるし 間流風	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／蜘蛛の精」挿絵原画
33	はほこ うた 母子の歌	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／蜘蛛の精」挿絵原画
34	くもす 蜘蛛の巣	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／蜘蛛の精」挿絵原画
35	とまる 止	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／蜘蛛の精」挿絵原画
36	ふむ 振り向く	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／蜘蛛の精」挿絵原画
37	さんくぼなざ 散無空花の咲く	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×92.0	絵本「紅逢黒逢の刻／蜘蛛の精」挿絵原画
38	はまちじゅやー みやらび浜千鳥	2005	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×10.0	
39	おいわいのはながさ	2009	木版・裏手彩色・月桃紙	17.0×12.0	
40	カムロはながさ	2005	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×10.0	

41	アーゲー	2008	木版・裏手彩色・月桃紙	9.0×13.0	
42	パーントウ	2008	木版・裏手彩色・月桃紙	13.0×9.0	
43	なんでいいさ	2004	木版・裏手彩色・月桃紙	16.0×20	
44	こんにちわ	1994	木版・裏手彩色・月桃紙	17.0×12.0	
45	まも 守るさあ	2009	木版・裏手彩色・月桃紙	17.0×12.0	
46	やね 屋根あそび	2008	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×10.0	
47	あつ いちにち 暑い一日	1994	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×31.0	
48	ぶつそうげ の はなたき 仏桑華乃花滝	2011	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
49	そうしじゅ の はなたき 想思樹乃花滝	2011	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
50	いじゅ の はなたき 伊集乃花滝	2011	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
51	あ あ 嗚呼	2015	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
52	おに べんとうぼこ 鬼の弁当箱	2004	木版・裏手彩色・月桃紙	182.0×275.0	
53	げっか びじんの はなたき 月下美人乃花滝	2014	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
54	あけもどろの花	1989	木版・裏手彩色・月桃紙	93.0×92.0	
55	むしろじきはまう たき 筵敷浜御獄	2015	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	
56	つきよ いそ おとこ 月夜に急ぐ男	1992	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×31.0	
57	か まら 嘉真羅	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／人魚夜話」挿絵原画
58	みず くらやみ 水の冥闇	2003	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	絵本「紅逢黒逢の刻／人魚夜話」挿絵原画
59	ひがし りよくもん 東の緑門	2002	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×92.0	絵本「紅逢黒逢の刻／人魚夜話」挿絵原画
60	だいはうえんかん 大礁円環	1996	木版・裏手彩色・月桃紙	182.0× 1,098.0	
61	つき みち 月の路	1988	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×42.0	
62	ふし にーりー 星ぬ神謡	1989	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	
63	たび よぞら 旅の夜空	2001	木版・裏手彩色・月桃紙	94.0×184.0	
64	ほし むらばな 星の叢花	2006	木版・裏手彩色・月桃紙	190.0×364.0	
65	みちしおこうきやうがく 満潮交響楽	2014	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
66	い よ の くに え び め 伊豫之國愛比売	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
67	せ とうち はる 瀬戸内の春	2010	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
68	うしおに 牛鬼	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	34.0×24.0	
69	いふうくう わうしおに 招福宇和牛鬼	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	47.0×31.0	
70	ゆ す だんぼた よ あけ 遊子段畑の夜明	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	
71	ほ しふ だんぼた 星降る段畑	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	
72	ゆ す み がうら だんぼた 遊子水荷浦の段畑	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	
73	えひめ な おか 愛媛 みかん成る丘	2016	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	
74	ほ しざ くるしまかいきょうおおほし 星指す来島海峡大橋	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	49.0×62.0	
75	に い はまた いこまつ 新居浜太鼓祭り	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	
76	くぼの ちい た こうりん 窪野の小さな田に降臨する	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	
77	はる そらうめ 春の空埋	2004	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	
78	みちしるべ 標 道	2004	木版・裏手彩色・月桃紙	62.0×49.0	
79	あらはれ	2015	木版・裏手彩色・月桃紙	184.0×183.0	
80	松山城堀端の桜	2017	木版・裏手彩色・月桃紙	48.0×47.0	愛媛県美術館ライブ制作 (2017年4月8日開催)での作品

若冲、琳派、かざりと雅 京都・細見美術館名品展

- 会 期：**平成29年4月22日（土）— 6月5日（月）（39日間）
主 催：「細見美術館名品展」実行委員会（愛媛県、愛媛新聞社）
共 催：愛媛朝日テレビ
特別協賛：大一ガス株式会社
後 援：松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、（公財）愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県PTA連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛県文化協会、（公財）愛媛県文化振興財団、（一社）愛媛県観光物産協会、愛媛経済同友会、愛媛県商工会議所連合会、愛媛県公民館連合会、（公財）松山観光コンベンション協会、連合愛媛、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛CATV、FM愛媛
特別協力：公益財団法人細見美術財団 細見美術館
会 場：愛媛県美術館 企画展示室 1・2

趣 旨

細見美術館は、大阪の実業家・細見良氏（初代古香庵／1901～78）にはじまる細見家三代の収集品をもとに、平成10年（1998）3月、京都屈指の文化ゾーンである岡崎の地に開館した私立美術館である。そのコレクションは、縄文・弥生時代の考古品から江戸絵画まで、日本美術史を総覧する幅広い年代と分野で構成され、「日本美術の教科書」とも称される優れた質量を誇るものとなっており、年間を通じて開催される、コレクションをいかした魅力的な展示は、訪れる人々の眼をたのしませてくれる。平安・鎌倉時代の仏教・神道美術、茶の湯釜、根来、水墨画、絵巻などの収集を精力的に行った初代に対し、その息子・實氏（二代古香庵／1923～2007）は、特に江戸絵画を好んで収集した。昭和40～50年代には一般にあまり知られていなかった伊藤若冲や江戸琳派に親しみ、研究と収集に情熱を傾けた結果、現在では細見コレクションの代名詞と呼ぶにふさわしい作品群となっている。その精神は三代目の良行氏（1954～ ）に継承され、今なお多層的でユニークなコレクションを形成し続けている。

本展は、細見家三代によって収集された日本有数の古美術コレクションを愛媛の地で初めて紹介するもので、コレクションを代表する伊藤若冲や俵屋宗達・尾形光琳・酒井抱一といった琳派の巨匠たちを筆頭に、古代から近代までの絵画、仏教美術、茶の湯の美術、蒔絵・七宝といった工芸品など、重要文化財7件を含む選りすぐりの名品を通観することができるまたとない機会となった。

観覧者数：20,052名

関連行事

オープニング・フロアレクチャー

日 時：4月22日（土） 14：00～15：00
講 師：細見良行（細見美術館長）
場 所：愛媛県美術館 企画展示室
参加人数：110名

学芸員によるフロアレクチャー

日 時：5月6日（土）、20日（土） 各14：00～15：00
講 師：長井健（当館専門学芸員）
場 所：愛媛県美術館 企画展示室
参加人数：延130名

土曜講座「日本美術ワンダフルワールド」

① 若冲編 ② 琳派編

日 時：① 5月13日（土）

② 5月27日（土）

各14：00～15：00

講 師：長井健（当館専門学芸員）

場 所：①愛媛県美術館 講堂

②愛媛県美術館 研修室

参加人数：延145名

呈茶席

日 時：4月29日（土・祝）、30日（日）、5月3日（水・祝）、4日（木・祝）、

5日（金・祝）、6日（土）

各10：00～15：00

協 力：表千家同門会愛媛県支部、武者小路千家愛媛官休会、茶道裏千家淡交会愛媛支部

場 所：愛媛県美術館 新館正面入口横

参加人数：延2,768名

対話型鑑賞プログラム「細見美術館展をみる、考える、話す、聴く」

※詳細は教育普及事業報告を参照。

京都・ホソミ美術館
HOSOMI MUSEUM

若冲、琳派、かざりと雅

二〇一七年 会期中、一部作品の展示を行います
四月二十二日（土）～六月五日（月）

細見美術館 名品展

愛媛県美術館

鑑賞割引券 京都・細見美術館名品展

鑑賞割引券 京都・細見美術館名品展

出品目録

第1章 日本美術の教科書

No.	指定	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量 (cm／縦×横)	展示期間
1		久保田金櫻	細見良氏画伝 二巻	昭和19年(1944)	絹本着色・墨書／卷子	上巻：33.1×536.7 ／下巻：33.1×526.4	
2			鹿型装飾付はそう 伝奈良県内出土	古墳時代後期		高 14.5／口径 12.2	
3			白描伊勢物語絵巻断簡(梵字経刷)	鎌倉時代後期	紙本墨画／軸	22.5×67.5	
4	重美	仲安真康	虎溪三笑図	室町時代	紙本墨画／軸	63.3×32.8	
5	重美	单庵智伝	梅花小禽図	室町時代	紙本墨画／軸	30.5×21.9	
6	重文		羅什三蔵伝絵巻	室町時代	紙本着色／卷子	34.7×539.7	
7	重美		根来菜桶	鎌倉時代・徳治2年(1307)銘	木製漆塗	総高 25.4／ 胴径 32.5	
8			根来亀甲文瓶子	室町時代	木製漆塗	高 32.7／胴径 23.4	
9			白描源氏物語絵巻断簡「夕霧」	室町時代	紙本墨画／軸	11.0×46.3	
10		土佐光吉	源氏物語図色紙「初音」	桃山時代	紙本着色／軸	26.0×21.2	
11			四条河原図巻	江戸時代前期	紙本着色／卷子	34.5×760.5	
12			遊楽図扇面 十面のうち四面	江戸時代前期	紙本着色	各 17.0×35.5	
13		「椋政」印	北野社頭図屏風	江戸時代前期	紙本金地着色／六曲屏風一隻	74.8×273.6	
14		池大雅	児島湾真景図	江戸時代中期	絹本着色／軸	99.7×37.6	
15		青木木米	富士望見図	江戸時代後期	紙本淡彩／軸	31.4×54.2	
16		椿椿山	花卉虫魚図画帖	江戸時代後期	紙本着色／画帖	各図 26.4×25.1	
17		葛飾北斎	夜鷹図	江戸時代後期	紙本淡彩／軸	99.7×28.0	4/22 - 5/14
18		葛飾北斎	五美人図	江戸時代後期	絹本着色／軸	40.6×79.1	5/16 - 6/5
19	重美	冷泉為恭	年中行事図巻	江戸時代・天保14年(1843)	紙本着色／卷子	37.8×1154.1	

第2章 若冲繚乱

No.	指定	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量 (cm／縦×横)	展示期間
20		伊藤若冲	雪中雄鶏図	江戸時代中期	紙本着色／軸	114.2×61.9	4/22 - 5/14
21		伊藤若冲	虻に双鶏図	江戸時代中期	紙本墨画／軸	36.9×52.6	
22		伊藤若冲	風竹図	江戸時代中期	絹本着色／軸	103.0×38.5	
23		伊藤若冲	仔犬に帯図	江戸時代中期	紙本墨画／軸	99.5×27.8	
24		伊藤若冲	瓢箪・牡丹図	江戸時代中期	紙本墨画／軸対幅	各 114.5×46.0	
25		伊藤若冲	鶏図押絵貼屏風	江戸時代・寛政9年(1797)	紙本墨画／ 六曲屏風一双	各図 137.0×49.7	
26		伊藤若冲	鼠婚礼図	江戸時代・寛政8年(1796)	紙本墨画／軸	36.0×60.7	
27		伊藤若冲	伏見人形図	江戸時代中期	紙本着色／軸	93.6×28.5	
28		伊藤若冲	関羽図	江戸時代中期	紙本墨画／軸	87.8×29.8	
29		若演	釣瓶に鶏図	江戸時代後期	紙本墨画／軸	114.8×42.8	

第3章 折りのかたち

No.	指定	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量 (cm／縦×横)	展示期間
31			准胝仏母像	鎌倉時代	絹本着色／軸	80.0×40.5	5/16 - 6/5
32			絵因果経断簡	鎌倉時代	紙本着色／軸	26.8×67.9	
33	重文		線刻十二尊鏡像	平安時代後期	白銅製鑄造・鍍錫・線刻	径 15.1	
34	重文		熊野十二社権現懸仏	鎌倉時代後期	銅製鑄造・鍍金銀	径 41.3	
35	重文		金銅透彫尾長鳥唐草文華鬘	鎌倉時代前期	銅製鑄造・鍍金・彫金	31.0×40.0	
36			金銅五鈎杵	平安時代後期	銅製鑄造・鍍金	総長 18.8／把長 6.7／鈎張 5.7	
37	重文		金銅種子五鈎鈴	鎌倉時代前期	銅製鑄造・鍍金	口径 8.9／高 20.5	
38	重文		羽黒山御手洗池出土銅鏡 四十面のうち十面	平安時代後期	銅製鑄造	(薄菊双鳥鏡) 径 10.6	

第4章 茶の心、かざり

No.	指定	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量 (cm／縦×横)	展示期間
40			芦屋亀甲繫文真形釜	延徳年間(1489～91)	鉄製鑄造	口径 14.4／ 胴径 25.5／高 20.6	

41	千利休	消息 釜の文	桃山時代	紙本墨書／軸	42.3×26.6	
42		志野茶碗 銘 弁慶	桃山時代	施釉陶器	口径 13.5 / 高 9.8	
43		黒織部杵形茶碗	江戸時代前期	施釉陶器	口径 10.7 / 胴径 12.9 / 高 6.7	
44		織部分銅形香合	桃山時代	施釉陶器	径 4.3 / 高 3.9	
45		志野宝珠形香合	桃山時代	施釉陶器	径 5.0 / 高 4.0	
46		七宝八角水指	江戸時代中～後期	有線七宝	長径 21.4 / 短径 17.1 / 高 21.6	
47		武蔵野蒔絵煙草盆	江戸時代前期	木製漆塗	23.0×34.0×24.0	
48		秋草鹿蒔絵文台	桃山時代	木製漆塗	58.0×34.5×10.8	
49		桐竹鳳凰図屏風	桃山時代	紙本金地着色／六曲屏風一隻	154.0×356.4	
50		能装束 檜垣に藤花文様唐織	江戸時代中期	絹	丈 140.6 / 衿 68.5	4/22 - 5/14
51		能装束 柳に燕雀水草文様縫箔	江戸時代中期	絹	丈 145.0 / 衿 68.0	5/16 - 6/5
52		夕顔文釘隠	桃山時代	象嵌・無線七宝	13.0×26.8	
53		流水蛇籠文釘隠	江戸時代初期	象嵌七宝	10.4×28.0	
54		梅枝文釘隠	江戸時代前期	象嵌・無線七宝	4.3×10.1	
55		桜花手桶文引手	江戸時代前期	象嵌七宝	20.4×8.7	
56		鳥兜文引手	江戸時代前期	象嵌七宝	6.4×8.2	
57		楓文引手 二個	江戸時代中期	象嵌・無線七宝	各 10.5×9.2	

第5章 花開く琳派

No.	指定	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量 (cm／縦 × 横)	展示期間
58		本阿弥光悦(書)、俵屋宗達(下絵)	忍草下絵和歌巻断簡	江戸時代前期	紙本墨書・金銀泥下絵／軸	33.6×44.5	
59		俵屋宗達	双犬図	江戸時代前期	紙本墨画／軸	82.5×43.2	
60		俵屋宗達	伊勢物語図色紙「大淀」	江戸時代前期	紙本着色／軸	24.0×21.0	4/22 - 5/14
61		尾形光琳	柳図香包	江戸時代中期	絹本金地着色／軸	33.5×24.5	5/16 - 6/5
62		尾形乾山	牡丹唐草文向付 五客	江戸時代中期	施釉陶器	各 13.2×13.1×4.9	
63		深江芦舟	若松に鶴図手焙	江戸時代中期	施釉陶器	21.4×21.4×23.6	
64		渡辺始興	寿老鹿鶴図	江戸時代中期	絹本墨画淡彩／軸	41.4×62.2	
65		中村芳中	花卉図画帖	江戸時代後期	紙本着色／画帖	各図 21.6×17.7	
66		中村芳中	扇面貼交屏風	江戸時代後期	紙本着色／二曲屏風一双	各 176.6×169.5	
67		酒井抱一	桜に小禽図	江戸時代後期	絹本着色／軸	131.2×50.4	4/22 - 5/14
68		酒井抱一	鹿楓図団扇	江戸時代後期	紙本金地着色／団扇	24.0×22.0	
69		酒井抱一	扇面貼交屏風	江戸時代後期	紙本着色／六曲屏風一双	各 160.6×360.0 (屏風)	
70		鈴木其一	藤花図	江戸時代後期	絹本着色／軸	100.8×35.9	5/16 - 6/5
71		鈴木其一(画)、酒井抱一(賛)	文読む遊女	江戸時代後期	紙本淡彩／軸	94.3×26.2	
72		鈴木其一	水辺家鴨図屏風	江戸時代後期	六曲屏風一隻	75.8×365.2	
73		池田孤邨	江戸近郊八景図画帖	江戸時代後期	絹本着色／画帖	各図 7.3×8.9	
74		鈴木守一	業平東下り図	江戸時代末期～明治時代前期	絹本着色(描表装)／軸	174.5×41.8	4/22 - 5/14
75		酒井道一	紫陽花図	明治時代	絹本着色／軸	93.8×40.0	
76		神坂雪佳	金玉玉図	明治時代	絹本着色／軸	105.8×35.9	5/16 - 6/5
77		神坂雪佳	四季草花図	明治時代末期	絹本着色／軸及幅	各 120.3×26.9	
78		神坂雪佳	『海路』	明治35年(1902)	木版／冊子	36.8× 25.2	
79		神坂雪佳	『百々世草』	明治42年(1909)	木版／冊子	30.2×22.5	
80		神坂雪佳(図案)、五代清水六兵衛(作)	鹿楓図赤楽香合	大正時代後期	施釉陶器	9.6×6.5×2.2	
81		神坂雪佳(図案)、木村秀雄(作)	住之江蒔絵螺鈿色紙箱	大正時代後期	木製漆塗	25.8×22.7×3.0	

ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ

- 会 期：**平成29年6月7日（水）— 7月23日（日）（40日間）
主 催：ウェールズ国立美術館展愛媛展実行委員会（愛媛県、テレビ愛媛）
共 催：愛媛新聞社
後 援：ブリティッシュ・カウンシル、松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、（公財）愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県PTA連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、NHK松山放送局、南海放送、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛
- 企画協力：**ホワイトインターナショナル
会 場：愛媛県美術館 常設展示室1・2

趣 旨

英国ウェールズのカーディフ市に1907年に設立されたウェールズ国立美術館が誇る世界有数のコレクションから、美術史上とりわけ変化に富む近現代のイギリスやフランスで活動した画家たちによる作品73点を、「ロマン主義」「リアリズム」「パリのサロンとロンドンのロイヤル・アカデミー」「印象派」「ポスト印象派とその後」の5章に分けて紹介。19世紀初頭から20世紀初頭のヨーロッパ絵画の二大潮流を成す英仏絵画の豊かな流れをご高覧いただいた。

なお、宮住富士夫「よもやまジャーナル」vol.58（『週刊愛媛経済レポート』6月12日号）、中島佑介ほか「あのアート好きが、この目で見たい、この絵画。」（『ブルータス』2017年6月15日号）、あつむら恵女ほか「美術館吟行31」（『HAIKU LIFE MAGAZINE 100年俳句計画』2017年7月号）など、県内外のメディアで広く取り上げていただいた。

観覧者数：15,884名

関連行事

ウェールズ展をみる・考える・話す・聴く

日 時：6月11日（日）、18日（日）、25日（日）、7月2日（日）、9日（日）、16日（日）、23日（日）

各日11：00～11：30

場 所：愛媛県美術館 研修室

講 師：当館作品ガイドボランティア

参加人数：延128名

団体のための講座

日 時：7月2日（日）、5日（水） 各日14：10～14：30

場 所：愛媛県美術館 講堂

対 象：NHK文化センター福山教室「美術館めぐり」（美術鑑賞講座）参加者

講 師：武田信孝（当館専門学芸員）

参加人数：延59名

コンサート (ピアノ & オカリナ)

日 時：7月9日(日) 13:30~14:00、14:30~15:00
 場 所：愛媛県美術館 エントランスホール
 出 演：H・Y★ACADEMY 堀由布子(ピアノ、オカリナ) 大内美華(ピアノ)
 参加人数：延180名

土曜講座「企画展プレビュー」

日 時：7月15日(土)、22日(土) 各日14:00~15:10
 場 所：愛媛県美術館 講堂
 講 師：武田信孝(当館専門学芸員)
 参加人数：延84名

企画講座「ウェールズ国立美術館の名品にみる日常のドラマ」

日 時：7月17日(月・祝) 14:00~15:20
 場 所：愛媛県美術館 講堂
 講 師：武田信孝(当館専門学芸員)
 参加人数：41名

ターナー からモネへ

ウェールズ国立美術館所蔵
 France and Britain: Art for a New Age 1817-1917

クロード・モネ (サン・ジャルジュ・マントワール、真作) 1908年 ウェールズ国立美術館蔵
 © National Museum of Wales

2017年6月7日(水)~7月23日(日) 開館時間 9:40~18:00(入館は17:30まで) ※初日のみ10:30開場
 ■休館日 6月12日(月)、19日(月)、26日(月)、7月4日(火)、10日(月)、18日(火)

【観覧料】一般 1,300円(1,100円) / 高大生 900円(700円) / 小中生700円(500円) ※1日1名1回限り
※幼児(3歳以下)は、保護者同伴で無料となります。満18歳以上の学生は平日9時から入館可能となります。入館料・学生料等を別府市の各その道の観光局にてお問い合わせください。学生料等を下記に問い、申込書様式等で申込書もいただけます。

【優先券取次所】：愛媛県美術館(新館ミュージアムショップ)、テレビ愛媛事業部、愛媛新聞旅行、愛媛新聞社の社内社外サービス(取り寄せ)、いよつぎ呉島屋、フジグラン(エミフルMASAKI、川之江、新居浜、西条、今治、松山、重信、大洲、北宇和島)、ユーズみめ生活文化サービス、明星書店松山店、ジュンク堂書店松山店、ローソンチケット(コードE1989)、チケットぴあ(サークルK、サンクス、セブン-イレブン)Pコード768-364)ほか

主 催：ウェールズ国立美術館愛媛県実行委員会(愛媛県、テレビ愛媛) 共 催：愛媛新聞社
 後 援：ブリヂストン・オアシス、松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、(公財)愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県PTA連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、NHK松山放送局、南海放送、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛
 企画協力：ホワイインターナショナル

愛媛県美術館 〒798-0087 愛媛県松山市堀之内 TEL:089-932-0010 問い合わせセンター TEL:089-933-0322(9:30~17:00 土日 祝日除く)
 観覧料のご案内 TEL:089-932-0270 http://www.ehime-art.jp/

出品目録

1章 ロマン主義

番号	作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法(縦×横)
1	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	マーゲイトの棧橋	1835年頃	油彩、カンヴァス	38.3×28.1cm
2	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	マーゲイトの沖合	1835年頃	油彩、カンヴァス	30×46cm
3	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	難破後の朝	1840年頃	油彩、カンヴァス	38.7×61.8cm
4	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	バイヤールの岩、ディナン	1839年頃	不透明水彩、水彩、ペン、インク、スクラッチング・アウト、青色網目紙	13.9×19.1cm
5	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ザンクト・ゴアールのラインフェルス城、トゥルンベルク城	1840-44年	水彩、鉛筆、紙	17.5×23.8cm
6	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	モーゼル川沿い、ゴンドルフのライエン城	1840年代	水彩、鉛筆、網目紙	15.7×23.2cm
7	エドワード・リア	ジュアン湾、正午	1865年	水彩、不透明水彩、インク、鉛筆の下書き、紙	31.9×50cm
8	ハーキュリーズ・プラバゾン・プラバゾン	マントンの高み		水彩、紙	15.3×24cm
9	ジェームズ・ウォード	若い男性の肖像	1815年	油彩、カンヴァス	61.2×51.1cm
10	ウィリアム・エッティ	ヴォーン夫人	1835年頃	油彩、カンヴァス	76.2×63.5cm
11	ジョン・コンスタブル	麦畑の農家	1817年	油彩、カンヴァス	31.5×26.3cm
12	イギリス派	ノルマンディーの農場		油彩、板	25.4×40.4cm
14	リチャード・パークス・ボニントン	ルーアンのサン＝トゥアン教会の鐘楼、日の出	1825年	水彩、鉛筆、スクレイピング・アウト、	13.4×21.1cm
15	ジェームズ・ホランド	フィリップ4世(美王)の王宮跡	1835年	油彩、カンヴァス	54.9×34.8cm
17	ジャン＝フランソワ・ミレー	突風	1871-73年	油彩、カンヴァス	90.5×117.5cm
18	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロドー	ブナの木	1860-70年	油彩、カンヴァス	46.8×56cm
19	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロドー	コルベイユの遠景	1870年頃	油彩、カンヴァス	25.1×33.9cm
20	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オワーズ川の朝、オーヴェール	1856年	油彩、板	20.8×41.9cm
21	ヘンリー・マーク・アンソニー	ティンターン寺院		油彩、カンヴァス	50×76cm

2章 リアリズム

番号	作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法(縦×横)
22	オノレ・ドーミエ	水飲み場	1855年頃	油彩、板	44.7×55.7cm
23	ギュスターヴ・クールベ	ベアトリス・ブーヴェ	1864年	油彩、カンヴァス	91.9×73.2cm
24	オノレ・ドーミエ	重荷	1850-60年	油彩、板 (パネルで裏打ち)	39.7×32.2cm
25	ジャン＝フランソワ・ミレー	善きサマリア人	1846年	油彩、カンヴァス	41×32.7cm
26	オノレ・ドーミエ	弁護士と依頼人	1862-64年頃	水彩、インク、ウォッシュ、クレヨン、繋げた2枚の賽の目紙	24.1×23.8cm
27	ギュスターヴ・クールベ	オルブの水車	1875年	油彩、カンヴァス	49.6×60cm
28	フランソワ・ボンヴァン	若い主婦	1855年頃	油彩、板	40.5×32.1cm
29	ジャン＝フランソワ・ミレー	座る羊飼	1840-50年	油彩、板	18.6×24.3cm
30	ヨゼフ・イスラエルス	牧草地からの帰路		水彩、不透明水彩、網目紙	21.5×34cm
31	スタナップ・アレクサンダー・フォープス	鍛冶場	1894年	油彩、カンヴァス	61.3×77.2cm

3章 パリのサロンとロンドンのロイヤル・アカデミー

番号	作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法(縦×横)
32	ジャン＝ルイ＝エルネスト・メッソニエ	お人好しいかさま師	1861年	油彩、板	24.2×32.2cm
33	ウジェーヌ・フィシエル	非番	1885年	油彩、カンヴァス	21.8×27cm
34	ピエール＝エドゥアール・フレール	草原の子供	1871年	油彩、板	26.8×20.6cm

35	ジェームズ・テイソ	別離	1872年	油彩、カンヴァス	68.6×91.4cm
36	シドニー・カーナウ・ヴォスパー	盲目の物乞い	1905年	水彩、紙 (板で裏打ち)	57.3×50.3cm
37	ローレンス・アルマ=タデマ	詩歌	1879年	油彩、板	35.5×23cm
38	ローレンス・アルマ=タデマ	散文	1879年	油彩、板	35.3×23cm
39	エドワード・バーン=ジョーンズ	運命の車輪	1882年頃	油彩、カンヴァス	152.3×73.7cm
41	ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ	麗しのロザムンド	1861年	油彩、カンヴァス	51.9×41.7cm
42	フレデリック・ウィリアム・フロホーク	ひまわり	1881年	油彩、カンヴァス	56×43.6cm
43	ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ノクターン—青と金：サン・マルコ大聖堂、ヴェネツィア	1880年	油彩、カンヴァス	44.5×59.7cm
44	ウジェーヌ・ブーダン	ボルドー	1875年	油彩、板	21.9×32.6cm
45	ウジェーヌ・ブーダン	川辺の景色		水彩、鉛筆、紙	16.8×20.9cm
46	アンドリュー・マッカラム	雨後の秋の日差し、フォンテヌブロー	1861年頃	水彩、不透明水彩、紙	56×99cm

4章 印象派

番号	作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法(縦×横)
47	クロード・モネ	プール・オブ・ロンドン	1871年	油彩、カンヴァス	48.5×74.5cm
48	エドゥアール・マネ	プチ=モンルージュ、雪景色	1870年	油彩、カンヴァス	61.6×50.4cm
49	カミーユ・ピサロ	ボン=ヌフ、雪景色	1902年	油彩、カンヴァス	54.5×65.3cm
50	クロード・モネ	サン・ジョルジョ・マッジョーレ、黄昏	1908年	油彩、カンヴァス	65.2×92.4cm
51	クロード・モネ	パラッツォ・ダリオ	1908年	油彩、カンヴァス	92.3×73.2cm
52	アンリ・ウジェーヌ・ル・シダネル	ボート、ヘイスト	1900年	油彩、カンヴァス	71.1×92.2cm
53	スタニスラス=ヴィクトール=エドマン・レピーヌ	モンマルトル		油彩、カンヴァス	27.2×29cm
54	アルフレッド・シスレー	モレ=シュル=ロワン (フォセ通り)	1892年	油彩、カンヴァス	38.5×46.9cm
55	アンリ・モレ	クロアールの村	1898年	油彩、カンヴァス	54.5×65.5cm
56	ウィリアム・ニコルソン	海岸の景色	1906年	油彩、カンヴァス (板で裏打ち)	27.7×33.6cm
57	ジェームズ・チャールズ	埃っまい道	1902年	油彩、カンヴァス	63.5×91.6cm
58	カミーユ・ピサロ	二人の少女	1890年頃	チョーク、賽の目紙	47.6×61.8cm
59	ピエール=オーギュスト・ルノワール	会話	1912年	油彩、カンヴァス	45.1×65cm
60	ジョン・シンガー・サージェント	ハーキュリーズ・ブラバゾン・ブラバゾン	1900年	油彩、カンヴァス	56.5×40.6cm
61	ジョン・レイヴァリー	手紙	1908年頃	油彩、厚紙	34.9×24.1cm
62	フィリップ・コナード	散歩の支度	1908年	油彩、カンヴァス	99.5×80.2cm

5章 ポスト印象派とその後

番号	作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法(縦×横)
63	ポール・セザンヌ	浴女たち	1874-77年	水彩、不透明水彩、鉛筆、紙	16.3×15.7cm
64	グウェン・ジョン	教会で座る二人の女性		水彩、不透明水彩、紙	15.5×12.3cm
65	ウジェーヌ・カリエール	オーロラ	1893年	油彩、カンヴァス	38.7×62cm
66	エドナ・クラーク・ホール	浜辺の裸婦	1908年	水彩、鉛筆の下描き、紙	34.8×46cm
67	オーガスタス・ジョン	ドレリアの肖像	1911年頃	油彩、合板	40.1×33.3cm
68	オーガスタス・ジョン	エドウィン・ジョン	1911年頃	油彩、板	45.8×32.7cm
69	オトン・フリエス	ラ・シオタ	1907年	油彩、カンヴァス	27.3×35.1cm
70	ジェームズ・デイクソン・イニス	雪のカニゲー	1911年	油彩、板	23.7×33cm
71	ジェームズ・デイクソン・イニス	ウェールズの山々 (カニゲー)	1912年	インク、水彩、紙	25.4×35.4cm
72	モーリス・ド・ヴラマンク	村の通り	1911-12年	油彩、カンヴァス	57.8×73.2cm
73	アンドレ・ドラク	ヴェールの教会	1912年	油彩、カンヴァス	65.5×92.3cm

ばいこあん
培広庵コレクション
「美人画」は語る
—松園、清方、深水、そして河崎蘭香

会 期：平成29年7月26日（水）— 9月4日（月）（36日間）
主 催：「美人画」は語る展実行委員会（愛媛県、テレビ愛媛）
特別協力：ヤマトロジスティクス株式会社
協 力：呉服・花嫁衣裳 Ikeda&Co.
後 援：松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、（公財）愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県PTA 連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛新聞社、NHK 松山放送局、南海放送、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM 愛媛
会 場：愛媛県美術館 企画展示室1・2

趣 旨

明治以降、日本独自の絵画ジャンルとして成立した「美人画」は、昭和にかけて発展を遂げ、多くの日本画家がそれぞれに追求した「美しさ」の代弁者とも言える描かれた女性たちは、今もなお、私たちに「美しさ」とは何かという普遍的な問いを投げかけている。

本展では、ひとりのコレクターの審美眼を通して形成された明治・大正・昭和の美人画コレクションから、巨匠と言われた上村松園、鏑木清方、伊東深水をはじめ、大阪で活躍した北野恒富や島成園、大正デカダンスを代表する岡本神草、北陸を拠点とした紺谷光俊といった「美人画」の豊饒さを伝える多彩な画家の秀作約70点を展覧した。また、松園と同時代に活躍しながらも若くして亡くなった、八幡浜出身の閨秀画家、河崎蘭香（1882-1918）について、県内コレクターの協力により初めてまとめて紹介した。

観覧者数：6,628名

関連行事

オープニング・イベント コレクター・トーク「美人画コレクションの四方山話」

日 時：7月26日（水） 11：00～12：00

ゲ ス ト：培広庵

場 所：企画展示室

参加人数：32名

特別公演「松山芸者による舞と謡とお話と」

日 時：8月6日（日） 14：00～

場 所：エントランスホール／企画展示室 [お話]

出 演：とん子、千代鷺、八千代鷺

参加人数：115名

記念講演「美人画にみる描かれたファッション」

日 時：8月19日（土） 14：00～

場 所：講堂

講 師：宮本いづみ（高知県立高知城歴史博物館 学芸員）

参加人数：50名

特別イベント「きものが語る いつ？どこで？だれが？」

日 時：8月4日（金）、23日（水） 13：00～

8月5日（土）、24日（木） 11：00～

場 所：エントランスホール／企画展示室 [トーク]

講 師：池田由香里（呉服・花嫁衣裳Ikeda&Co.）

参加人数：延150名

- ・所蔵未記入はすべて培広庵コレクションを示す
- ・出品No.と展示順は一致しない
- ・図録No.は培広庵コレクションについては、『美人画の四季—松園、恒富、清方から麦僊まで』の作品番号と、第5章の河崎蘭香作品については、『えひめの閨秀画家—河崎蘭香』の作品番号と一致する

出品目録

第1章 うつろう四季とともに

出品No.	図録No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状	画寸(縦×横 cm)	所蔵
1	1	紺谷光俊	若菜摘み	昭和5年	絹本着色	軸装(双幅)	各114×37	
2	1	紺谷光俊	きのこ狩	昭和5年	絹本着色	軸装(双幅)	各114×37	
3	10	池田輝方	舟遊	大正中期	絹本着色	軸装	125×41	
4	12	菊池契月	花ごろも	大正初期	絹本着色	軸装	133×42	
5	15	広田百豊	桜美人	昭和初期	絹本着色	軸装	37×43	
6	21	梶原緋佐子	桜下美人	大正後期	絹本着色	軸装	144×40	
7	22	上村松園	桜狩の図	昭和10年	絹本着色	軸装	127×42	
8	41	池田輝方	御代参詣	大正初期	絹本着色	軸装	142×51	
9	51	紺谷光俊	更衣	大正後期	絹本着色	二曲一隻屏風	146×149	
10	69	北野恒富	願いの糸	大正3年頃	絹本着色	軸装	113×42	
11	77	紺谷光俊	採果図	昭和5年頃	絹本着色	額装	200×116	
12	92	鏑木清方	秋の錦	昭和22年	絹本着色	軸装	127×36	
13	96	伊藤小坡	観楓美人の図	大正後期	絹本着色	軸装	130×42	
14	102	伊藤小坡	雪の朝	昭和初期	絹本着色	軸装	128×42	
15	108	三木翠山	維新の花	昭和15年頃	絹本着色	軸装	123×42	
16	112	菊池契月	羽子	昭和10年	絹本着色	軸装	131×42	

第2章 みえない音をみる

出品No.	図録No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状	画寸(縦×横 cm)	所蔵
17	7	鳥成園	つれづれ	昭和30年代	絹本着色	額装	51×56	
18	14	池田輝方	春秋図	大正初期	絹本着色	軸装(双幅)	各127×42	
19	14	池田蕉園	春秋図	大正初期	絹本着色	軸装(双幅)	各127×42	
20	17	案本一洋	古代美人	大正11年頃	絹本着色	軸装	114×40	
21	24	北野恒富	三味線	昭和初期	絹本着色	軸装	61×72	
22	34	堀井香坡	熊野	昭和3年頃	絹本着色	軸装	127×27	
23	38	谷角日娑春	送春図	昭和6年頃	絹本着色	軸装	119×28	
24	62	吉川親方	涼風	昭和10年代	絹本着色	軸装	42×50	
25	71	広田百豊	松風	昭和初期	絹本着色	軸装	131×43	
26	87	鳥成園	つづみ	大正3年頃	絹本着色	軸装	126×41	
27	101	木谷千種	傘の雪・吉野山	大正初期	絹本着色	二曲一隻屏風	各114×42	
28	103	勝田哲	黒髪	昭和14年	絹本着色	軸装	71×64	
29	109	三木翠山	舞姿	大正末期	絹本着色	軸装	48×51	
30	118	板倉星光	鏡獅子	昭和5年頃	絹本着色	軸装	46×52	

第3章 装う・粧う一傘、団扇、旅支度

出品No.	図録No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状	画寸(縦×横 cm)	所蔵
31	3	小西長広	踊妓	大正4年	絹本着色	二曲一双屏風	各170×172	
32	23	北野恒富	舞妓	昭和前期	絹本着色	額装	58×68	
33	25	北野恒富	舞妓	昭和初期	絹本着色	額装	71×70	
34	26	樋口富麻呂	粧ひ	大正10年頃	絹本着色	額装	54×73	
35	28	山川秀峰	花簪の女	大正末期	絹本着色	額装	101×77	
36	32	岡本神草	京舞妓図	大正後期	絹本着色	軸装	31×41	
37	37	紺谷光俊	化粧	昭和5年頃	絹本着色	軸装(双幅)	各36×25	
38	37	紺谷光俊	化粧	昭和5年頃	絹本着色	軸装(双幅)	各36×25	
39	39	中村貞以	惜春	昭和20年代	絹本着色	軸装	131×42	
40	40	鏑木清方	江の嶋	昭和8年頃	絹本着色	軸装	123×42	
41	43	山田喜作	爪	昭和初期	絹本着色	額装	63×83	
42	47	渡辺省亭	塩谷高貞妻浴後図	明治25年	絹本着色	軸装	123×55	
43	49	紺谷光俊	手鏡	大正7年頃	絹本着色	軸装	127×42	
44	50	鏑木清方	翠影	大正6年頃	絹本着色	軸装	136×50	

45	56	増原宗一	夏の宵	大正末期	絹本着色	軸装	146×47	
46	57	川崎小虎	髪すき	大正11年	絹本着色	額装	129×161	
47	66	山村耕花	ほほづき	大正6年	絹本着色	軸装	127×42	
48	72	岡本神草	仮面を持てる女	昭和2年	絹本着色	軸装	58×51	
49	76	木谷千種	涼宵	昭和10年代	絹本着色	軸装	145×51	
50	78	広田多津	萩	昭和10年代	絹本着色	額装	52×57	
51	85	渡辺省亭	嵯峨野(仏御前の図)	明治末期	絹本着色	軸装	102×40	
52	86	島成園	化粧	大正4年頃	絹本着色	軸装	129×51	
53	89	立石春美	想	昭和初期	絹本着色	軸装	129×42	
54	90	山川秀峰	安倍野	昭和3年	絹本着色	二曲一隻屏風	234×222	
55	93	松浦舞雪	よそおいのまえ	昭和7年	絹本着色	軸装	126×34	
56	107	森川青坡	雪中二美人の図	昭和初期	絹本着色	軸装	190×110	
57	121	堂本印象	「研遊帖」	大正末期	絹本着色	額装(12面)	各36×35	

第4章 闇と光のあわいに

出品No.	図録No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状	画寸(縦×横 cm)	所蔵
58	11	村上華岳	屋形船の図	大正7年	絹本着色	額装(扇面)	26×57	
59	30	榎本千花俊	春宵	大正末期	絹本着色	軸装	137×41	
60	52	伊東深水	薄暮	昭和15年頃	絹本着色	軸装	137×36	
61	60	梶原緋佐子	たそがれの庭	昭和10年代	絹本着色	軸装	43×51	
62	61	板倉星光	夏の夕	昭和5年頃	絹本着色	軸装	52×57	
63	65	中村貞以	良宵	昭和10年代	絹本着色	軸装	48×57	
64	67	山村耕花	四季美人図	大正7年頃	絹本着色	二曲一隻屏風	220×212	
65	70	池田蕉園	秋思	明治40年頃	絹本着色	軸装	141×51	
66	73	広田百豊	太夫	大正中期	絹本着色	額装(屏風)	91×187	
67	74	石井滴水	後の月	明治40年頃	絹本着色	二曲一隻屏風	113×150	
68	81	中村大三郎	静思	大正後期	絹本着色	軸装	151×51	
69	83	千島華洋	秋の月	昭和初期	絹本着色	軸装	47×51	
70	88	岡本大更	静秋読書の図	大正7年	絹本着色	軸装	126×42	
71	97	伊藤小坡	秋の夜	大正前期	絹本着色	軸装	141×51	
72	110	土田麦僊	舞妓	大正5年頃	絹本着色	額装	73×41	
73	119	小早川清	名妓市丸	昭和8年	絹本着色	軸装	211×113	

第5章 女が描く—伊予の「閨秀画家」河崎蘭香—

出品No.	図録No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状	画寸(縦×横 cm)	所蔵
74	91	寺崎広業	秋草美人	昭和7年	絹本着色	軸装	44×26	
75	未掲載	寺崎広業	和合の女神		絹本墨彩	軸装	112×41.5	
76	2	河崎蘭香	美人観桜廻図	大正5年	絹本着色	軸装	144×56.2	愛媛県美術館寄託
77	3	河崎蘭香	桜花美人		絹本着色	軸装	133.9×42.1	八幡浜市寄託
78	4	河崎蘭香	小女春遊廻図	大正4年	絹本着色	軸装	130×42	個人蔵
79	5	河崎蘭香	ひなまつり		絹本着色	軸装	112.5×40.5	個人蔵
80	6	河崎蘭香	和楽之図	大正5年	絹本着色	軸装	126.4×41.6	愛媛県美術館寄託
81	未掲載	河崎蘭香	向日葵美人図		絹本着色	軸装	182.5×107	個人蔵
82	7	河崎蘭香	夕涼み		絹本着色	軸装	124.2×43.4	個人蔵
83	8	河崎蘭香	芙蓉に鶉図	大正4年	絹本着色	軸装	121.9×41.3	愛媛県美術館寄託
84	9	河崎蘭香	秋菊之図	大正5年	絹本着色	軸装	118.6×26.5	愛媛県美術館寄託
85	10	河崎蘭香	霜月十五日		絹本着色	軸装	131×50.6	愛媛県美術館寄託
86	11	河崎蘭香	美人之図		絹本着色	軸装	116.3×42.1	八幡浜市蔵
87	12	河崎蘭香	香爐峰雪之図	大正5年	絹本着色	軸装	132.3×50.9	個人蔵
88	13	河崎蘭香	御代の花		絹本着色	軸装	97.5×35	個人蔵
89	14	河崎蘭香	双鶏図		絹本着色	軸装	114.1×41.2	愛媛県美術館寄託
90	未掲載	河崎蘭香	楊柳観音像		絹本墨画淡彩	軸装	112×41.5	個人蔵

河崎蘭香関連資料

雑誌『婦女界』	第11巻第4号[大正4年4月] / 第14巻第3号[大正5年9月] / 第15巻第1号[大正6年1月] / 第15巻第4号[大正6年4月] / 第15巻第5号[大正6年5月] / 第16巻第5号[大正6年11月]	個人蔵
雑誌『女学世界』	第7巻第2号[明治40年1月] / 第9巻第10号[明治42年8月] / 第10巻第16号[明治43年11月] / 第11巻第4号[明治44年2月]	個人蔵
雑誌『婦人画報』	102号[大正3年11月] / 122号[大正5年4月]	個人蔵

レオナルド・ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展 ～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

会 期：平成29年11月2日（木）— 12月24日（日）（46日間）

主 催：「アンギアーリの戦い」展愛媛展実行委員会（愛媛県、愛媛新聞社、南海放送）

特別協力：イタリア文化財・文化活動・観光省美術館総局、ウフィツィ美術館

後 援：外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、フィレンツェ市、松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、（公財）愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県PTA連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、朝日新聞松山総局、毎日新聞松山支局、産経新聞社、四国新聞社、徳島新聞社、高知新聞社、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、RNC西日本放送、JRT四国放送、RCK高知放送

協 力：NHKエデュケーショナル、アリタリアーイタリア航空、日本航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス

企画協力：東京富士美術館

会 場：愛媛県美術館 企画展示室1・2、常設展示室3

趣 旨

ルネサンスの巨匠であり、また多岐の分野にわたり、万能の天才として輝かしい軌跡を残したレオナルド・ダ・ヴィンチ（1452–1519）。本展では、レオナルドがフィレンツェのシニョリーア宮殿（現ヴェッキオ宮殿）の大評議会広間（現在の「500人広間」）に、同様に壁画を依頼されたミケランジェロと競演して制作を行った《アンギアーリの戦い》に焦点を当て紹介した。未完に終わった同作品の構図の中心部分を担う「軍旗争奪」の場面が描かれた板絵《タヴォラ・ドーリア（ドーリア家の板絵）》を中心に、この美術史上の伝説的な出来事を取り巻く諸相を紐解いた。

また、「天才ダヴィンチのひみつ」コーナーを設け、レオナルドの代表作をその生涯をたどりながらわかりやすくパネルやファクシミリ版の資料で紹介するとともに、その発明品の数々の立体模型も展示した。

観覧者数：78,804名

関連行事

記念講演会

時 間：14：00～15：30 場所：美術館講堂

① 「《タヴォラ・ドーリア》との対話」

日 時：11月2日（木）

講 師：五木田聡（東京富士美術館 館長）

参加人数：130名

② 「古典絵画技法の魅力」

日 時：11月12日（日）

講 師：上田勇一（美術家）

参加人数：110名

③ 「レオナルド・ダ・ヴィンチと《タヴォラ・ドーリア》」

日 時：11月25日（土）

講 師：越川倫明（本展学術監修者・東京藝術大学 教授）

参加人数：140名

④ 「フィレンツェ時代のレオナルド・ダ・ヴィンチ」

日 時：12月10日（日）
講 師：上原真依（愛媛大学教育学部 講師）
参加人数：120名

ミュージアム・コンサート

日 時：11月19日、26（日） 各13：00～、15：30～（各約30～45分）
演 奏：11/19 Cantate Caritas Matsuyama（カンターテ・カリタス松山）
11/26 13：00～松山リコーダー・プレイヤーズ
15：30～松山・高知ドーナツアンサンブル（ヴィオラ・ダ・ガンバによる演奏）
場 所：美術館エントランスホール
参加人数：延750名

ロビー・コンサート

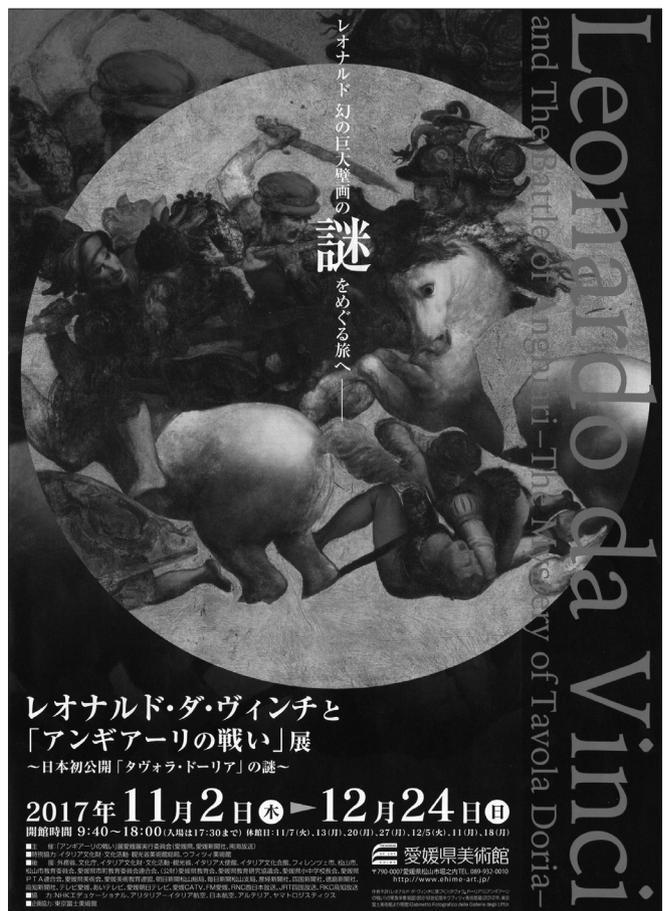
日 時：11月30日（木） 14：00～
演 奏：植田章子（ヴァイオリン）、小野幸代（ピアノ）
場 所：美術館エントランスホール
参加人数：120名

学芸員によるフロアレクチャー

日 時：11月17日、12月8日（各金） 各14：00～（約1時間）
参加人数：延125名

土曜講座「レオナルド・ダ・ヴィンチを読み解く」

日 時：12月2日（土） 14：00～（約1時間）
講 師：杉山はるか（当館主任学芸員）
場 所：美術館講堂
参加人数：140名



出品目録

レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展愛媛展作品リスト

1章 歴史的背景—アンギアーリの戦いとフィレンツェ共和国

セクション1：フィレンツェ共和国

no.	作品情報		所蔵先
1	作者不詳	シニョリア広場におけるサヴォナローラの処刑	サン・マルコ修道院
	17世紀	油彩、カンヴァス 94×120cm	
2	フランチェスコ・デッラ・ロブピア (通称フラ・アンブロージョ)	ジローラモ・サヴォナローラのメダル	バルジェッロ国立美術館
	1497年頃	ブロンズ 直径 9.12cm	
3	作者不詳 (フィレンツェの画家)	シニョリア広場での「敬意の祝祭」	ウフィツィ美術館
	1600年頃	油彩、カンヴァス 103×128cm	
4	クリストファノ・デッラルティッシモ	ピエロ・ソデリーニの肖像	ウフィツィ美術館
	1570年頃	油彩、板 60×45cm	
5	クリストファノ・デッラルティッシモ	チェーザレ・ボルジアの肖像	ウフィツィ美術館
	1568年以前	油彩、板 60×45cm	
6	クリストファノ・デッラルティッシモ	ニコロ・マキアヴェッリの肖像	ウフィツィ美術館
	1568年以前	油彩、板 60×45cm	
7	サンティ・ディ・ティート	ニコロ・マキアヴェッリの肖像	パラッツォ・ヴェッキオ博物館(フィレンツェ美術館群から寄託)
	1570年頃	油彩、板 104×85cm	
8	クリストファノ・デッラルティッシモ	レオナルド・ダ・ヴィンチの肖像	ウフィツィ美術館
	1566-68年	油彩、板 60×45cm	
9	クリストファノ・デッラルティッシモ	ミケランジェロの肖像	ウフィツィ美術館
	1566-68年	油彩、板 60×45cm	
10	ミケランジェロ・ブオナローティの原作に基づく	ダヴィアの頭部 (石膏模造)	東京富士美術館
	原作の年代：1501-04年／原作からの型抜き：1863年／石膏模造：1987年	石膏 高さ 118cm	

セクション2：1440年6月29日、アンギアーリの戦い

11	アンドレア・デル・ヴェロッキオと工房	ピュドナの戦い	ジャクマール＝アンドレ美術館
	1475年頃	テンペラ、板 51×158cm	
12	ピサネッロ (本名アントニオ・ピサーノ)	フィリッポ・マリア・ヴィスコンティのメダル	バルジェッロ国立美術館
	1441年頃	ブロンズ 直径 10.03cm	
13	ピサネッロ (本名アントニオ・ピサーノ)	ニコロ・ピッチニーノのメダル	バルジェッロ国立美術館
	1441年頃	ブロンズ 直径 8.66cm	
14	クリストファノ・デッラルティッシモ	フィリッポ・マリア・ヴィスコンティの肖像	ウフィツィ美術館
	1556年	油彩、板 60×44cm	
15	クリストファノ・デッラルティッシモ	ニコロ・ピッチニーノの肖像	ウフィツィ美術館
	1568年以前	油彩、板 60×44cm	

2章 失われた傑作 — 二大巨匠の幻の競演

セクション1：壁画《アンギアーリの戦い》

17	作者不詳 (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)	タヴォラ・ドーリア (《アンギアーリの戦い》の軍旗争奪場面)	ウフィツィ美術館 (2012年、東京富士美術館より寄贈)
	16世紀前半	油彩とテンペラ、板 85.5×115.5cm	
18	作者不詳 (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)	《アンギアーリの戦い》の模写	パラッツォ・ヴェッキオ博物館(フィレンツェ美術館群から寄託)
	16世紀 (1563年以前)	油彩、板 86×144cm	
19	作者不詳 (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)	《アンギアーリの戦い》の模写	ホーン美術館
	16世紀	油彩、カンヴァス 154×212cm	
20	レオナルド・ダ・ヴィンチ	騎兵の習作 (ファクシミリ版)	原本：フランス学士院図書館 K手稿、第14葉裏 - 15葉表 ファクシミリ版：東京藝術大学附属図書館
	1503-04年頃	黒チョーク、紙 (ファクシミリ版：岩波書店、1990年) 10×13.2cm	

セクション2：ミケランジェロの《カッシナの戦い》

22	マルカントニオ・ライモンディ	岸をよじ登る男たち	大英博物館・版画素描部
	1510年	エングレーヴィング 28.2×21.5cm	
24	マルカントニオ・ライモンディ	岸をよじ登る後ろ姿の裸体の男	大英博物館・版画素描部
	1510-20年	エングレーヴィング 22×13.7cm	

コラム1：《アンギアーリの戦い》をめぐる文書史料

28	レオナルド・ダ・ヴィンチ	『アトランティコ手稿』第202葉 (ファクシミリ版)	原本：アンブロジーアーノ図書館 ファクシミリ版：栃木市
	1503-04年頃	ファクシミリ版：フィレンツェ、ジュンティ社、2006年	

29	レオナルド・ダ・ヴィンチ	『バリ手稿 A』 第 111 葉表 (ファクシミリ版)	原本: フランス学士院図書館 ファクシミリ版: 東京藝術大学附属図書館
		ファクシミリ版: 岩波書店, 1991年	
30	ラファエル・トリシェ・デュ・フレーヌによる初版	『レオナルド・ダ・ヴィンチの絵画論』	東京富士美術館
	1651年 パリ、ジャック・ラングロワ		
31	レオナルド・ダ・ヴィンチ	『マドリード手稿 II』 第 1 葉表 (ファクシミリ版)	原本: マドリード国立図書館 ファクシミリ版: 東京富士美術館
	1505年	ファクシミリ版: 岩波書店, 1975年	

幕間 優美なるレオナルド

40	レオナルド・ダ・ヴィンチの工房、おそらくサライ (本名ジャン・ジャコモ・カプロッティ)	聖アンナと聖母子		カルフォルニア大学、 ハマー美術館
	1508-1513年頃	油彩、板	177.8×144.3cm	
43	マルコ・ドッジョーノに帰属	表: うつむく女性の頭部の習作裏: 右を向いた女性の頭部の周作		大英博物館・版画素描部
	15世紀末期	金属尖筆、クリーム色の下地を施した紙	11.8×9.2cm	
44	作者不詳 (レオナルド・ダ・ヴィンチの様式)	横顔の若い女性		大英博物館・版画素描部
	1490-1510年頃	エングレーヴィング	10.6×7.5cm	

3章 視覚革命 — 《アンギアーリの戦い》によるバロック時代への遺産

セクション1: 《アンギアーリの戦い》とルーベンス

46	ヘラルト・エドリンク (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)	アンギアーリの戦い		ロイヤル・アカデミー・オブ・ アーツ
	1657-66年頃	エングレーヴィング	45×60.3cm	
48	ピーテル・パウル・ルーベンスに帰属 (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)	アンギアーリの戦い		ウィーン美術アカデミー絵 画館
	17世紀初頭	油彩、カンヴァス	82.5×117cm	
52	スヘルテ・アダムズゾーン・ボルスウェルト	ライオン狩り		ロイヤル・アカデミー・オブ・ アーツ
	1630-45年頃	エングレーヴィング	44.5×62cm	
55	ピーテル・クラースゾーン・サウトマン (ピーテル・パウル・ルーベンスに基づく)	猪狩り		ロイヤル・アカデミー・オブ・ アーツ
	1642年	エッチング	50.6×93.1cm	
56	ニコラ・アンリ=タルデュ (ピーテル・パウル・ルーベンスに基づく)	コンスタンティヌス帝とマクセンティウス帝の戦い		東京富士美術館
	原版: 1742-46年 (刷り: 2015年)	エッチング、エングレーヴィング	36.2×49.7cm	

セクション2: 太陽王ルイ14世時代のフランス

58	セバステアン・ルクレール (シャルル・ル・ブランに基づく)	グラニコス川の戦い (連作〈アレクサンドロス大王の戦い〉より)		大英博物館・版画素描部
	1696年	エッチング、エングレーヴィング	14.2×22.4cm	
59	ジラルド・オードラン (シャルル・ル・ブランに基づく)	マクセンティウス帝に対するコンスタンティヌス帝の勝利		大英博物館・版画素描部
	1666年	エッチング、エングレーヴィング、3枚の原版で刷った3枚の紙の接ぎ合わせ	71.3×164.2cm	

セクション3: イタリア・バロックの戦闘図

61	アントニオ・テンベスタ	キリスト教騎士とトルコの騎士の戦い		パラティーナ美術館
	17世紀初頭	油彩、カンヴァス	118×173cm	
62	アントニオ・テンベスタ	歩兵と騎兵の戦い		パラティーナ美術館
	17世紀初頭	油彩、カンヴァス	118×173cm	
63	サルヴァトーレ・ローザ	戦闘		パラティーナ美術館
	1644-48年頃	油彩、カンヴァス	95×145cm	
64	ルカ・ジョルダノ	アマゾン族の戦い		カポデモンテ国立美術館
	1687-89年	油彩、カンヴァス	118×170cm	
65	ルカ・ジョルダノと工房	ホラティウス・コクレスの物語		カポデモンテ国立美術館
	1687-89年	油彩、カンヴァス	119×171cm	
66	ルカ・ジョルダノ	テュニスの攻略		大英博物館・版画素描部
	1700年頃	黒チョーク、褐色の淡彩	28.4×42.4cm	
67	ジャン=ピエール・ノルブラン・ド・ラ・グルデーヌ	騎兵たちの戦闘		大英博物館・版画素描部
	1782年	グレー、褐色、赤の不透明水彩、白のハイライト、紙	36.1×33.4cm	
68	ハインリヒ・フュスリ (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)	軍旗争奪		大英博物館・版画素描部
	1777年	ペンと褐色インク、褐色、灰色、ピンクの淡彩、グラファイトのあたりづけ、紙	36.0×48.2cm	

終章 レオナルドを求めて — ここからはじまる、失われた傑作探求の第一歩

《タヴォラ・ドーリア》の立体復元研究

69	木本諒、井田大介、布山浩司、大石雪野、横川寛人、宮田将寛	《タヴォラ・ドーリア》の立体復元彫刻	高さ37×幅60 ×奥行40 cm	東京富士美術館
	2015年	硬質樹脂、真鍮、その他		

生誕 200 年 沖冠岳と江戸絵画展

- 会 期：**平成 30 年 1 月 20 日（土）— 3 月 25 日（日）（62 日間）
主 催：「沖冠岳展」実行委員会（愛媛県、愛媛新聞社、あいテレビ）
特別協賛：大一ガス株式会社
後 援：松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、（公財）愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県 PTA 連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、（一社）愛媛県観光物産協会、愛媛県公民館連合会、（公財）愛媛県老人クラブ連合会、（公財）松山観光コンベンション協会、愛媛県商工会議所連合会、愛媛県商工会連合会、道後温泉旅館協同組合、愛媛ホテル協会、愛媛県商店街振興組合連合会、連合愛媛、伊予鉄道、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、産経新聞松山支局、愛媛 CATV、FM 愛媛、えひめリビング新聞社
会 場：愛媛県美術館 企画展示室 1・2

趣 旨

江戸時代後期の今治に生まれ、京で画道を修行し、江戸で活躍した画家・沖冠岳（1817-1876）。幼少時には郷里の今治で猿の絵を得意とした医師の山本雲溪を師としたようだが、やがて京へ出て岸派の門人となった。円山応挙から学んだ写生を基本としながらも、中国から伝来した濃厚な写実表現を取り入れ、洋風画からも影響を受けたとみられる岸駒、岸岱の華麗な画風は、冠岳に多大な影響を与えたと考えられる。そうして京都で獲得した技量と個性を携えて江戸へ進出した冠岳は、谷文晁一門を中心とする文人書画壇で活動を始めた。一時期は伊勢国の神戸藩に仕官したが、幕藩体制が揺らぐ中、藩を離れて活動を再開。品川の旗岡八幡神社に大絵馬を制作し、明治初期には浅草の浅草寺に巨大な絵馬を制作した。晩期には今治へ帰郷し、広島の大蔵神社や今治の大浜八幡神社、網敷天満神社にも絵馬を制作して、郷里にも足跡を残した。その画風は、岸派の力強い写生と華麗な色彩を基調としながら、江戸風の洒落た趣向にも富み、幕末維新期という時代を反映したものか、典雅な知性と庶民のしたたかなエネルギーとを合わせ持っているように思われる。

沖冠岳が生誕200年を迎えたことを記念して開催する本展では、冠岳の多彩な画業をその生涯とともにたどった。さらに師友を中心に同時代の画壇をも一瞥し、宇和島の大内蘚圃や西条の小林西台の作品も紹介することで、幕末江戸画壇における伊予人の活躍に触れる機会としていただいた。

観覧者数：7,611名

関連行事

記念講演会「子孫が語る沖冠岳」

日 時：1月27日（土） 13：30～15：00
講 師：沖啓介（沖冠岳子孫、メディアアーティスト、東京造形大学特任教授）
場 所：愛媛県美術館 講堂
参加人数：70名

連続講座「幕末明治初期を生きた画家 沖冠岳」

①その生涯をたどる ②江戸の画界と書画会
日 時：①2月3日（土） ②2月10日（土） 各14：00～15：00
講 師：梶岡秀一（当館専門学芸員・担当係長）
場 所：愛媛県美術館 ハイビジョンギャラリー
参加人数：延55名

土曜講座「沖冠岳の絵を楽しむ」

日時：3月24日（土） 14：00～15：00

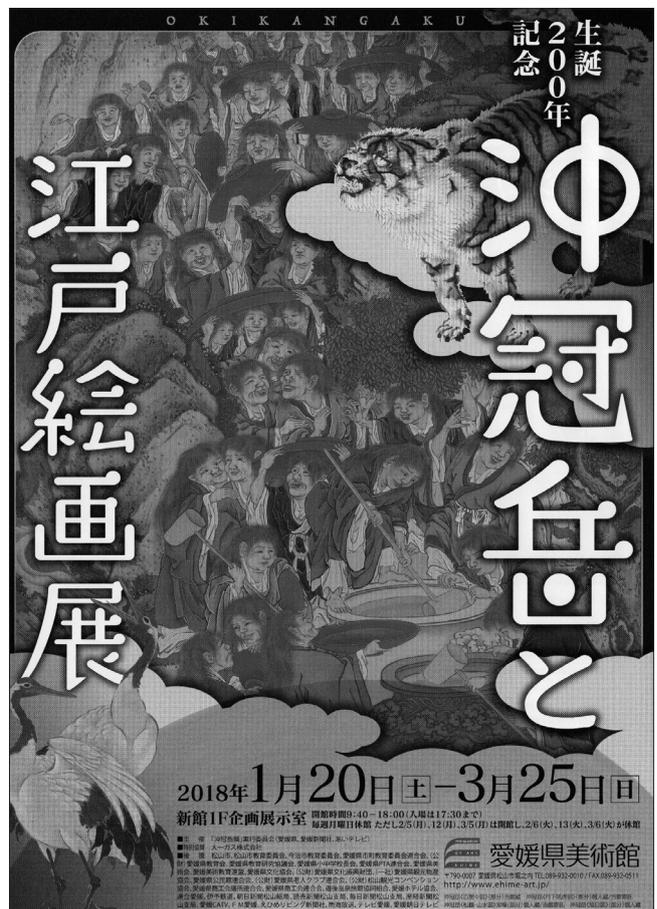
講師：梶岡秀一（当館専門学芸員・担当係長）

場所：愛媛県美術館 ハイビジョンギャラリー

参加人数：22名

対話型鑑賞プログラム「沖冠岳をみる、考える、話す、聴く」

※詳細は教育普及事業報告を参照。



出品目録

第1章 沖冠岳の画業

第1節 京都で修業

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
1	沖冠岳	鴨之図	天保11年(1840)	絹本墨画淡彩／軸	127.7×53.8	個人	
2	沖冠岳	群猿図	天保12年(1841)	絹本着色／軸	106.9×42.7	個人	
3	沖冠岳	月梅図	天保13年(1842)	絹本着色／軸	104.0×35.9	個人	
4	沖冠岳	梅花図		絹本墨画淡彩／軸	96.3×36.6	個人	
5	沖冠岳	瀧見観音像	天保14年(1843)	絹本墨画淡彩／軸	99.9×37.0	個人	
6	沖冠岳	煮茶・観瀑図		絹本着色／軸双幅	各 98.3×36.2	愛媛県美術館	
7	沖冠岳	双鶴図		絹本着色／軸	91.8×33.8	個人(愛媛県美術館寄託)	
8	沖冠岳	旭日に猪図		絹本着色／軸	99.2×34.8	個人(愛媛県美術館寄託)	
9	沖冠岳	鹿に萩		紙本着色／軸	168.8×91.7	今治城	
10	沖冠岳	鎮西八郎為朝像		絹本着色／軸	98.0×35.5	愛媛県美術館	
11	沖冠岳	赤壁遊水		絹本着色／軸	100.0×35.8	今治城	
12	沖冠岳	鷹図		絹本着色／軸	97.0×40.7	個人	
13	沖冠岳	虎図		絹本墨画淡彩／軸	114.3×51.5	個人	

第2節 江戸へ進出

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
14	沖冠岳	猛虎図	弘化4年(1847)	絹本着色／軸	123.3×54.8	個人	1/20 - 2/18
15	沖冠岳	青緑山水人物図	嘉永元年(1848)	絹本着色／軸	131.2×56.0	個人(愛媛県美術館寄託)	
16	沖冠岳	双鶴梅図	嘉永3年(1850)	絹本着色／軸	104.0×41.0	個人	1/20 - 2/18
17	沖冠岳	月に雁図		絹本着色／軸	97.2×35.8	個人(愛媛県美術館寄託)	2/20 - 3/25
18	沖冠岳	富士越龍図		絹本墨画／軸	35.8×50.4	個人(愛媛県美術館寄託)	
19	沖冠岳	梅狗図		絹本墨画淡彩／軸	90.0×31.5	愛媛県美術館	1/20 - 2/18
20	沖冠岳	鶴・虎・獅子図 (仁・智・勇)		絹本墨画／軸3幅	各 99.0×36.0	個人(愛媛県美術館寄託)	
21	沖冠岳	虎図		絹本着色／軸	122.4×39.4	個人	
22	沖冠岳	虎		絹本墨画／軸	102.0×50.2	今治城	
23	沖冠岳	馬		紙本墨画／軸	101.2×29.0	今治城	1/20 - 2/18
24	沖冠岳	武人坐像		絹本着色／軸	97.0×33.8	佐賀大学附属図書館	
25	沖冠岳	猛虎図		絹本着色／軸	132.2×51.3	個人(愛媛県美術館寄託)	
26	沖冠岳	月下吼虎図		絹本墨画／軸	42.7×68.0	個人(愛媛県美術館寄託)	
27	沖冠岳	松鶴・山水図		絹本着色／軸双幅	各 99.5×36.9	個人(愛媛県美術館寄託)	
28	沖冠岳	桜花群猿図	安政元年(1854)	絹本着色／軸	101.9×40.8	個人	2/20 - 3/25
29	沖冠岳	虎図	安政2年(1855)	紙本墨画淡彩／軸	114.8×42.8	個人	
30	沖冠岳	猛虎図		絹本着色／軸	128.5×39.4	個人	
31	沖冠岳	五節句		絹本着色／軸	112.0×40.9	愛媛県美術館	2/20 - 3/25
32	沖冠岳	蝦蟇仙人図		紙本墨画／軸	123.7×59.0	個人	2/20 - 3/25

第3節 冠岳改め冠翠

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
33	沖冠岳	群牛図	万延元年(1860)	絹本墨画淡彩／軸	113.7×56.4	個人(愛媛県美術館寄託)	
34	沖冠岳	花鳥図	文久2年(1862)	紙本着色／軸	116.9×40.5	個人	
35	沖冠岳	竹林七賢図		絹本墨画／軸	54.2×84.0	個人	
36	沖冠岳	山水図		紙本墨画／軸	104.7×31.5	個人(愛媛県美術館寄託)	2/20 - 3/25

第4節 冠岳復帰

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
37	沖冠岳	月に雁		紙本墨画／軸	104.9×51.6	個人	1/20 - 2/18
38	沖冠岳	芦雁		紙本墨画淡彩／軸	115.5×51.9	今治城	1/20 - 2/18
39	沖冠岳	寒梅・瀑布図		絹本着色／軸双幅	各 125.5×54.7	個人	
40	沖冠岳	常盤御前		絹本着色／軸	37.5×61.8	個人	
41	沖冠岳	菊に鴉		絹本着色／軸	129.0×51.0	今治城	
42	沖冠岳	旭日図	元治2年(1865)	絹本着色／軸	39.2×69.0	個人	
43	沖冠岳	虎図	明治3年(1870)	紙本淡彩／軸	116.2×58.5	個人(愛媛県美術館寄託)	1/20 - 2/18
44	沖冠岳	四季花鳥図	明治4年(1871)	絹本着色／軸双幅	各 112.0×50.0	愛媛県美術館	
45	沖冠岳	虎之図	明治4年(1871)	絹本着色／軸	48.3×30.6	愛媛県美術館	
46	沖冠岳	花前煮茶図	明治4年(1871)	紙本着色／軸	127.5×47.5	個人(愛媛県美術館寄託)	2/20 - 3/25
47	沖冠岳	富士越龍図	明治4年(1871)	紙本墨画／軸	87.5×28.6	個人	1/20 - 2/18
48	沖冠岳	雲龍図	明治5年(1872)	紙本墨画／軸	97.3×27.9	個人	2/20 - 3/25
49	沖冠岳	柳図屏風		紙本墨画／二曲屏風一隻(押絵貼)	各図 138.0×59.0	西条市立西条郷土博物館	
50	沖冠岳	三顧図屏風		紙本着色／六曲屏風一双	各 156.0×356.0	個人(愛媛県美術館寄託)	
51	沖冠岳	流水響空山図		紙本着色／軸	171.5×91.5	今治城	2/20 - 3/25
52	沖冠岳	菊池武光像		絹本着色／軸	129.0×57.0	愛媛県美術館	
53	沖冠岳	百狸々図		絹本着色／軸	130.1×50.7	愛媛県美術館	
54	沖冠岳	四季花鳥図屏風	明治6年(1873)	紙本着色／六曲屏風一双	各 161.0×365.0	今治城	1/20 - 2/18
55	沖冠岳	山水	明治7年(1874)	紙本着色／卷子(5巻のうち)	29.9×549.1	個人(今治城寄託)	
56	沖冠岳	干支	明治7年(1874)	紙本着色／卷子(5巻のうち)	29.9×549.1	個人(今治城寄託)	
57	沖冠岳	鳥	明治7年(1874)	紙本着色／卷子(5巻のうち)	30.8×478.1	個人(今治城寄託)	
58	沖冠岳	花鳥	明治7年(1874)	紙本着色／卷子(5巻のうち)	30.9×718.7	個人(今治城寄託)	
59	沖冠岳	鳥(縦描)	明治7年(1874)	紙本着色／卷子(5巻のうち)	30.9×415.6	個人(今治城寄託)	
60	沖冠岳	鷹雀	明治7年(1874)	紙本着色／軸	130.2×60.0	今治城	1/20 - 2/18
61	沖冠岳	梅に軍鶏		紙本墨画淡彩／軸	130.8×37.5	今治城	2/20 - 3/25
62	沖冠岳	蕨図		紙本着色／軸	18.0×38.6	個人(愛媛県美術館寄託)	
63	沖冠岳	五月幟図		絹本着色／軸	94.7×55.9	愛媛県美術館	
64	沖冠岳	梅に小鳥		絹本着色／軸	97.0×33.0	今治城	2/20 - 3/25
65	沖冠岳	水禽		紙本着色／軸	129.0×49.3	今治城	2/20 - 3/25
66	伝沖冠岳	今治城図		紙本着色／額(2面のうち)	53.4×134.0	吹揚神社(今治城寄託)	
67	伝沖冠岳	今治城図		紙本着色／額(2面のうち)	50.9×129.8	吹揚神社(今治城寄託)	
68	畑銀雞	現存雷名江戸文人壽命附 二編	嘉永3年(1850)	和装本		徳島県立図書館	
69	畑銀雞	書畫蒼粹 二編	安政6年(1859)	和装本		個人	
70		今治藩寄留人取調帳	明治4年(1871)	和装本		今治市立中央図書館	
71	河田小龍	吸江図誌	明治11年(1878)	和装本		個人	

第2章 師友

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
72	山本雲溪	猿		絹本着色／軸	116.7×31.2	個人	
73	山本雲溪	瓢箪図		紙本墨画／軸	61.6×26.9	個人(愛媛県美術館寄託)	1/20 - 2/18
74	山本雲溪	虎図		絹本着色／軸	100.0×31.2	個人	2/20 - 3/25
75	岸駒	雪月蘆雁	天明9年(1789)頃	絹本着色／軸双幅	各 115.5×50.0	個人	

76	岸駒	白蓮翡翠図		絹本着色／軸	132.7×85.5	敦賀市立博物館	2/20 - 3/25
77	岸岱	群仙琴棋書画図	万延元年(1860)	絹本着色／軸	144.0×86.2	敦賀市立博物館	2/20 - 3/25
78	岸岱	雪中探梅図		絹本墨画淡彩／軸	99.6×33.6	個人(愛媛県美術館寄託)	
79	岸良	猛虎嘯風図		絹本墨画淡彩／軸	136.0×112.5	敦賀市立博物館	1/20 - 2/18
80	山下桂岳	梅に雀		紙本着色／まくり	68.3×29.7	個人(愛媛県美術館寄託)	
81	山下桂岳	菊		紙本着色／まくり	68.0×29.4	個人(愛媛県美術館寄託)	
82	山下桂岳	牡丹		紙本着色／まくり	67.5×29.3	個人(愛媛県美術館寄託)	
83	山下桂岳	蘭		紙本着色／まくり	67.5×29.3	個人(愛媛県美術館寄託)	

第3章 江戸画壇

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
84	谷文晁	青緑秋景山水	文化2年(1805)	絹本着色／軸	94.2×39.6	個人	
85	谷文晁	秋山訪陰図	文化10年(1813)	絹本着色／軸	140.1×69.6	個人	
86	大西椿年	鶴亀		絹本墨画淡彩／軸	107.5×41.6	個人	
87	鐫木雲譚	草虫図		絹本着色／軸	108.0×41.0	個人	
88	佐竹永海	飲中八仙図		絹本着色／六曲屏風一雙	各 153.5×338.6	個人(愛媛県美術館寄託)	
89	瀧和亭	牡丹図		絹本着色／軸	20.8×26.8	個人	2/20 - 3/25
90	春木南溟	七夕		絹本着色／軸	120.5×46.8	個人	1/20 - 2/18
91	春木南溟	耕作(田植え)		絹本着色／軸	124.8×47.0	個人	2/20 - 3/25
92	椿椿山	春七草	弘化4年(1847)	絹本着色／軸	117.5×39.3	個人	
93	椿椿山	高魁図	安政元年(1854)	絹本着色／軸	121.0×49.5	個人	1/20 - 2/18
94	小林西台	孟母断機図		絹本着色／二曲屏風一隻(押絵貼)	各図 67.7×53.0	個人(愛媛県美術館寄託)	
95	小林西台	花鳥之図		絹本着色／軸	74.5×31.9	愛媛県美術館	1/20 - 2/18
96	小林西台	狐の嫁入り		絹本着色／軸	30.4×36.2	個人	
97	大内蘚圃	紅葉鹿図	文化10年(1813)	絹本墨画／軸	107.0×36.0	個人	
98	大内蘚圃	群猿		絹本墨画／軸	117.3×41.6	愛媛県美術館	2/20 - 3/25

第4章 絵馬の愉しみ

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
99	沖冠岳	三夫婦参拝の図	文政10年(1827)	板着色／絵馬	90.8×181.5	綱敷天満神社	
100	沖冠岳	猿駒止【品川区指定有形文化財】	元治元年(1864)	板着色／絵馬	133.0×178.0	旗岡八幡神社	
101	沖冠岳	四季花卉	明治6年(1873)	桧板着色／絵馬	213.6×153.0	金刀比羅宮	
102	山本雲溪	鐘馗	文政4年(1821)	桐板金箔地着色／絵馬	187.9×156.1	金刀比羅宮	
103	河田小龍	為朝	明治13年(1880)	杉板金砂子地着色／絵馬	80.3×103.0	金刀比羅宮	

第5章 百の祝福

No.	作家名	作品名	年代	材質技法／形状	法量(cm／縦×横)	所蔵者	展示期間
104	大内蘚圃	群猿百態	天保12年(1841)	紙本淡彩／軸	163.2×189.0	愛媛県美術館	
105	喜多武清	烏鷺		絹本墨画淡彩／軸双幅	各 129.5×49.5	個人	
106	岸礼	百福図	明治6年(1873)	紙本淡彩／軸	183.0×137.0	敦賀市立博物館	1/20 - 2/18
107	河田小龍	百禄寿図	明治30年(1897)	絹本淡彩／軸	125.0×49.4	高知県立美術館	2/20 - 3/25
特別出品	沖冠岳	蘭亭曲水図		絹本着色／軸		個人	

アードマン・アニメーションズ設立 40周年記念 ひつじのショーン展

会 期：平成29年9月12日（火）— 10月22日（日）（36日間）
主 催：「ひつじのショーン展」愛媛実行委員会（愛媛県、愛媛新聞社、愛媛朝日テレビ、東映）
後 援：松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、（公財）愛媛県教育会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県小中学校長会、愛媛県PTA連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛県文化協会、（公財）愛媛県文化振興財団、（一社）愛媛県観光物産協会、愛媛経済同友会、愛媛県商工会議所連合会、愛媛県公民館連合会、（公財）愛媛観光コンベンション協会、連合愛媛、愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合、愛媛ホテル協会、絵旺後温泉旅館協同組合、伊予鉄道（株）、愛媛県利用生活衛生同業組合、愛媛県美容業生活衛生同業組合、愛媛県料飲業生活衛生同業組合、愛媛県喫茶業生活衛生同業組合、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛CATV、FM愛媛

協 力：東北新社
会 場：愛媛県美術館 企画展示室 1・2
趣 旨

音声に合わせてパペットを動かすクレイアニメーションの制作で世界的な評価を集めるイギリスの「アードマン・アニメーションズ」。「ひつじのショーン」は設立40周年を迎えた同社の代表作の一つで、2007年に英国放送協会（BBC）で放送開始され、日本では同4月からNHK教育テレビで放映された。

同作は以来、好評のうちにシリーズを重ね、NHK系列で各シリーズの放映が続くほか、2015年には映画化。国内でも現在も継続してNHK Eテレで放送されている。しっかりとしたストーリー展開とキャラクターの個性、独特のユーモアで年齢を問わず世界中から愛されている。

本展では、「ひつじのショーン」の他、「ウォレスとグルミット」シリーズや「チキンラン」などの人気作品も合わせ、複数の巨大ジオラマセットや撮影に使ったキャラクター、設定画など貴重な資料を多数展示した。

観覧者数：28,283名

関連行事

映画「ひつじのショーン」上映会

日 時：9月17日（日）10:30～ 13:00～ 16:00～
 作品名：「ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～」2015年
 場 所：美術館講堂
 参加人数：延237名

学芸員によるフロアレクチャー

日 時：9月30日、10月14日（各土）各14:00～
 講 師：喜安嶺（当館学芸員）
 参加人数：延56名

ひつじのショーンと握手！

日 時：9月23日（土）、24日（日）11:00～ 13:00～ 15:00～
 場 所：美術館エントランスホール
 参加人数：延970名

羊でひつじをつくろう！

日 時：10月7日（土）14:00～
 講 師：田代亜矢子（当館専門学芸員）、喜安嶺（当館学芸員）
 場 所：アトリエ2
 参加人数：28名



出品目録

ひつじのショーン展作品リスト

「ひつじのショーン」TVシリーズ 2007年～2018年 (各7分)

No.	作品名	寸法 (cm)	点数
1	納屋 撮影用セットと小物、パペット	110.0×120.0×138.0	—
2	牧場主の家のキッチン 撮影用セットと小物、パペット	115.0×102.0×118.0	—
3	キャラクター設定スケッチ リチャード・スターザック画	A3	9
4	キャラクター設定スケッチ リチャード・スターザック画	A4	11
5	キャラクター設定スケッチ シルヴィア・ベニオン画	A3	4
6	キャラクター設定スケッチ シルヴィア・ベニオン画	A4	10
7	設定スケッチ シルヴィア・ベニオン画	A3	2
8	キャラクター設定スケッチ ニック・パーク画	A4	5
9	ストーリーボード ニック・パーク画	A4	1
10	キャラクター設定スケッチ	A4	1

「こひつじのティミー」 2009年～2012年 (78話／各10分、2話／22分)

No.	作品名	寸法 (cm)
11	ティミーたちの保育園 撮影用セットと小物、パペット	100.0×120.0×110.0

「映画 ひつじのショーン ～バック・トゥ・ザ・ホーム～」 2015年 (85分)

No.	作品名	寸法 (cm)	点数
12	小型トレーラーハウス 撮影用モデルとパペット	80.0×110.0×74.0	—
13	ショーンの納屋 撮影用セットと小物、パペット	110.0×120.0×138.0	—
14	バスターミナル 撮影用セットと小物、パペット	188.0×145.0×195.0	—
15	手術室 撮影用セットと小物、パペット	93.0×102.0×88.0	—
16	大都会のレストラン 撮影用セットと小物、パペット	157.0×176.0×113.0	—
17	MR.Xの美容室 撮影用セットと小物、パペット	99.0×225.0×95.0	—
18	動物収容センターのトランパーとスリッパ 撮影用セットと小物、パペット	106.0×193.0×133.0	—
19	キャラクター設定スケッチ リチャード・スターザック画	A4	11
20	キャラクター設定スケッチ リチャード・スターザック画	A3	5
21	キャラクタースケッチ リチャード・スターザック画	—	6
22	キャラクタースケッチ リチャード・スターザック画	A4	1
23	キャラクタースケッチ リチャード・スターザック画	A3	3

「ひつじのショーン スペシャル ～いたずらラマがやってきた～」 2015年 (28分)

No.	作品名	寸法 (cm)
24	クアッド・バイクのいたずらラマたち 撮影用モデルとパペット	69.0×90.0×37.0

「モーフの冒険」 1980年 (各5分)

No.	作品名	寸法 (cm)
25	『モーフの冒険』モーフ 撮影用パペット	11.0×13.0×17.0

「快適な生活」 1989年 (各9分)

No.	作品名	寸法 (cm)	点数
26	トリクシーとカドルプス隊長 レジンキャスト製パペット	27.0×40.0×13.0	—
27	キャラクター設定スケッチ マイケル・ソルター画	A3	30

「ウォレスとグルミット チーズ・ホリデー」 1989年 (23分)

No.	作品名	寸法 (cm)	点数
28	コンセプトスケッチ ニック・パーク画	A4	3
29	設定スケッチ ニック・パーク画	A3	3
30	キャラクター設定スケッチ ニック・パーク画	A3	6

「ウォレスとグルミット ペンギンに気をつけろ！」 1993年 (30分)

No.	作品名	寸法 (cm)	点数
31	謎のペンギン、フェザー・マッグロウ レジンキャスト製パペット	7.0×7.0×13.0	-
32	キャラクター設定スケッチ ニック・パーク画	A3	11
33	設定スケッチ ニック・パーク画	A3	5
34	ストーリーボード ニック・パーク画	A3	10

「ウォレスとグルミット 危機一髪！」 1995年 (31分)

No.	作品名	寸法 (cm)	点数
35	プレストン レジンキャスト製パペット	12.0×13.0×19.0	-
36	モーターバイクとサイドカーのウォレスとグルミット 撮影用モデルとレジンキャスト製パペット	30.0×25.0×26.0	-
37	ウェンドレンの糸屋ショップサイン 撮影用小物	1.0×14.0×15.0	-
38	ウェンドレンの糸屋ショップテーブル 撮影用小物	7.0×12.0×17.0	-
39	セーターを着たショーン パペットとレプリカ小物	-	-
40	キャラクター設定スケッチ ニック・パーク画	A3	7
41	ストーリーボード ニック・パーク画	A3	21

「チキンラン」 2000年 (85分)

No.	作品名	寸法 (cm)	点数
42	鶏小屋 撮影用セットと小物、パペット	114.0×180.0×110.0	-
43	バプス 撮影用パペット	16.0×16.0×27.0	-
44	鶏小屋 撮影用モデル	26.0×76.0×30.0	-
45	ストーリーボード ダン・レイン画	A3	1
46	ストーリーボード マイケル・ソルター画	A3	11
47	設定スケッチ ダン・レイン画	A3	1

「ウォレスとグルミットのおすすめ生活」 2002年 (各2分)

No.	作品名	寸法 (cm)
48	自動シェフ 撮影用モデル	12.0×12.0×20.0
49	雪だるま製造機 撮影用モデルとパペット	44.0×22.0×30.0

「ウォレスとグルミット 野菜畑で大ピンチ！」 2005年 (85分)

No.	作品名	寸法 (cm)
50	マルチ夫妻の裏庭 撮影用セットと小物、レジンキャスト製パペット	75.0×131.0×123.0
51	ウサギ男とウォレス 撮影用セットと小物、パペット	124.0×153.0×170.0
52	レディ・トッティントン レジンキャスト製オリジナルパペット	12.0×13.0×30.0
53	ミスター・クロック レジンキャスト製オリジナルパペット	12.0×12.0×24.0
54	ミスター・ウィンドフォール レジンキャスト製オリジナルパペット	12.0×13.0×24.0
55	男の子 レジンキャスト製オリジナルパペット	9.0×9.0×16.0
56	グルミットの複葉飛行機、撮影用小物	20.0×16.0×10.0
57	フィリップの複葉飛行機、撮影用小物	22.0×17.0×10.0
58	ノーム / 庭の監視モニター 撮影用小物	4.0×4.0×11.0

59	「吸引・放出」電動ハンドル 撮影用小物	4.0×6.0×5.0
60	野菜のバスケット、撮影用小物	7.0×12.0×7.0
61	メガネとダイビングマスク、撮影用小物	メガネ：3.0×3.0×1.0 ダイビングマスク：3.0×2.0×3.0
62	BV/バニー・バキューム 6000、撮影用小物	34.0×34.0×48.0
63	野菜、撮影用小物	—
64	ウサギの毘、撮影用小物	7.0×15.0×7.0

『ウォレスとグルミット ベーカリー街の悪夢』 2008年 (29分)

No.	作品名	寸法 (cm)
65	ウォレスとグルミットの家 撮影用セットと小物	54.0×151.0×150.0
66	パイエラ・ベークウェルの秘密のベッドルーム 撮影用セットと小物	29.0×102.0×129.0
67	情熱のスパニッシュ・レストラン 撮影用セットと小物	79.0×119.0×79.0
68	グルミットの部屋のラグ 撮影用小物	34.0×51.0
69	パン屋「トップ・パン」の配達トラック 撮影用小物	50.0×20.0×27.0
70	ウォレスとグルミット レジンキャスト製パペット	15.0×21.0×24.0
71	アフタヌーンティーセット 撮影用小物	クラッカー：6.0×6.0×3.0 カップ&ソーサー：4.0×4.0×3.0 ティーポット：7.0×4.0×5.0
72	パイエラの爆弾 撮影用小物	8.0×8.0×10.0
73	パンと菓子パン 撮影用小物	—
74	アンティークチェスト 撮影用小物	10.0×22.0×10.0
75	アンティークチェア 撮影用小物	10.0×14.0×18.0
76	SMUG 冷蔵庫 撮影用小物	12.0×13.0×24.0
77	ウォレスのベッド 撮影用小物	34.0×23.0×19.0
78	クロック・タワー 撮影用セットと小物	55.0×56.0×121.0

「ザ・パイレーツ！バンド・オブ・ミスフィッツ」 2012年 (88分)

No.	作品名	寸法 (cm)
79	海賊船長 撮影用差替え用の口	26.0×38.0×5.0

「Wallece & Gromit's Musical Marvels」 2012年 (45分)

No.	作品名	寸法 (cm)
80	音叉 撮影用小物	7.0×20.0×19.0

Ⅲ 作品の収集事業及び保存管理

1 収集方針（愛媛県美術館収集方針）

趣旨

古代から瀬戸内海交通の要所として栄え、これまで多くの文人・画家の輩出や来訪があった愛媛の地は、瀬戸内海の島々や石鎚山などの豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、温厚できめ細かな県民性を育んだ。このような歴史と風土から生まれた愛媛の伝統的な文化を受け継ぎながら、豊かで個性的な愛媛の芸術文化を創造するため、愛媛ならではの特色ある収集を行う。

収集分野

日本画、洋画、版画、デザイン、書ほかの平面作品、彫塑、工芸ほかの立体作品、写真、ビデオほかの映像作品等を含む。

基本方針

- (1) 国内外の優れた作品の鑑賞を通して、県民の審美眼や美意識の涵養を図るため、美術史上重要な作家及びその動向を知る上で欠くことのできない作家の作品及び関連資料を収集する。
- (2) 本県出身作家及び本県ゆかりの作家を顕彰することにより、本県美術の流れを県民に理解していただくため、本県出身作家及び関連作家の作品並びに関連資料を収集する。

重点方針

- (1) 国内外の優れた作品
 - ア 19世紀以降現代にいたる美術史の流れを辿れる国内外の優れた作品を中心に収集する。さらに近代の作品をより広い視野でとらえるために18世紀以前の作品も収集の対象とする。
 - イ 今日という時代を刻印する作品を収集する。
- (2) 本県出身作家及び関連作家の作品と関連資料
 - ア 松本山雪を基点として、関連する近世絵画を収集する。
 - イ 大智勝観、矢野橋村をはじめ、関連する近代日本画を収集する。
 - ウ 中川八郎、中野和高、野間仁根らをはじめ、関連する絵画を収集する。
 - エ 日本の前衛美術における柳瀬正夢の位置を重視し、その作品及び関連する作品等を収集する。
 - オ グラフィックデザイン史に足跡を残した杉浦非水の作品及び関連する作品等を収集する。

2 取得作品の概要

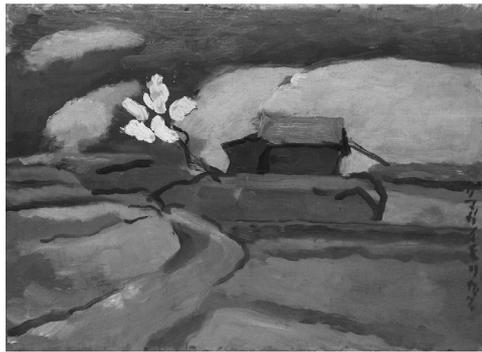
購入作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・支持体	寸法 (cm)
1	熊谷守一	桃	昭和16年(1941)	油彩・板	23.8×32.9
2	遠藤広実	源氏物語図	弘化元-2年 (1844-45)	絹本着色・軸双幅	各 90.0×32.0
3	喜多武清	烏鷺図	天保8年(1837)	絹本墨画淡彩・ 軸双幅	各 129.5×49.5
4	鏑木雲潭	草虫図	江戸時代後期	絹本着色・軸	108.0×41.0
5	冲冠岳	鴨之図	天保11年(1840)	絹本墨画淡彩・軸	127.7×53.8
6	冲冠岳	月梅図	天保13年(1842)	絹本墨画淡彩・軸	104.0×35.9
7	冲冠岳	双鶴梅図	嘉永3年(1850)	絹本着色・軸	104.0×41.0
8	冲冠岳	虎図	安政2年(1855)	絹本墨画淡彩・軸	107.3×48.7
9	冲冠岳	旭日図	元治2年(1865)	絹本着色・軸	39.2×69.0
10	武田耕雪	石鎚山		絹本着色・額	36.0×89.0

寄贈作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・支持体	寸法 (cm)
1	柳瀬正夢	早朝の甲斐駒	昭和11年(1936)	油彩・画布	31.0×40.0
2	越智宗茂	カンポ・デ・クリプターナの家	昭和50年(1975)	油彩・画布	102.0×127.5
3	越智宗茂	裸婦	1960年代	油彩・画布	145.3×89.8
4	越智宗茂	北信雪景	昭和51年(1976)	油彩・画布	112.0×146.0
5	越智宗茂	雪の安曇野	昭和58年(1983)	油彩・画布	130.5×161.5
6	越智宗茂	ロンドン・チェルシー街のパブ	平成7年(1995)	油彩・画布	117.5×151.0
7	古茂田公雄	〔風景〕	昭和38年(1963)頃か	油彩・画布	33.3×45.5
8	高田修	婦人像	昭和11年(1936)	油彩・画布	72.0×58.3
9	木和村創爾郎	版画集『近江八景』	昭和34年(1959)	木版・紙(8点組)	各 45.6×30.2 [紙サイズ]
10	高橋周桑	山	昭和29年(1954)	紙本着色・額一面	108.0×147.0
11	高橋周桑	新樹	昭和25年(1950)頃	紙本着色・額一面	50.0×57.0
12	高橋周桑	春蘭	昭和25年(1950)頃	紙本着色・額一面	77.0×45.0
13	高橋周桑	鮎	昭和26年(1951)	紙本着色・額一面	23.5×26.5
14	高橋周桑	柿	昭和26年(1951)	紙本着色・額一面	43.0×51.0
15	高橋周桑	牡丹	昭和27年(1952)	紙本着色・額一面	59.0×40.0
16	高橋周桑	松と鳥	昭和29年(1954)	紙本着色・額一面	39.0×48.0
17	高橋周桑	菖蒲	昭和29年(1954)	紙本着色・額一面	52.0×44.0
18	高橋周桑	富士と松原	昭和30年(1955)頃	紙本着色・額一面	50.0×42.0
19	高橋周桑	鉄仙瓶	昭和31年(1956)	紙本着色・額一面	60.0×59.0
20	高橋周桑	梅	昭和32年(1957)	紙本着色・額一面	136.0×112.0
21	高橋周桑	皿の杏	昭和36年(1961)	紙本着色・額一面	39.0×50.0
22	高橋周桑	木立	昭和37年(1962)	紙本着色・額一面	60.0×50.0
23	高橋周桑	林	昭和38年(1963)	紙本着色・額一面	52.0×40.0
24	高橋周桑	春暁	昭和38年(1963)	紙本着色・額一面	44.0×51.0

購入作品



1 熊谷守一
桃
昭和16年(1941)
油彩・板
23.8×32.9cm



2 遠藤広実
源氏物語図
弘化元-2年(1844-45)
絹本着色・軸双幅
各90.0×32.0cm



3 喜多武清
烏鷺図
天保8年(1837)
絹本墨画淡彩・軸双幅
各129.5×49.5cm



4 鏑木雲譚
草虫図
江戸時代後期
絹本着色・軸
108.0×41.0cm



5 沖冠岳
鴨之図
天保11年(1840)
絹本着色・軸
127.7×53.8cm

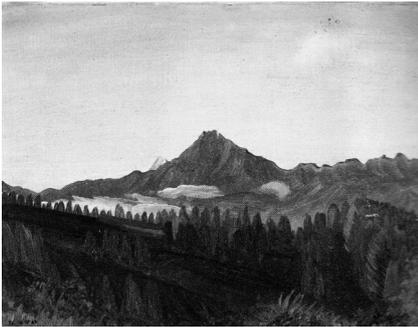


6 沖冠岳
月梅図
天保13年(1842)
絹本墨画淡彩・軸
104.0×35.9cm



10 武田耕雪
石鎚山
絹本着色
36.0×89.0cm

寄贈作品



1 柳瀬正夢
早朝の甲斐駒
昭和11年(1936)
油彩・画布
31.0×40.0cm



2 越智宗茂
カンボ・デ・クリプターナの家
昭和50年(1975)
油彩・画布
102.0×127.5cm



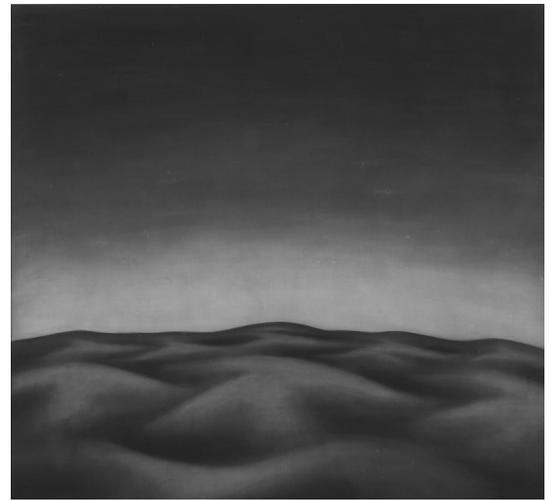
7 古茂田公雄
〔風景〕
昭和38年(1963)頃
油彩・画布
33.3×45.5cm



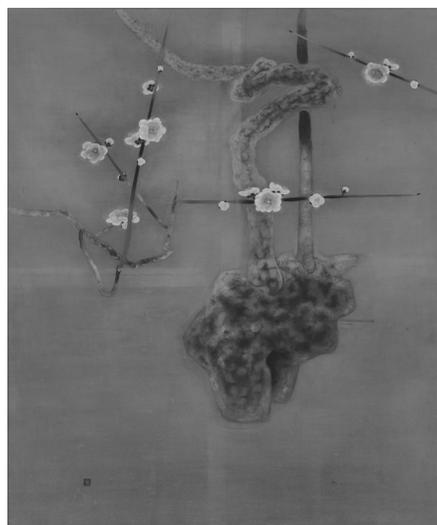
8 高田修
婦人像
昭和11年(1936)
油彩・画布
72.0×58.3cm



9 木和村創爾郎
版画集『近江八景』
昭和34年(1959)
木版・紙(8点組)
各45.6×30.2cm(紙サイズ)



10 高橋周桑
山
昭和29年(1954)
紙本着色
108.0×147.0cm



20 高橋周桑
梅
昭和32年(1957)
紙本着色
136.0×112.0cm

3 収蔵作品数

分野	～平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	合計
日本画	437点			64点	10点	110点	2点	26点	6点	1点	24点	680点
海外絵画	9点											9点
油彩画	545点	4点	7点	86点	10点		13点	4点		10点	9点	688点
水彩画	113点			4点		1点	11点	2点		7点		138点
素描	223点			11点			2点					236点
版画	456点		235点	29点		16点		14点			1点	751点
書	302点			5点		1点						308点
彫塑	33点		5点		2点							40点
工芸	44点			1点	1点							46点
写真	36点		1点	3点	3点							43点
立体・インスタレーション	17点		2点	10点	4点	18点	6点		3点			60点
デザイン	71点						3点	7点				81点
その他	8,542点							15点		308点		8,865点
計	10,828点	4点	250点	213点	30点	146点	37点	68点	9点	326点	34点	11,945点

4 保存・修復

(1) 収蔵庫燻蒸

内 容 : 専門業者によるブンガノンVA及びライセントの薬剤噴霧
 期 間 : 平成29年11月16日
 場 所 : 地階 収蔵部門 収蔵前室、撮影室 計132㎡

内 容 : 専門業者によるブンガノンVA及びライセントの薬剤噴霧
 期 間 : 平成30年3月2日
 場 所 : 1階 収蔵部門 一時保管庫 77㎡

(2) 収蔵庫清掃

内 容 : 学芸員の当番制及び博物館実習生による清掃作業（年3回）
 場 所 : 地階 収蔵前室、収蔵庫1・2・3、撮影室、作業室

(3) 館蔵品の修復

内 容 : 専門業者による修復

No	作家名	作品名	修復前状態	修復処置	修復場所	修復期間
1	真鍋博	時間	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
2	真鍋博	潜水艦カシオペア	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
3	真鍋博	「すまいの相談室」	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
4	真鍋博	宇宙鳥(モノクロ)	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
5	真鍋博	〔時代絵巻〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
6	真鍋博	〔週刊朝日 野球の投球〕 CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
7	真鍋博	宇宙鳥	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
8	真鍋博	三味線とオートバイ(松竹)	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	モンローのような女(松竹)	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
9	真鍋博	追跡	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
10	真鍋博	潜水艦カシオペア	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
11	真鍋博	真鍋博のイラストレーションによる シネ・ポエム作品No.1	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
12	真鍋博	〔宇部興産〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔QP マヨネーズ〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔シェル石油〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔週刊朝日〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔玉塚証券〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔帝人ベターリビング〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔東京テレビ〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔パイロットボールペン〕 CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔日立明視スタンドカラー〕 CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
	真鍋博	〔美術出版〕CM	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
真鍋博	〔森永ダブルG〕	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日	
13	真鍋博	NHK「ふるさとをかたる」	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
14	真鍋博	「可否道」より なんじゃもんじゃ(松竹)	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
15	真鍋博	ばりかん親分(松竹)	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
16	真鍋博	太陽を抱く女(松竹)	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日
17	真鍋博	空と海の結婚(松竹)	フィルムからの酢酸ガス発生	酢酸除去	映像会社	平成30年2月8日～3月30日

5 館藏品貸出状況

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
尾藤二洲	七言絶句	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
日下伯巖	繞潤	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
森盲天外	富有四海之中	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
吉田蔵澤	墨竹	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
三輪田米山	和歌(手にとらば…)	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
下村為山	柳蔭遊魚図	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
下村為山	桜に雀の図	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
野間仁根	鳥の会話	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
野間仁根	睡れる旅人	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
村上三島	五言対句 花乱似無主…	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
河東碧梧桐	俳句(温泉めぐりして…)	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
桜井忠温	乃木大将	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
正岡子規	年賀名刺	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
正岡子規	俳句分類初稿本 五月雨	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
建畠大夢	白井兩山像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
土井要輔	子規坐像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
楨江山	義農作兵衛像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
佐々木二六	鐘馗	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
横江嘉純	秋山大将騎馬像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
秋山好古	達磨図	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H29.3.3 - H30.2.27
正岡子規	梅花	県立神奈川近代文学館	生誕150年 正岡子規展 病牀六尺の宇宙	H29.3.25 - 6.8
正岡子規	陸羯南宛書簡	県立神奈川近代文学館	生誕150年 正岡子規展 病牀六尺の宇宙	H29.3.25 - 6.8
正岡子規	子規庵句会写生図(寄託作品)	県立神奈川近代文学館	生誕150年 正岡子規展 病牀六尺の宇宙	H29.3.25 - 6.8
東山魁夷	波響く	新見美術館、唐津市近代図書館、蘭島閣美術館、八幡浜市民ギャラリー	日本画山脈 再生と革新 逆襲の最前線	H29.4.1 - 11.28
杉浦非水	三越呉服店 春の新柄陳列会	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	三越呉服店 新館落成	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	三越呉服店(エンゼル)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	南満州鉄道株式会社	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	美味滋強飲料 カルピス	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	爽快美味滋強飲料 カルピス	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	「カルピス」徳用壘包紙(青)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	「カルピス」徳用壘包紙(赤)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	「カルピス」壘ラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	「カルピス」壘ラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵 杉浦非水 モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15

杉浦非水	「カルピス」壺ラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	ヤマサ醤油	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	ヤマサ醤油	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	ヤマサ醤油	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	ヤマサ醤油	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	国の文化は道路から	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔《国の文化は道路から》ポスター 下絵他、昭和2年10月25日〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	銀座三越 四月十日開店	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	新宿三越落成 十月十日開店	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	科学の粋をあつめた地下鉄道 上野 浅草間開通	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	萬世橋まで延長開通 東京地下鉄道	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	銅化塗料ノーワン	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	古河コッパーペイント	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	貯蓄は根の如く 平和は花の如し	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	貯蓄は根の如く 平和は花の如し(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	日本画科写生教室 五月三日	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	臨模帖「縮図 芳章」	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔寝ている男他〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
黒田清輝	非水肖像(非水図案集発刊ニ際シテ)(復刻)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔大阪時代〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔島根時代〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔島根時代〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔島根時代〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔絵日記〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔静岡旅行〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔富士山他〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔富士山他〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔富士山他〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	画帖〔富士山他〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『富士山スケッチ』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『登嶽日記』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第一巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第一巻第七号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第一巻第十号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第二巻第二号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第三巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第四巻第二号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第六巻第十一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第七巻第二号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第九巻第三号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十一巻第四号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十一巻第八号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十五巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十五巻第六号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十七巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十七巻第七号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十八巻第四号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第十九巻第四号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第二十巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第二十二巻第二号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第二十二巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第二十二巻第六号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15

杉浦非水	『三越』第二十二巻第七号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第二十二巻第十号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越』第二十二巻第十一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『みつこしタイムス』第七巻第七号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『みつこしタイムス』第八巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『みつこしタイムス』第九巻第四号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『みつこしタイムス』第九巻第八号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『みつこしタイムス』第十巻第十二号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『大阪の三越』第四巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『大阪の三越』第四巻第十一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『大阪の三越』第五巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『大阪の三越』第六巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『大阪の三越』第六巻第十一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『大阪の三越』第七巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越のおはきもの』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『三越のショール』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	団扇〔青い花〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	団扇〔海景〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	団扇〔月に蛸螂〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	団扇〔月に銀杏〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	団扇〔月に糸瓜〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	巖谷季雄編『子宝』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	「書籍装幀雑誌表紙図案展覧会」会場写真	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	書籍装幀雑誌表紙図案展覧会案内	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『武蔵野叢誌』第三巻第八号目次(狐)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『武蔵野叢誌』第三巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『兄弟姉妹』第参巻第壹号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『中学世界』第十三巻第九号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『中学世界』第十六巻第七号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『中学世界』第十七巻第三号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『中学世界』第十八巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『日曜画報』第一巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『日曜画報』第一巻第三十九号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『少年世界』第十八巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『少年世界』第十八巻第十号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『海軍』第七巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『台湾愛国婦人』第四十五巻	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『文章世界』三月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『演藝画報』第七年第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『處女』十月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『現代』第四巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『秀才文壇』第十三巻第一号 新年号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『秀才文壇』第十三巻第四号 特別号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『秀才文壇』第十三巻第七号 七月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『秀才文壇』第十三巻第十号 特別号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『演劇講義録』第壹期第壹号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『拓殖新報』第三十七号 七月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『女子文壇』第十巻第六号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『ダイヤモンド』第三巻第八号 八月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『郵楽』第一巻第八号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『家庭雑誌』第一巻第五号 十月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『家庭雑誌』第二巻第一号 一月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『家庭雑誌』第二巻第七号 七月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『家庭雑誌』第三巻第八号 八月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『たかね』第八号(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15

杉浦非水	『美容』第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『美容』第三巻第三号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『美容』第十六号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『新刊月報』六月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『新刊月報』七月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『新刊月報』八月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『新刊月報』十一月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『新刊月報』十二月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『講談雑誌』三月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『講談雑誌』四月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『玉置合名会社商報』新年号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『玉置合名会社商報』第十巻第四号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『玉置合名会社商報』第十巻第五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『玉置合名会社商報』第十巻第八号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『玉置合名会社商報』第十巻第十号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『むれ星』第二巻第六号 六月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『むれ星』第二巻第九号 九月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『むれ星』第二巻第十号 十月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『むれ星』第二巻第十二号 十二月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『薬店ニュース』五月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『薬店ニュース』十一月号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『科学知識』第十三巻第六号(校正刷)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『科学知識』第十五巻第七号(校正刷)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『眞美』第一巻第一号 十月創刊号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『古川柳』第二巻第四・五号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『古川柳』第二巻第八号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	光風会洋画図案展覧会	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	光風会第二回絵画展覧会	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	第二十回光風会招待券	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	第二十一回光風会展覧会記念招待券	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	第一回光風会出品目録(複製)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	黎明無風 浅間連作の内	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水の図按	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水月刊図按 第一巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水月刊図按 第一巻第二号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水一般応用図案集	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水創作図案集	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	スケッチ〔植物〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『非水百花譜』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水蔵書票原画(人魚、飛天)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	饗庭篁村著『文学叢書 巢林子撰註』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	あやめ會著『あやめ草』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	土井晩翠著『曉鐘』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	巖谷小波編『日本一ノ画噺』(複製版)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『タングラム』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	柳川春葉著『生さぬなか』中・下	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	菊池幽芳著『百合子』上・中・下	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	菊池幽芳・鏑木清方著『百合子画集』上	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	柳川春葉著『かたおもひ』1・2・3巻	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	田口掬丁著『ふたおもて』前・後	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	高峰博著『夢学』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	生田虎蔵著『涙より闘ひへ』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	一海軍中佐(水野広徳)著『戦影』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	永代静雄著『女王クレオパトラ』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	佐藤紅緑著『第一步』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15

杉浦非水	エクトル・マロー著(片岡鉄平訳)『あ・故郷』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	内務省社会局保険部編『寄生虫病予防の心得』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	岡野保次郎著『羽田から羽田まで国際労働会議に使用して』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『英語』(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	外国絵葉書スクラップ	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	『外国文字集』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	『名物控帳』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	スクラップブック(招待券、入場券等)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	翠子宛書簡 明治36年11月28日-12月3日付	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	翠子宛葉書 大正12年9月15日付	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	翠子宛葉書 大正12年9月29日付(消印)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水・ 翠子	合作色紙(ふもとが村に…)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水・ 翠子	合作色紙(いづくにか…)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	スケッチ[女性と猫]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	スケッチ[女性]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	写真[非水と翠子]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	写真[翠子肖像]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『不死鳥』第四号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『短歌至上主義』第三巻第二号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『短歌至上』第十八巻第一号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	非水アルバム帖	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	ヨーロッパ日記	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
アドルフ・ ムーロン・ カッサンドル	時刻表[ÉTOILE DU NORD]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
アドルフ・ ムーロン・ カッサンドル	時刻表[Nord Express]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	ヨーロッパのメニュー表	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
	ホテルラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	リヨン 初冬の雨	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	船を逃ふ鷗(紅海にて)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	エッフェル塔下	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	[子どもたち]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	スケッチ	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	フランス風景	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	七人社第二回創作ポスター展覧会	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	七人社第三回創作ポスター展覧会	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	SHICHININSHA(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『アフィッシュ』第1年第1号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『デセグノ』1	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水・ 渡辺素舟編	『實用圖案資料大成 植物資料圖案集 上巻』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水・ 渡辺素舟編	『世界植物図案資料集成』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水・ 渡辺素舟編	『世界人物図案資料集成』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	巻一男女共通二方連続模様(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	巻一男女共通 幾何学的単独充填 模様(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	巻三男子巻四女子 風景の図案的表現(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	巻三中学専用 人物の図案化(原画)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	[浅間山]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	[浅間山]	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15

杉浦非水	〔浅間山噴火〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	奥多摩一景	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	土管の雪	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	二月堂	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	〔くらげ〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	昭和九年十一月廿四日 新雪の浅間	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	昭和廿一年十一月三日 曇 午後の夕照	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	スケッチ〔波〕	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	昭和十二年五月八日 厳島にて	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	昭和二十二年八月十四日十二時二十五分位噴火	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	象 三月九日上野動物園	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	浅間山ときつつき	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水図案絵葉書	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水図案年賀状	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	非水宛年賀状	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	光	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	光(校正刷)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	光(大毎フェア・ランド記念)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	光(政治博覧会記念)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	光(染織祭記念)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	「たばこ「光」の図案」	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	響	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	扶桑	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	扶桑(校正刷)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	Momoyama	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	Momoyama	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	PALOMA	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	NIKKO	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	ゴールデンパット (名古屋汎太平洋平和博覧会記念)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	ゴールデンパット(南国土佐大博覧会記念)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	エスケーコナ石鹸	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	エスケーコナ石鹸	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	エスケーコナ石鹸	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	春は踊れ踊れ!! お洗濯物はエスケーコナ石鹸に任せておいて	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	K.Kamada HIGH CLASS MERCHANT TAILOR	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	日立電気冷蔵庫	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	日立コムパウンド ラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	琥珀ワニス ラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	強壮補精飲料ゴロナ ラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	料理の神ベスト ラベル	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	クリスマス・年賀カード	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『ツーリスト』第十八号	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『THE TOURIST』No.28	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『THE TOURIST』Vol. VII No.1	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『THE TOURIST』Vol. X II No.3	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『旅程と費用概算』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	『TOURIST MAP OF TOKYO』	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	絵葉書(JAPAN)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
杉浦非水	絵葉書(JAPAN TOURIST BUREAU)	細見美術館	愛媛県美術館所蔵	杉浦非水	モダンデザインの先駆者	H29.4.11 - 6.15
夏目漱石	蔵澤の竹を得てより露の庵	坂の上の雲 ミュージアム	松山と漱石			H29.7.25 - 11.30

明月曇寧	天光穩不現	坂の上の雲 ミュージアム	松山と漱石	H29.7.25 - 11.30
吉田蔵澤	月竹	坂の上の雲 ミュージアム	松山と漱石	H29.7.25 - 11.30
	紫糸威胴丸 (伝久留島家伝来)	おのみち歴史 博物館、今治市 村上水軍博物館	瀬戸内海の覇者 村上海賊の武具	H29.8.29 - 11.22
正岡子規	藤野古白伝 断簡	新宿区立新宿 歴史博物館	漱石と子規—松山・東京 友情の足跡—	H29.9.10 - 11.29
正岡子規	白猪唐岬二瀑 歌と句	新宿区立新宿 歴史博物館	漱石と子規—松山・東京 友情の足跡—	H29.9.10 - 11.29
津田青楓	漱石と猫の図	新宿区立新宿 歴史博物館	漱石と子規—松山・東京 友情の足跡—	H29.9.10 - 11.29
吉田蔵澤	墨竹	新宿区立新宿 歴史博物館	漱石と子規—松山・東京 友情の足跡—	H29.9.10 - 11.29
安田鞞彦	守屋大連	香川県立 ミュージアム	讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—	H29.9.12 - 12.12
クロード・モネ	アンティープ岬	国立西洋美術館	北斎とジャポニスム	H29.9.27 - H30.2.9
竹内栖鳳	花の山	根津美術館、 大阪歴史博物館、 佐野美術館	鑿の華—光村コレクションの刀装具—	H29.10.17 - H30.5.24
東山魁夷	波響く	市川市東山 魁夷記念館	日本画三山—杉山寧・高山辰雄・東山魁夷— 表紙絵の世界とデザインの魅力	H29.12. - H30.2.10
小磯良平	婦人像	新居浜市美術館	新居浜美術の新時代と住友—小磯良平・オリゾン洋画研究所再考	H29.12.3 - H30.1.24
真鍋博	少女	新居浜市美術館	新居浜美術の新時代と住友—小磯良平・オリゾン洋画研究所再考	H29.12.3 - H30.1.24
向井正孝	干場のある風景	第38回虹の会 絵画展 (愛媛県 美術館南館)	第38回虹の会絵画展	H30.2.21 - 2.25
森盲天外	聞天声慎人話	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
吉田蔵澤	芭蕉霜凌図	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
三輪田米山	和歌 (からころも…)	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
下村為山	孟冬・墨竹に琵琶の花	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
下村為山	華王	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
野間仁根	人物 (壁)	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
野間仁根	裸婦二人とカモメ	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
村上三島	劉長卿 春風臺詩	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
桜井忠温	乃木大将	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
正岡子規	短歌稿	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
建昌大夢	白井雨山像	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
土井要輔	子規坐像	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
楨江山	義農作兵衛像	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
佐々木二六	鐘馗	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
横江嘉純	秋山大将騎馬像	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
秋山好古	達磨図	愛媛県生涯 学習センター	愛媛人物博物館常設展示	H30.2.27 - H31.3.31
小磯良平	婦人像	兵庫県立 美術館	小磯良平と吉原治良	H30.3.9 - 6.15
河野如風	飲蔽夫家酔中作高士談	洗心書道会 全国書道展 (愛媛県美術 館南館)	洗心書道会全国書道展	H30.3.27 - 4.1

IV 調査研究事業

下記のテーマで調査研究を行った。

稲田哲也 学芸課長

テーマ：愛媛ゆかりの現代作家研究

内容：

【伊東正次】

「伊東正次展」（2～4月 甲州市 ぶどうの丘美術館）「襖絵の回廊展」（5～6月 高知県 北川村 マルモットンギャラリー）「渺渺展」（6月 東京 銀座画廊）「甲州と南部を愛する日本画たち展」（8月 山梨 アルカディア文化館南部町立美術館）「日本画・中国画の世界展」（8月 中華人民共和国 上海 上海雲間美術館）「日展」（11～12月 東京 国立新美術館）「もののあわれ展」（11月～1月 愛媛県美術館）等における展示の状況を確認し、あわせて制作の方向性についてインタビューした。

【砥部焼の現代作家について】

五松園窯、陶彩窯、和将窯、梅乃瀬窯、イロリ工房、生石窯、明賀窯、雲石窯、龍泉窯、玄彩窯、創元窯の作家の活動状況を調査した。

梶岡秀一 専門学芸員/担当係長

テーマ：河崎蘭香の研究、子規門下の人々の研究、沖冠岳の研究

内容：

【河崎蘭香の研究】

八幡浜出身の日本画家、河崎蘭香の経歴について、従来参照されてこなかった資料を取り上げて大幅に見直した。併せて画風の変遷についても、現在は写真でしか見ることのできない展覧会出品画を中心にして考察することにより、偽作が極めて多いと見られるこの画家の現存作品に対する真偽判定の基準を探った。この研究の成果は、展覧会《「美人画」は語る：松園、清方、深水、そして河崎蘭香：培広庵コレクション》に関連して発行された図録『河崎蘭香：えひめの閨秀画家』に掲載された小論にまとめ、館内の土曜講座でも発表した。

【子規門下の人々の研究】

今治市伯方島に住んだ俳人、阿部里雪の旧蔵の俳句関係資料コレクションを中心に、子規門下の人々について研究し、正岡子規・夏目漱石・柳原極堂の生誕150年を記念する特集展示「子規門下の人々」を企画した。併せて館内の土曜講座でもその概要について発表を行った。

【沖冠岳の研究】

かねて研究を続けてきた今治出身の画家、沖冠岳について、近年新たに得た知見や作品情報をも加えてあらためて総合し、展覧会「生誕200年 沖冠岳と江戸絵画展」を企画した。同展覧会では、冠岳のほか同時代に活躍した伊予出身の画家として同じ今治の山本雲溪や宇和島藩の大内蘚圃、西条藩の小林西台等も取り上げ、さらには京都の岸派や江戸の谷文晁派の作品も展示することにより、江戸時代後期の江戸画壇における伊予出身の画家たちの位置をも明らかにしようとした。冠岳の経歴をめぐる新知見については、同展覧会の図録に掲載した論文にまとめたほか、紀要にも論文として発表し、館内の土曜講座とともに館外でも伊予史談会や今治史談会の例会でも解説した。

長井健 専門学芸員

テーマ：杉浦非水研究、近世伊予の絵師研究、伊予地方の宗教美術研究

内容：

【杉浦非水研究】

当館の7,000件に及ぶ非水コレクションの整理・調査を引き続き進め、さらに研究途上の装丁資料については、調査を継続した。

【近世伊予の絵師研究】

近年、精力的に進めている近世伊予ゆかりの絵師の調査研究について、本年度も継続的に実施した。加藤文麗、吉田蔵澤、遠藤広実などについては、新出作品の調査を経て、寄託受け入れにつながった。

【伊予地方の宗教美術研究】

将来的な企画展開催などを見越して、県内各自治体の仏教・神道美術関係の資料の分布状況や状態について調査研究を行った。

武田信孝 専門学芸員

テーマ：欧米と日本を中心とした近現代美術史、工芸デザイン史

内容：企画展「ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ」の開催にあたり、地方紙に作品解説（ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ「麗しのロザムンド」、ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー「ノクターン―青と金：サン・マルコ大聖堂、ヴェネツィア」）を寄稿した。加えて、同展関連行事として、「企画展プレビュー」と題し土曜講座の講義を2回行い、「ウェールズ国立美術館の名品にみる日常のドラマ」と題し企画展講座の講義を行った。また、同展を観覧する団体（NHK文化センター福山教室「美術館めぐり」参加者）対象の講座の講師を2回務めた。開館記念日にあたり、リレーフロアレクチャーの中で所蔵品展「ヨーロッパ美術にみる愛と怒り」会場の列品解説を行った。

その他、上巳の節日にあたり、近郊の広島県立美術館で第64回日本伝統工芸展が開催中でもあることから、「古くて新しい案外楽しい工芸の世界：人形いろいろ、工芸いろいろ」と題し土曜講座の講義を行った。

杉山はるか 主任学芸員

テーマ：イタリアルネサンス関連美術研究、県内外の現代美術調査研究

内容：

【イタリアルネサンス美術研究】

レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展を開催し、新聞連載執筆や関連講座を館内外で行った。

【県内外の現代美術調査研究】

国体関連の展覧会（紫舟展・安倍能成展・秩父宮記念スポーツ博物館愛媛巡回展・全国スポーツ写真展）、ひつじのショーン展を担当した。愛媛県ゆかりの芸術家を中心に調査研究を行った。版画家・吉田勝彦の作品調査を行い、『愛媛県美術館 平成28年度年報・研究紀要第16号』に執筆した。次年度の「坊っちゃん展－祖父江慎・梅佳代・浅田政志・三沢厚彦－」へ向けての調査研究を行った。

喜安嶺 学芸員

テーマ：県ゆかりの作家を中心とした日本近代洋画研究

内容：

【河崎蘭香研究】

企画展「美人画」は語る開催に際し、県出身の女性画家である河崎蘭香の作品を県内中心に調査、展示、図録を編集した。中でも、確認できる作品が少ない河崎蘭香の画業の変遷を確認するにあたり、雑誌上の活動を調査し、図録内に小論としてまとめた。

【野間仁根研究】

平成30年度開催の企画展「熊谷守一」開催に際して、熊谷と関係のあった愛媛出身の洋画家、野間仁根について資料調査を行い、図録に執筆し、両者の交流を示す熊谷作品の収蔵につなげた。

八木誠一 教育専門員/担当係長

テーマ：美術館の各種事業と学校との連携を深める手立てについて

内容：学校における教科主任会や校長会などあらゆる広報の手段を有効活用し、美術館の取り組みについて紹介するとともに、個別の学校訪問を通じて、美術館への来館者数増加や関連事業への参加依頼を積極的に推進し、学校が美術館を身近に感じ、授業や学校行事、部活動、PTA活動等において効果的に活用する手立てを研究実践した。また、教員の実技研修の機会に講師として参画することを通して、美術館の活動への教員の理解を深めさせ、学校教育への活用について手立てを考察した。

鈴木有紀 専門学芸員

テーマ：「対話型授業」の考え方を軸とした学校教育との連携の研究

内容：

【対話型授業を軸とした学校教育との連携の研究】

平成28年度は文化庁・地域の核事業の補助金により、対話型鑑賞をベースに、次期学習指導要領の柱となるアクティブ・ラーニングを視野に入れた、ファシリテーションスキルを伝えるための「教員対象トレーニング・プログラム」の検証・評価を行った。平成29年度は更に小中学校での実験的授業実験を実施し、検証を行った。

田代亜矢子 専門学芸員

テーマ：美術館の教育普及活動、技法について

内容：職場体験やインターンシップ等での受け入れに際し、美術館において自発的な学びの提供プログラム「展示室の秘密」を検討、試行を繰り返した。

また、アトリエ再開に向け、月に一度のミニアトリエを開催し、道具の活用や紡ぎの指導にあたった。講座を実施するにあたっては、アトリエの利点となる複数の技法の習得を実感できるような講座開催を検討し実施した。

石崎三佳子 専門学芸員

テーマ：創作活動プログラム、技法について

内容：創作活動プログラムについては、講座や学校対応、出前ワークショップなどの創作活動を実施するにあたり、対象や目的に適した素材調査や作業工程を検討し、実践した。

技法については、リトグラフや有機溶剤を使用しないエッチングの技法を調査、試行し、アトリエ教室でワークショップを実施したり、技法を紹介したりした。

檜垣正 教育専門員

テーマ：美術館と学校との連携について

内容：博物館教育と学校教育の特性を踏まえ、学校団体のための基本的なプログラム（展覧会観覧やスクールトーク、創作体験等）や職場体験、出前授業等の充実を図った。出前授業では、夏季休業中に児童クラブを訪れ、造形遊びを行ったり、文化祭シーズンに中学校を訪問し、創作活動を行ったりした。また、学校における対話型鑑賞法を用いた教育活動のあり方について探った。

V 教育普及事業

1 普及啓発事業

(1) 連続講座

①シーサーをつくろう [企画展関連]

内 容 参考作品や写真などをもとに、シーサーの阿形と吽形を紙粘土で作り、乾燥させたのち、水彩絵の具で着色した。

講 師 八木誠一普及グループ担当係長・檜垣正教育専門員

日 時 4/16 (日)・30 (日) 各13:30~15:30

募集対象 小学生以上 10名

受講人数 延 28 名



②企画展講座 [企画展関連]

内 容 企画展「ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ」と「培広庵コレクション「美人画」は語る」の作品等を解説した。

講 師 武田信孝専門学芸員・喜安嶺学芸員

日 時 7/17 (月・祝)・8/26 (土) 各14:00~15:00

募集対象 一般 30名

受講人数 延 78 名

③アトリエを最大限利用してオリジナルの服を創ろう!

内 容 アトリエの再オープンを記念し、アトリエの創作種目2種目以上を組み合わせて、自由に洋服をリメイクした。

講 師 田代亜矢子専門学芸員

日 時 9/9 (土)・10 (日)・23 (土)・24 (日)

各10:00~15:00 ※初日以外は必要な日程に参加

募集対象 一般 10名

受講人数 延 33 名



④わんだフルな年賀状を作ろう

内 容 戌年にちなんで、わんだフルな年賀状を版画で作った。

講 師 八木誠一普及グループ担当係長

日 時 11/26 (日)・12/3 (日) 各13:30~15:30

募集対象 小学生以上 10名

受講人数 延 26 名



⑤モノクロプリント (写真) に挑戦

内 容 暗室作業でフィルム現像からプリントまでじっくり取り組み、こだわりのモノクロ写真を仕上げた。

講 師 石崎三佳子専門学芸員

日 時 1/14 (日) 10:30~15:00

1/21 (日)・27 (土)・28 (日) 何れか1日

各10:30~15:00

1/28 (日) 15:00~16:00

募集対象 中学生以上 8名

受講人数 延 17 名



⑥幕末明治初期を生きた画家 沖冠岳 [企画展関連]

内 容 企画展「沖冠岳と江戸絵画展」に関連し、郷土ゆかりの作家沖冠岳について理解を深めた。
講 師 梶岡秀一学芸グループ担当係長
日 時 2/3 (土)・10 (土) 各14:00~15:00
募集対象 一般 30名
受講人数 延 55 名



(2) 一日講座 (両日、同じ内容を実施)

①堀之内探検 日光写真で激写

内 容 堀之内を散策し、葉っぱや草木の形に注目しながら植物を採取し、日光写真によって形を写し撮った。
講 師 田代亜矢子専門学芸員
日 時 5/7 (日)・14 (日) 各13:30~15:00
募集対象 小学生 各12名
受講人数 延 45 名



②ペーパーバッグをつくろう

内 容 市販の紙袋を鑑賞し紙袋の構造を確認した後、各自好みのポスターやチラシを選択し、オリジナルのペーパーバッグを制作した。
講 師 檜垣正教育専門員
日 時 6/18 (日)・25 (日) 各13:30~15:00
募集対象 小学生以上 各14名
受講人数 延 39 名



③大きな風船をつくろう

内 容 家庭用ゴミ袋を貼りあわせて大きな袋にし、出来上がった袋に空気をつめて風船にして遊んだ。
講 師 石崎三佳子専門学芸員
日 時 7/9 (日) 13:30~15:00
7/23 (日) 10:30~12:00、13:30~15:00
募集対象 幼児・小学生
受講人数 延 93 名



④たんけんはっけん 美人画の世界 [企画展関連]

内 容 指令書 (展覧会に関するオープンエンドな発問が書かれた紙) を媒介にして、対話形式の作品鑑賞を実施した。
講 師 鈴木有紀専門学芸員・当館ガイドボランティア
日 時 8/6 (日)・13 (日)・20 (日)・27 (日)
各10:30~15:00 ※随時参加受付
募集対象 幼児以上 ※定員なし
受講人数 延 440 名



⑤音を楽しむ～手づくり楽器♪

内 容 身近な素材（空き容器、紙管、竹など）を使って、その音を楽しみながら、楽器を創作した。
 講 師 石崎三佳子専門学芸員
 日 時 10/8（日）・15（日） 各10：30～12：00
 募集対象 小学生以上 各16名
 受講人数 延 27 名



⑥昆虫を創ろう

内 容 新聞紙を丸めて形を作り、ガムテープやアルミ箔貼り付けて昆虫を創った。
 講 師 田代亜矢子専門学芸員
 日 時 11/3（金・祝）・4（土） 各13：30～15：30
 募集対象 5歳～小学生 各15名
 受講人数 延 16 名



⑦墨で遊ぼう

内 容 墨を使って、絵を描いたり、模様をつくったり、いろいろ遊んだ。
 講 師 檜垣正教育専門員
 日 時 2/11（日）・18（日） 各13：30～15：00
 募集対象 小学生 各15名
 受講人数 延 45 名



⑧草木染め『緑』に染める

内 容 草木染めで染めにくい「緑」に染めるため、黄色で染めた後、藍をかけて緑色に染めた。
 講 師 田代亜矢子専門学芸員
 日 時 3/4（日）・18（日） 各 10：30～15：30
 募集対象 中学生以上 各14名
 受講人数 延 17 名



(3) 土曜講座

内 容 学芸員の調査・研究活動の成果や日々の美術館での活動について紹介する。
 講 師 当館学芸課職員
 日 時 土曜日 各14：00～（他のイベント開催時は休止）
 参加人数 延 1,103 名（開催回数 42回）

No.	開催	講座名	講師
1	4/1	ミニ・アトリエ「紡ぎ」	田代亜矢子
2	4/15	クスノキをかざろう（名嘉陸稔展関連）	田代亜矢子 石崎三佳子
3	4/29	クスノキをかざろう（名嘉陸稔展関連）	田代亜矢子 石崎三佳子
4	5/6	「京都・細見美術館名品展」フロアレクチャー	長井健
5	5/13	日本美術ワンダフルワールド 若冲編	長井健
6	5/20	「京都・細見美術館名品展」フロアレクチャー	長井健
7	5/27	日本美術ワンダフルワールド 琳派編	長井健
8	6/3	ミニ・アトリエ「紡ぎ」	田代亜矢子

9	6/10	印象派入門	八木誠一
10	6/17	「時」の様相、「場」の記憶	杉山はるか
11	6/24	2度目のブータン～ちょっとディープな展覧会ふりかえり～	鈴木有紀
12	7/1	ミニ・アトリエ「紡ぎ」	田代亜矢子
13	7/8	ゴム板はんこにチャレンジ!	檜垣正
14	7/15	企画展プレビュー (「ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ」関連)	武田信孝
15	7/22	企画展プレビュー (「ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ」関連)	武田信孝
16	7/29	「美人画」は語る展フロアレクチャー	喜安嶺
17	8/12	「美人画」は語る展フロアレクチャー	喜安嶺
18	9/2	八幡浜出身の“閨秀画家”河崎蘭香と“美人画”	梶岡秀一
19	9/9	子規門下の人々	梶岡秀一
20	9/16	色紙に絵手紙	檜垣正
21	9/23	非水のブックデザイン・余滴	長井健
22	9/30	ひつじのショーン展 ギャラリートーク	喜安嶺
23	10/7	ワークショップ「ひつじでヒツジをつくろう」	田代亜矢子 喜安嶺
24	10/14	ひつじのショーン展 ギャラリートーク	喜安嶺
25	10/21	侍の美	梶岡秀一
26	10/28	アンギアーリ展プレ講座 レオナルド・ダ・ヴィンチのデッサンについて	八木誠一
27	11/11	かんたんリトグラフ	石崎三佳子
28	11/18	みるんみるんツアー	長井健
29	12/2	レオナルド・ダ・ヴィンチを読み解く	杉山はるか
30	12/9	【ミニ講座】アンギアーリ展を楽しむ	杉山はるか
31	12/16	いぬスタンプをつくろう!	檜垣正
32	12/23	《武蔵野図屏風》について	長井健
33	1/6	めでたきかたちー「吉祥」のモチーフ	長井健
34	1/13	みずゑシリーズ① 水の絵、みずゑの世界	喜安嶺
35	1/20	みずゑシリーズ② 中川八郎を描いて知る	八木誠一
36	2/17	ペーパーバッグをつくろう	檜垣正
37	2/24	みるんみるんツアー	長井健
38	3/3	古くて新しい案外楽しい工芸の世界：人形いろいろ、工芸いろいろ	武田信孝
39	3/10	しずかなものを動きながらみる	喜安嶺
40	3/17	今治出身の南画の巨匠 矢野橋村	梶岡秀一
41	3/24	沖冠岳の絵を愉しむ	梶岡秀一
42	3/31	熊谷守一展乞うご期待講座	喜安嶺

(4) コレクショントーク 鑑賞の初心者を対象にした対話による作品鑑賞

内 容 「みる・考える・話す・聴く」という思考サイクルと「どこからそう思う?」という質問を通して物事の見方・考え方の育成を目的とした鑑賞プログラム。ガイドボランティアが鑑賞のナビゲーターを務める。

講 師 当館学芸員・当館作品ガイドボランティア

日 時 水・金・日曜日 各14:00～15:00

参加人数 延 560 名 (開催回数 77回)

2 創作活動支援事業

(1) アトリエの設置

創作活動ができる場として、アトリエ1（版画全般）、アトリエ2（染織、木工、写真等）を設置し、県民に開放している。南館耐震化工事のため、6月から閉室したが、10月から新館ハイビジョンギャラリーで紡ぎのミニアトリエを開催した。

アトリエ利用状況

(単位：開館日数以外は人)

区 分	開館日数	利用人数				計
		アトリエ1	アトリエ2	ハイビジョンギャラリー	アトリエひろば	
4月	1			4	—	4
5月	1			6	—	6
6月	1	—	—	4	—	4
7月	6	44	26	4	20	94
8月	26	94	111	—	121	326
9月	25	42	138	—	56	236
10月	25	43	140	—	25	208
11月	26	51	138	—	47	236
12月	24	39	103	—	47	189
1月	24	35	81	—	45	161
2月	24	28	118	—	32	178
3月	27	25	141	—	56	222
計	210	401	996	18	449	1,864
1日平均		2.0 (開室日数207日)	4.9 (開室日数207日)	4.5 (開室日数4日)	2.2 (開室日数207日)	8.9 (開室日数210日)

(2) 創作学習の支援

アトリエ等での創作活動を行うにあたって、制作方法や技法などについて相談にのり、アドバイスをを行った。また、アトリエの利用促進のため、下記の事業を開催した。

①アトリエ教室

初めてアトリエを利用する方に、利用者の要望に対応した基本的な機材の使い方や制作手順を指導するワークショップを開催した。

日 時 アトリエ1（版 画） 第1・3水曜日・土曜日

アトリエ2（多目的） 第2・4水曜日・土曜日

種 目 シルクスクリーン、リトグラフ、ドライポイント、エッチング、織り、紡ぎ、染め（インド藍）、フェルト

対 応 者 石崎三佳子専門学芸員・檜垣正教育専門員・田代亜矢子専門学芸員

参加人数 延 100 名（開催回数 33回）

②アトリエひろば

いつでも気軽に創作遊びができる空間をアトリエ前に設置した。

日 時 美術館開館日・開館時間

内 容 ○△□で遊ぼう（図形のマグネットを並べて絵をつくる。）

参加人数 延 449 名

③夏休みイベント — アトリエリニューアル記念 —

「大きな壁にスタンプ」

日 時 7/25（火）・8/5（土） 各11:00~15:00

内 容 アトリエ西側の壁に大きな紙を貼り付け、いろいろな大きさの円い型でスタンプをして飾った。

参加人数 延 73 名



「プレス機を使ってタグづくり」

日時 8/5 (土) 11:00~12:00

内容 厚紙を好きな形に切り抜き、それを版にして革に凹凸を刻印し、タグを作った。

参加人数 延 33 名

「おひさま写真」

日時 8/5 (土) 13:30~14:30

内容 美術館周辺にある気に入ったモノをおひさま写真（日光写真）で印画紙に写し撮った。

参加人数 延 18 名

④第7回美術館講座&アトリエ展

期間 3/2 (金) ~ 3/5 (月)

場所 特別展示室

内容 ア：平成28年以降の講座等受講者及びアトリエ利用者の応募による作品（59点）を展示
イ：パネル及び映像での教育普及事業の照会

ウ：体験コーナー

①アトリエひろば

講座でつくった楽器、大きな風船で自由に遊べるスペースを設置した。

②みる・考える・話す・聴く（コレクショントーク体験版）」

スライド図版を使って、対話型鑑賞の体験を行った。

・日時：会期中毎日 各11:00~11:30

・ナビゲーター：ガイドボランティア

入場者数 556 名

3 美術情報関係事業

(1) 美術館情報発信

①ホームページの公開

美術館の概要、展覧会や講座の案内などを紹介している。（<http://www.ehime-art.jp/>）

全面改修を行い、9月1日から新規ホームページの運用を開始した。

②年間予定表「みるん・するん」

みるん（展覧会スケジュール）・するん（教育普及プログラム）を掲載したイベントスケジュールを半期毎に変形6折れで、各10,000部発行した。

③美術館ニュース「Canforo（カンフォロ）」の発行

第54号（平成29年7月）、第55号（平成30年1月）をA4版、4頁で各2,000部刊行した。



【第54号】



【第55号】

④メールマガジンの発行

メールマガジン「カンフォロ」を月1回発行している。

(2) 美術情報の提供

①美術館情報図書コーナーの設置

新館1階に美術情報図書コーナーを開設、一般の利用に役立てている。
収蔵図書数 計38,613冊（閉架を含む）

②DVD上映ブース

美術情報図書コーナー内に2台のDVD上映ブースを設置し、希望者が視聴できる。
上映DVD数 計46番組

4 他機関との連携事業

(1) 館内プログラム

美術館活用を希望する団体からの研修依頼に応え、当館学芸員及び職員が講師を務めた。

①教員研修の受け入れ

	研修名	日時	対象者	人数	研修内容
1	松山市小学校主任会実技研修会	7/25(火) 10:00~16:00	小学校教諭	50	対話型鑑賞
2	平成29年度県立学校10年教職経験者研修	7/25(火) 10:00~16:00	高等学校教諭	1	対話型鑑賞、夏休みイベントの補助
3	平成29年度松山市10年教職経験者研修	7/25(火) 10:00~16:00	中学校教諭	1	対話型鑑賞、夏休みイベントの補助
合計				52	

②学校団体等の受け入れ

ア 職場体験の対応

	研修名	日時	対象者	人数	研修内容
1	松山市立興居島中学校	8/3(木) 9:30~15:30	中学2年生	2	カンフォロ発送作業補佐、館外プログラム準備等
2	松山市立余土中学校	8/23(水)・24(木) 9:30~15:30	中学2年生	2	団体及びアトリエ教室の創作補助、対話型鑑賞法体験、美術館の特徴探し、講座試作
3	松山市立鴨川中学校	9/27(水)・28(木) 9:30~15:00	中学2年生	2	講座試作、美術館の特徴探し、団体対応補助等
4	松山市立勝山中学校	9/28(木) 9:30~17:00	中学2年生	2	美術館の特徴探し、団体対応補助等
5	松山市立湯山中学校	10/26(木)・27(金) 9:30~16:00	中学2年生	2	美術館の特徴探し、お仕事調べ、講座試作、チラシ封入補助、創作補助等
6	松前町立松前中学校	10/26(木)・27(金) 9:30~18:00	中学2年生	2	美術館の特徴探し、お仕事調べ、講座試作、チラシ封入補助、創作補助等
7	松山市立南第二中学校	11/17(金) 9:30~15:30	中学2年生	2	美術館の特徴探し、開館記念日事業の準備等
8	松山市立高浜中学校	11/28(火)・29(水) 9:30~15:00	中学2年生	1	監視体験、CATV広報番組収録補助、美術館の特徴探し、対話型鑑賞体験等
合計				15	

イ 体験学習の受け入れ

学校団体等の要望により、アトリエでの創作体験学習の対応をした。

※人数の()は引率者数

	学校名	日時	対象者	人数	活動内容
1	大阪市立 咲くやこの花中学校	5/10(水) 14:00~17:00	2年生	20 (2)	創作体験 「大きな風船であそぼう」
2	放課後等デイサービス ピーターパンたかおか	7/26(水) 13:00~14:30	小学生~高校生	11 (4)	創作体験「日光写真」
3	E g g & C h i c k	8/16(水) 10:30~	小学生	20	対話型鑑賞
4	だ ん だ ん	8/23(水) 10:30~14:30	小学生	9	創作体験「インド藍染め」 コレクショントーク
5	多機能学童保育広場 すくっくと	8/31(木) 10:00~16:00	小学生	16 (2)	ピンホール・カメラ作成・撮 影、コレクショントーク
6	愛媛県社会福祉協議会 高齢者大学校	9/28(木) 13:30~16:00	受講生	53	対話型鑑賞、創作体験「ペー パーバッグをつくろう」
7	松山市立石井東小学校 特別支援学級	10/13(金) 10:00~12:00	小学生	5 (3)	創作体験 「絵の具でべたべた」
8	東温市立拝志小学校	11/2(木) 9:40~12:00	小学生	38	対話型鑑賞、創作体験 「インド藍染め」
9	放課後等デイサービス ピーターパンたかおか	12/17(日) 10:30~12:00	小学生~高校生	8 (5)	創作体験「楽器をつくろう」
10	第一高等学院	3/13(火) 13:00~15:00	高校生	10 (1)	創作体験 「ピンホールカメラ撮影」
合 計				190 (17)	

ウ 展覧会観覧受け入れ

	展 覧 会 名	児 童 ・ 生 徒 数						合 計
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学・ 専門学校	特別支援 学校等	
1	名 嘉 陸 稔 展 風の伝言を彫る			1校	3校			4校
				82人	155人			237人
2	若 沖 、 琳 派 、 か ざ り と 雅 京 都 ・ 細 見 美 術 館 名 品 展		3校	2校	4校	1校		10校
			103名	25人	246人	17人		391人
3	ウ ェ ー ル ズ 国 立 美 術 館 所 蔵 タ ー ナ ー か ら モ ネ へ	3校	1校	11校	9校	3校	1校	28校
		108人	108人	642人	205人	105人	8名	1,176人
4	培 広 庵 コ レ ク シ ョ ン 「 美 人 画 」 は 語 る 展			2校	1校			3校
				10人	3人			13人
5	ひ つ じ の シ ョ ー ン 展	7校	5校	3校	3校	2校		20校
		227名	238人	37人	40人	59人		601人
6	レ オ ナ ル ド ・ ダ ・ ヴ ィ ン チ と 「 ア ン ギ ア ー リ の 戦 い 」 展	5校	14校	14校	5校	3校		41校
		251名	846人	926人	875人	60人		2,958人
7	生 誕 2 0 0 年 沖 冠 岳 と 江 戸 絵 画 展		12校	3校	1校			16校
			830人	242人	90人			1,162人
8	所 蔵 品 展		2校	2校		1校		5校
			148人	41人		70人		259人
合 計		15校	37校	38校	26校	10校	1校	127校
		586人	2,273人	2,005人	1,614人	311人	8人	6,797人

③ インターンシップ研修等

	研修名	日時	対象者	人数	研修内容
1	愛媛県 インターンシップ研修会	9/24(木)～30(水) 9:30～18:00	愛媛大学、お茶 の水大学、松山 東雲女子大学、 松山大学	5	作品整理補助、広報活動補 助、館外活動準備補助、展 示監視、環境整備等

(2) 館外プログラム

施設や団体等の美術に関する事業依頼に応じ、当館学芸員及び職員を派遣した。

【講義・レクチャー】

① 愛媛新聞カルチャースクール特別講座「いよ食談会」

内 容 名嘉睦稔展について
日 時 4/25(火) 11:30～12:00
場 所 東京第一ホテル
講 師 石崎三佳子専門学芸員
参加人数 41 名

② 「杉浦非水の広告」に関する授業

内 容 杉浦非水の生涯と活動、デザインの特徴について
日 時 5/31(水) 9:45～10:35
場 所 愛媛県立宇和島水産高等学校
講 師 長井健専門学芸員
参加人数 9 名

③ 小野中学校総合的な学習の時間 職業科デザイン講座

内 容 ポスター制作
日 時 6/8(木)、7/4(火)、9/28(木)、10/5(木)、10/19(木)
場 所 松山市立小野中学校
講 師 八木誠一普及グループ担当係長
参加人数 205 名

④ 松山市課題別向上セミナー

内 容 クロッキー指導のありかた
日 時 7/31(月) 13:00～15:30
場 所 松山市教育研修センター
講 師 八木誠一普及グループ担当係長
参加人数 16 名

⑤ 松山市初任者研修／松山市教育研修センター

内 容 水彩絵具の基本的な使い方
日 時 8/2(水) 9:30～12:00
場 所 松山市教育研修センター
講 師 檜垣正教育専門員
参加人数 18 名

⑥ 松山市課題別向上セミナー

内 容 写生指導のありかた
日 時 8/28(月) 13:00～15:30
場 所 松山市教育研修センター
講 師 稲田哲也学芸課長
参加人数 21 名

⑦愛媛の博物館講座（愛媛県生涯学習センター主催「平成29年度コミュニティカレッジ」）

内 容 子規門下の人々について
日 時 9/1（金） 14：00～16：00
場 所 愛媛県総合科学博物館
講 師 梶岡秀一学芸グループ担当係長
参加人数 21 名

⑧校内造形の会

内 容 風景画の制作
日 時 10/2（月） 8：30～16：00
場 所 松山市立福音小学校
講 師 檜垣正教育専門員
参加人数 64 名

⑨愛媛の博物館講座（愛媛県生涯学習センター主催「平成29年度コミュニティカレッジ」）

内 容 沖冠岳と江戸絵画について
日 時 10/20（金） 14：00～15：00
場 所 八幡浜みなとと みなと交流館
講 師 梶岡秀一学芸グループ担当係長
参加人数 12 名

⑩モーニングセミナー（松山市中央倫理法人委員会主催）

内 容 レオナルド・ダ・ヴィンチの幻の大作《アンギアーリの戦い》を巡って
日 時 11/15（水） 6：30～7：30
場 所 松山全日空ホテル
講 師 杉山はるか主任学芸員
参加人数 35 名

⑪愛媛の博物館機関講座（愛媛県生涯学習センター主催「平成29年度コミュニティカレッジ」）

内 容 フィレンツェ、ヴェッキオ宮殿での華麗なる競演—レオナルド・ダ・ヴィンチとミケランジェロについて
日 時 11/30（木） 13：20～15：20
場 所 愛媛県美術館
講 師 杉山はるか主任学芸員
参加人数 20 名

⑫伊予史談会 2月例会

内 容 沖冠岳について
日 時 2/11（日） 9：30～12：00
場 所 愛媛県生活文化センター
講 師 梶岡秀一学芸グループ担当係長
参加人数 35 名

⑬愛媛新聞カルチャースクール特別講座「いよ食談会」

内 容 沖冠岳展について
日 時 3/12（月） 11：30～13：30
場 所 ふなや
講 師 梶岡秀一学芸グループ担当係長
参加人数 40 名

⑭モーニングセミナー（今治市倫理法人委員会主催）

内 容 美術館学芸員のあれこれ
日 時 3/28（水） 6：30～7：30
場 所 今治国際ホテル
講 師 杉山はるか主任学芸員
参加人数 38 名

【ワークショップ】

①対話型鑑賞の授業（4年月組）

内 容 対話型鑑賞
日 時 4/26日（水） 13：00～15：30
場 所 愛媛大学教育学部附属小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員
参加人数 32 名

②朝の活動・対話型鑑賞法の実践

内 容 対話型鑑賞の体験
日 時 4/27（木）・5/22（月）・6/8（木）・6/22（木）・9/21（木）・10/26（木）・
11/2（木）・12/24（日）
各8：00～8：25
場 所 松前町立北伊予小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員、ガイドボランティア4名
参加人数 3,424 名

③対話型鑑賞の授業（6年月組図画工作）

内 容 対話型鑑賞
日 時 5/25（木） 14：00～15：30
場 所 愛媛大学教育学部附属小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員
参加人数 32 名

④対話型鑑賞の授業（6年花組・4年月組）

内 容 対話型鑑賞
日 時 6/23（金） 8：40～10：40
場 所 愛媛大学教育学部附属小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員
参加人数 64 名

⑤日本文化体験講座

内 容 絵手紙
日 時 6/23（金）、30（金）、7/7（金）、9/8（金）、22（金）
各13：30～15：20
場 所 松山市立東中学校
講 師 檜垣正教育専門員
参加人数 85 名

⑥素鷺小学校 出前ワークショップ

内 容 スチレン版画、日光写真
日 時 【スチレン版画】7/28（金）【日光写真】8/3（木）
各10：00～12：00
場 所 松山市立素鷺小学校
講 師 石崎三佳子専門学芸員・田代亜矢子専門学芸員・檜垣正教育専門員
参加人数 各 28 名

⑦遊友学舎 出前ワークショップ

内 容 段ボール造形
日 時 8/1 (火) 10:00~12:00
場 所 特定非営利活動法人 学童保育施設 遊友学舎
講 師 田代亜矢子専門学芸員・石崎三佳子専門学芸員・檜垣正教育専門員
参加人数 28 名

⑧佐田岬のたからもの講座

内 容 対話型鑑賞
日 時 8/5 (土) 13:30~15:00
場 所 伊方町生涯学習センター
講 師 鈴木有紀専門学芸員
参加人数 31 名

⑨北条児童クラブ 出前ワークショップ

内 容 大きな風船の造形遊び
日 時 8/10 (木) 13:30~15:00
場 所 松山市立北条小学校
講 師 石崎三佳子専門学芸員・田代亜矢子専門学芸員・檜垣正教育専門員
参加人数 81 名

⑩ダンボクラブ成人支援部「ワンピース」SST (ソーシャルスキルトレーニング)

内 容 対話型鑑賞
日 時 8/13 (日) 13:30~15:30
場 所 松山市総合福祉センター
講 師 鈴木有紀専門学芸員
参加人数 15 名

⑪子ども未来プロジェクト「みんな集まれ!!自由研究」「探究コース 親子で錦絵版画体験」

内 容 錦絵の歴史やしくみを学び、版画キットを使って多色摺りを体験
日 時 8/13 (日) 9:00~12:00
場 所 坂の上の雲ミュージアム
講 師 喜安嶺学芸員
参加人数 50 名

⑫愛教研伊予支部 第一回伊予地区図工・美術主任研修会

内 容 日光写真の創作体験
日 時 8/17 (木) 10:00~12:00
場 所 砥部町立砥部中学校
講 師 檜垣正教育専門員・田代亜矢子専門学芸員
参加人数 17 名

⑬双葉児童クラブ 出前ワークショップ

内 容 大きな風船の造形遊び
日 時 8/18 (金) 10:00~11:30
場 所 松山市立双葉小学校
講 師 田代亜矢子専門学芸員・石崎三佳子専門学芸員・檜垣正教育専門員
参加人数 87 名

⑭生石児童クラブ 出前ワークショップ

内 容 紙の造形遊び
 日 時 8/22 (火) 10:00~12:00
 場 所 松山市立生石小学校
 講 師 田代亜矢子専門学芸員・石崎三佳子専門学芸員
 参加人数 44 名

⑮宮前第二児童クラブ 出前ワークショップ

内 容 絵の具の造形遊び
 日 時 8/29 (火) 13:30~15:00
 場 所 松山市立宮前小学校
 講 師 檜垣正教育専門員・田代亜矢子専門学芸員・石崎三佳子専門学芸員
 参加人数 35 名

⑯松山市立北条南中学校文化教室

内 容 型染めの創作体験
 日 時 10/29 (日) 9:45~11:30
 場 所 松山市立北条南中学校
 講 師 石崎三佳子専門学芸員・田代亜矢子専門学芸員
 参加人数 24 名

⑰砥部町立砥部町中学校文化祭におけるワークショップ

内 容 対話型鑑賞
 日 時 11/3 (金) 13:00~13:50・14:05~14:55
 場 所 砥部町立砥部中学校
 講 師 鈴木有紀専門学芸員
 参加人数 30 名

⑱松山市立久谷中学校文化祭におけるワークショップ

内 容 クリスマスリースづくり
 日 時 11/3 (金) 8:30~11:00
 場 所 松山市立久谷中学校
 講 師 八木誠一普及グループ担当係長
 参加人数 8 名

⑲ふれあいフェスタ

内 容 楽器づくりの創作体験
 日 時 2/25 (日) 10:00~15:30
 場 所 愛媛県生涯学習センター
 講 師 石崎三佳子専門学芸員・田代亜矢子専門学芸員
 参加人数 82 名

(3) 大学との連携

①平成 29 年度 博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習の受け入れを行った。
 実習期間 8/2 (水)~7 (月) 各 9:30~18:00
 受入大学 愛媛大学法文学部、愛媛大学教育学部、高知大学人文学部、神戸大学発達科学部、成安造形大
 学芸術学部
 実 習 生 11 名

②愛媛大学法文学部・教育学部・理学部・農学部「博物館教育論」

学芸員資格取得のための博物館学課程科目の授業を行った。

日 時 9/4 (月) 10:30~17:30

講 師 鈴木有紀専門学芸員・田代亜矢子専門学芸員・石崎三佳子専門学芸員

参加人数 66 名

③愛媛大学理学部「博物館資料保存論」

学芸員資格取得のための博物館学課程科目の授業を行った。

日 時 9/21 (木) 13:30~15:00

講 師 長井健専門学芸員・杉山はるか主任学芸員

参加人数 70 名

④愛媛大学法文学部・教育学部・農学部「博物館資料論」

学芸員資格取得のための博物館学課程科目の授業を行った。

日 時 12/26 (火) 10:30~17:30 ・ 12/27 (水) 10:30~15:50

講 師 稲田哲也学芸課長・梶岡秀一学芸グループ担当係長・長井健専門学芸員・武田信孝専門学芸員・杉山はるか主任学芸員・喜安嶺学芸員

参加人数 43 名

(4) 審査員・委員

①弓削島荘総合調査事業専門調査員

期 間 ~3/31 (水)

※調査日 5/23 (火)、6/27 (火)、10/11 (水)

依 頼 先 上島町教育委員会

対 応 者 長井健専門学芸員

②京都国立近代美術館企画審査委員会委員

日 時 9/6 日 (水)、3/14 (水) 13:00~15:15

依 頼 先 京都国立近代美術館

対 応 者 梶岡秀一学芸グループ担当係長

③留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2017 における審査員

日 時 11/5 (日) 11:30~

主 催 愛媛県留学生等交流推進会議事務局

対 応 者 喜安嶺学芸員

④平成 29 年度「えひめこども美術展」第 45 回展運営委員

依 頼 先 愛媛美術教育連盟

対 応 者 檜垣正教育専門員

⑤「松山市民によるいじめをなくすポスター」審査員

日 時 9/21(木) 9:30~16:00

主 催 松山市教育委員会

対 応 者 檜垣正教育専門員

⑥「水」への絵はがき 審査員

日 時 7/20(木) 10:00~12:00

主 催 松山市水資源対策課

対 応 者 檜垣正教育専門員

(5) 原稿執筆

- ①坂の上の雲ミュージアム通信「小日本」第31号
坂の上の雲ミュージアム／平成29年11月6日発行
内 容 歴史からのメッセージ「子規生誕百五十年と美術史」
執 筆 者 梶岡秀一学芸グループ担当係長
- ②『美術フォーラム21 第37号』
一般財団法人 美術フォーラム21／平成30年5月30日発行
内 容 伊予の美術史における郷土性としての周縁性
執 筆 者 梶岡秀一学芸グループ担当係長

5 その他

(1) 第19回愛媛県美術館開館記念イベント

にぎわいのある美術館づくりを目指し、愛媛県美術館開館記念日である11月27日を多くの方に美術館に親しんでいただく特別な日として祝し、11月19日(日)に各種事業を実施した。

①リレーフロアレクチャー

時 間 ①10:30～ ②11:00～ ③14:00～ ④14:30～ ⑤15:00～
場 所 常設展示室
内 容 所蔵品展の中から、学芸員が1つの作品について語った。
講 師 当館学芸グループ学芸員
参加人数 95 名

②ミュージアムコンサート

時 間 13:00～、15:30～
場 所 エントランスホール
内 容 「アンギアーリの戦い」展関連イベント、カンターテ・カリタス松山によるコンサートを実施した。
参加人数 400 名

③創作活動

ア てづくりワークショップ

時 間 ①10:00～11:00 ②13:00～14:00 ③14:00～15:00
場 所 前庭
内 容 ①クリスマススタンプづくり
②フルフル ガチャガチャ マラカスをつくろう
③かざって玉手箱
参加人数 102 名

イ 大地は大きな黒板だ!

時 間 11:30～12:00、14:00～14:30
場 所 前庭
内 容 石畳のスペースに、チョークで自由に絵を描いて楽しんだ。
参加人数 43 名

④図録進呈

- ①、③の参加者を対象に過去の展覧会図録を進呈した。
配布冊数 59 冊

⑤所蔵品展無料

入 場 者 782 名

VI 貸館事業

1 展示施設の利用方法

県民の美術活動の推進及び創作成果の発表の場として、新館特別展示室（1～3）、講堂、研修室、南館県民ギャラリー（1～12）、を有料で貸与している。

(1) 仮受付

使用日の1年前の月の初日に仮受付を行う。ただし、研修室のみ使用日の6ヶ月前からの仮受付となる。

(2) 申請

使用日の2ヶ月前頃に、使用許可申請書の様式を利用者に発送し、使用者の申請により使用を許可する。

(3) 使用料納付

使用許可後、納入通知書を利用者に送付し、利用者は、使用前に納入する。

(4) 利用時間及び休館日

利用時間：午前9時40分～午後6時。

休館日：毎週月曜日（第1月曜日を除く）、第1月曜日の翌日及び12月29日～1月3日。

（祝日及び振替休日にあたる場合は、その翌日）

(5) 搬出入

貸館は、原則として1週間単位で実施している。（新館講堂、研修室は除く。）

搬入は使用期間内の初日に、搬出は日曜日に実施している。

(6) 使用料

別表のとおり。

(別表) 愛媛県美術館施設使用料

区 分			使用料（1日）	
新館	特別展示室1	入場料が無料の場合	4,980円	
		入場料が有料の場合	7,960円	
	特別展示室2	入場料が無料の場合	3,500円	
		入場料が有料の場合	5,600円	
	特別展示室3	入場料が無料の場合	5,820円	
		入場料が有料の場合	9,310円	
	講堂	入場料が無料の場合	午前9時40分から正午まで	1,810円
			午後1時から午後6時まで	3,000円
			全日（午前9時40分から午後6時まで）	4,810円
		入場料が有料の場合	午前9時40分から正午まで	2,890円
			午後1時から午後6時まで	4,800円
			全日（午前9時40分から午後6時まで）	7,690円
研修室	午前9時40分から正午まで	1,990円		
	午後1時から午後6時まで	2,610円		
	全日（午前9時40分から午後6時まで）	4,600円		
南館	県民ギャラリー1		14,840円	
	県民ギャラリー2		11,650円	
	県民ギャラリー3		3,170円	
	県民ギャラリー4		4,230円	
	県民ギャラリー5		4,230円	
	県民ギャラリー6		2,110円	
	県民ギャラリー7		2,110円	
	県民ギャラリー8		6,350円	
	県民ギャラリー9		2,750円	
	県民ギャラリー10		2,850円	
	県民ギャラリー11		2,850円	
	県民ギャラリー12		3,170円	
	すべての県民ギャラリー		53,490円	

2 展示施設の利用状況

新館

	展 覧 会 名	会 期	展示室	日数	内 容	入場者数	観 覧 料		
4月	第四回 左官職人の技 梶田高弘展	4/12～4/16	特別展示室1～3	5	コテ絵(シックイ)デザイン絵 土作品	200	無 料		
	第48回 泰申書展 特別展示 原稿・書簡の美	4/19～ 4/23	特別展示室1・2	5	書道と書簡等 原稿他	327	無 料		
	第10回 更紗染めを楽しむ会作品展	4/26～ 4/30	特別展示室1	5	会員が手描き染めた布の作品 (屏風・テーブルセンター・あかり等)	607	無 料		
	第1回 馬越正八作品展	4/26～4/30	特別展示室2	5	油絵・水彩画・石仏・本	455	無 料		
29年4月合計				20		1,589			
5月	第32回 聿友社書作展	5/3～5/7	特別展示室2・3	5	書道・漢字・かな・調和体など	459	無 料		
	第65回 春季県展 -会員・準会員展- 「ふるさと愛媛 人・もの・風景」	5/23～ 5/31	特別展示室1～3 常設展示室1～3	8	従来のアンデパンダン展ではなく、 会員・準会員による展示。 日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書 道・写真・デザイン	4,063	一般	当日 600円	団体 500円
							65歳以上 高・大生	400円	300円
							小・中生 身障者	無料	
							前売券 (一般のみ)	500円	
29年5月合計				13		4,522			
6月	第28回 愛媛独立書展	6/7～6/11	特別展示室1～3	5	書道展	1,253	無 料		
	第30回 馬の目松山日本画展	6/13～6/18	特別展示室1～3	6	日本画	1,025	無 料		
	第19回 いろどりの書作展	6/21～6/25	特別展示室1～3	5	書道団体書朋会の定期発表会	545	無 料		
	第13回 キルトin愛媛	6/28～7/2	特別展示室1～3	5	パッチワークキルト作品の展示	1,180	無 料		
29年6月合計				21		4,003			
7月	現美展2017	7/5～7/9	特別展示室1～3	5	油彩・水彩・写真・工芸等	515	無 料		
	第40回 記念愛媛女流書家連盟展	7/12～7/17	特別展示室1～3	6	書作品	1,793	無 料		
	第2回 愛媛水墨画会展	7/19～7/23	特別展示室1～3	5	水墨画作品展	669	無 料		
	第16回 地域交流・スマイルキッズ美術展	7/26～ 7/30	特別展示室1～3	5	油絵・水彩画・日本画・書道・ 粘土工作	1,090	無 料		
29年7月合計				21		4,067			
8月	平成29年度 手をつなぐ子らの作品展	8/7～8/13	特別展示室1～3	6	障がいのある幼児児童生徒の作品 (絵画・版画・デザイン・書等)	580	無 料		
	アートNo.141誕生日の「花と絵」366 今井義明展	8/16～ 8/20	特別展示室1	5	絵画・水彩・誕生日の花366点	584	無 料		
	第52回 東雲児童美術展	8/18～8/20	特別展示室2・3	3	水彩画・クレヨン画・立体工作	785	無 料		
29年8月合計				14		1,949			
9月	安倍能成 学習院中興の祖と称された偉人	9/9～11/6	常設展示室2	51	えひめ国体開催記念関連展示	19,806	無 料		
	「紫舟」展	9/9～11/6	常設展示室2	51	えひめ国体開催記念関連展示	19,806	無 料		
	没後20年 司馬遼太郎展 21世紀「未来の街角」で	9/16～ 10/15	特別展示室1～3	26	司馬遼太郎の直筆原稿や歴史資 料の紹介 愛媛／松山ミュージアムストリートの 連携事業	3,739	一 般	600円	
							高校生	400円	
						中学生以下	無料		
						坂の上の雲ミュージアム との共通観覧券	800円		
29年9月合計				128		43,351			

	展 覧 会 名	会 期	展示室	日数	内 容	入場者数	観 覧 料
10月	第41回 愛光幼稚舎作品展	10/18～ 10/22	特別展示室1～3	5	水彩画・土粘土	1,499	無 料
	第46回 公募墨雲書道展	10/25～ 10/29	特別展示室1～3	5	習練の成果発表書道	741	無 料
29年10月合計				10		2,240	
11月	素の一面 2017松下琴舟社中書作品展	11/1～ 11/5	特別展示室1～3	5	松下琴舟社中による書道作品展	1,697	無 料
	第9回 三騎会展	11/8～ 11/12	特別展示室1～3	5	現代美術作品 12名による展示	1,190	無 料
	第24回 国際交流合同写真展	11/15～ 11/19	特別展示室1・2	5	写真展示	811	無 料
	2017年第32回 松山国際写真集団展	11/15～ 11/19	特別展示室3	5	写真展示	811	無 料
	第47回 愛媛新興美術展	11/22～ 11/26	特別展示室1	6	日本画	683	無 料
	第25回 書神会松山支部展	11/24～ 11/26	特別展示室2・3	3	書道作品展	449	無 料
29年11月合計				29		5,641	
12月	CCE AWARD 2017	12/1～ 12/2	特別展示室1～3	2	広告デザイン公開審査会	350	無 料
	平成29年度 愛媛ひろがるえひめの障がい者アート展	12/4～ 12/10	特別展示室1～3	6	絵画、デザイン、書、陶芸	998	無 料
	第47回 世界児童画展 四国展	12/16～ 12/17	特別展示室1～3	2	3才～15才までの日本及び世界の児童・生徒の絵画作品の展示	602	無 料
	状況2017展	12/20～ 12/27	特別展示室2・3	7	絵画、彫刻、レリーフ、テキスタイル造形、デザイン、鍍金、ガラス工芸、陶芸、木工芸	645	無 料
29年12月合計				17		2,595	
2月	専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校(総合デザイン学科・ファッションビューティ学科)卒業・進級制作展	2/10～2/18	特別展示室1～3	8	デザイン・ファッションの学生による作品展示	469	無 料
	済生会松山乳児保育園 第5回 いのちかがやく子ども美術展	2/23～2/25	特別展示室1～3	3	絵 造形 写真	360	無 料
30年2月合計				11		829	
3月	講座&アトリエ展	3/2～3/5	特別展示室2・3	4	平成28年度以降の美術館の教育普及活動を紹介する展覧会を開催します。	598	無 料
	福井一真展 —挽曲から四方十字組手への展開—	3/10～3/22	特別展示室2・3	11	木による造形作品の展示	697	無 料
	第10回 高承希仏教絵画個人展 「極楽莊嚴」	3/20～3/25	特別展示室1	6	水彩画	394	無 料
	第五十回 洗心書道会全国書道展	3/28～4/1	特別展示室1～3	5	書作品	597	無 料
30年3月合計				26		2,286	
29年度合計				310		73,072	

南館

	展覧会名	会期	展示室	日数	内容	入場者数	観覧料				
							一般	大学生	高校生以下、65歳以上	無料	
8月	第36回書神会全国書道展覧会	8/10～8/13	ギャラリー1～12	4	書道	557	無料				
	第69回毎日書道展四国展	8/23～8/27	ギャラリー1～12	5	書道作品展示:毎日書道展の幹部と四国在住の役員、入賞作品など約900点展示	6,132	500円	300円	(高校生以下、65歳以上 無料)		
29年8月合計				9		6,689					
9月	2017年近美四国支部展	9/6～9/10	ギャラリー2	5	支部会員による洋画・日本画・ミクストメディア	548	無料				
	秩父宮記念スポーツ博物館愛媛巡回展	9/9～10/1	ギャラリー1	19	秩父宮記念スポーツ博物館所蔵品の展示	1,768	無料				
	コピスの会絵画展	9/13～9/17	ギャラリー2	5	油彩、水彩、版画等	594	無料				
	105周年記念日本水彩松山展 第54回愛媛水彩展	9/20～9/24	ギャラリー2～7	5	日本水彩松山展水彩画作品展示 愛媛支部会員水彩画作品展示	1,286	無料				
29年9月合計				34		4,196					
10月	平成29年度県民総合文化祭 第66回秋季県展(前期) 日本画・彫刻・工芸・書道	10/22～ 10/29	ギャラリー1～12	7	県民各層より美術作品を公募し 入選、入賞した作品の展示 日本画・彫刻・工芸・書道	3,993	区分	当日	団体	前売	
							一般	600円	500円	500円	
29年10月合計				7		3,993	65歳以上 400円 300円 - 高天生 400円 300円 - 無料:小中生、身障者				
11月	平成29年度県民総合文化祭 第66回秋季県展(後期) 洋画・版画・写真・デザイン	11/2～ 11/10	ギャラリー1～12	8	県民各層より美術作品を公募し 入選、入賞した作品の展示 洋画・版画・写真・デザイン	5,200	区分	当日	団体	前売	
							一般	600円	500円	500円	
	平成29年度県民総合文化祭 第31回愛媛県高等学校総合文化祭 美術・工芸・書道・写真展				11/16～ 11/19	ギャラリー1～12	4	県内の高等学校、中等教育学校 後期課程及び特別支援学校高等 部の生徒による美術・工芸、書道、 写真部門の総合的な作品展			
	大森達夫 写真展10		11/21～11/26	ギャラリー9	6	モノクロ写真展示					
	第16回牛子華中国水墨山水画研究会展		11/22～11/26	ギャラリー5・6	5	水墨画の作品展示					
	平成29年度県民総合文化祭 「第14回中学生美術作品展」		11/23～ 11/26	ギャラリー1・2	4	県内の中学生が制作した作品を 展示(コンクールではなく参加希 望の学校ごとに出品)					
	第14回愛媛一先会 かな書展		11/24～11/26	ギャラリー3・4	3	書道かな作品					
	第37回双樹会愛媛支部展		11/29～ 12/3	ギャラリー1	5	絵画陶芸展示 日本画、油彩画、 水墨画、水彩画等約60点					
	第99回チャーチル会松山展		11/29～12/3	ギャラリー5・6	5	油絵、水彩画、鉛筆画等					
第7回愛媛電友会 NTTグループ趣味の会作品展		11/29～ 12/3	ギャラリー8～12	5	洋画・日本画・版画・写真・書道・ 工芸 他						
29年11月合計				45		9,664					
12月	律川エレキ掛軸展		12/1～12/10	ギャラリー7	9	墨画					
	MOA美術館松山児童作品展		12/2～12/3	ギャラリー3・4	2	幼児・児童の絵画					
	第44回松山市医師会 趣味の美術展		12/6～12/10	ギャラリー1	5	書、絵画等					
	柳原極堂展		12/6～12/10	ギャラリー10	5	遺墨、色紙、書簡、日本画作品等					
	高橋 創作品展「夢寐」		12/8～12/10	ギャラリー3	3	絵画・書・書画					
	建築家展		12/9～12/10	ギャラリー2	2	建築家作品展示 写真・模型					
	第34回愛媛県高等学校書道教員書作展		12/12～12/17	ギャラリー1	6	書道作品展示					
	松山大学写真部学外展・OB展		12/12～12/17	ギャラリー8・9・12	6	写真の作品展示					
	済美展2017		12/13～ 12/17	ギャラリー2～7	5	美術科生徒の作品展示(日本 画、洋画、デザイン、素描等) 幼 稚園児の作品発表					

VI 貸館事業

	展 覧 会 名	会 期	展示室	日数	内 容	入場者数	観 覧 料
	第50回記念 南風会展	12/19～12/24	ギャラリー1	6	日本画の展示(水彩画・濃墨画)	709	無 料
29年12月合計				49		5,090	
1月	第45回えひめこども美術展	1/4～1/8	ギャラリー1～12	5	県内在住園児・幼児・児童生徒の作品展(平面、立体、書写など約1500点展示)	4,150	無料
	高承希佛教絵画展	1/10～1/14	ギャラリー6	5	佛教絵画の作品展示(巻物)	97	無料
	ART WORKS 2018特別展	1/11～1/14	ギャラリー1	4	工芸・書道・日本画・写真展示	339	無料
	第42回 書界展	1/17～1/21	ギャラリー1～12	5	書作品	2,244	無料
	えひめ文化健康センター教室 第4回水墨画展	1/23～1/28	ギャラリー2	6	水墨画	477	無料
	第53回愛媛県立松山南高等学校砥部分校デザイン科卒業制作展	1/24～1/28	ギャラリー8～12	5	作品展示(グラフィックデザイン、CG、アニメーション、絵画、立体、陶芸)	705	無料
	愛媛県高等学校文化連盟写真展	1/31～2/4	ギャラリー4～6	5	写真展示	470	無料
30年1月合計				35		8,482	
2月	第3回女子美術大学同窓会愛媛支部展	2/1～2/5	ギャラリー2・3・7	5	洋画・日本画・工芸・書道等の展示	452	無料
	愛顔つなぐフォト・ 絵画コンテスト展覧会	2/9～2/18	ギャラリー1～7	9	えひめ国体の「フォト・絵画コンテスト」応募作品の展示	1,166	無料
	第65回愛媛県学生書道展	2/9～2/11	ギャラリー8～12	3	愛媛県下の小・中・高校生の書作品の展示	868	無料
	第56回愛媛県学生書道展	2/17～2/18	ギャラリー9～12	2	県下各小・中・高校生の書道優秀作品約310点の展示	234	無料
	第5回日本刺繍作品展	2/20～2/25	ギャラリー9・10	6	日本刺繍作品展示(着物、帯、額、バック他)	605	無料
	第38回虹の会絵画展	2/21～2/25	ギャラリー2	5	油彩画・水彩画・色鉛筆画の展示	757	無料
	第57回愛媛日本画会展	2/21～2/25	ギャラリー3～7	5	絵画(日本画)の展示	653	無料
	平成29年度松山市中学校美術科教員展	2/24～2/25	ギャラリー12	2	洋画・彫刻・工芸等の作品展示	150	無料
	公募第33回地展松前町を描く絵画展	2/28～3/4	ギャラリー1～7	5	松前町の風物をテーマとした絵画の展示	775	無料
30年2月合計				42		5,660	
3月	第49回泰申書展・特別展示 儒者の書	3/7～3/11	ギャラリー1	5	書作品と書に関する物	425	無料
	第57回二科会愛媛支部展	3/7～3/11	ギャラリー2	5	油絵 彫塑	654	無料
	第43回愛媛県美術館友の会美術展	3/7～3/11	ギャラリー8～10・12	5	洋画、日本画、書道、かな書道、工芸、写真	625	無料
	第8回こどもたちの造形遊び教室 アトリエ若 軌跡展	3/9～3/11	ギャラリー3・6・7	3	こどもたちの活動記録と作品	513	無料
	第11回肱南書学院展	3/13～3/18	ギャラリー1～12	6	軸装、額装、屏風等と子供から大人までの書道作品	1,025	無料
	加藤一止行書展	3/21～3/25	ギャラリー1・2	5	書道作品の展示	563	無料
	第14回ISEKIアートクラブ松山作品展	3/21～3/25	ギャラリー4～6	5	写真、陶芸、書、絵画、工芸等	828	無料
	第五十回洗心書道会全国書道展	3/28～4/1	ギャラリー1～7	5	書作品	908	無料
	第16回えひめ児童版画コンクール 「天才ちるどれん」	3/28～4/1	ギャラリー8～12	5	愛媛県内小学生の版画展	489	無料
30年3月合計				44		6,030	
29年度合計				265		49,804	

※南館耐震改修工事のため、平成28年6月1日から平成29年7月24日まで休館。

Ⅶ 入館者の状況

本館（新館、南館）

年 月	総入館者数	常設展					企画展				
		総観覧者	有料観覧者	無料観覧者	開催日数	一日平均	総観覧者	有料観覧者	無料観覧者	開催日数	一日平均
10～28年度合計	6,630,577	911,452	101,788	809,664	5,223	174.51	2,414,430	1,839,229	575,201	4,161	580.25
29年4月	13,891	1,420	175	1,245	23	61.74	7,695	5,423	2,272	20	384.75
29年5月	27,079	1,174	106	1,068	8	146.75	15,405	11,632	3,773	26	592.50
29年6月	18,127	1,107	96	1,011	16	69.19	9,697	6,817	2,880	26	372.96
29年7月	22,670	2,395	186	2,209	26	92.12	9,963	7,410	2,553	25	398.52
29年8月	23,747	1,200	140	1,060	27	44.44	4,541	3,231	1,310	27	168.19
29年9月	53,495	5,689	49	5,640	25	227.56	13,378	8,438	4,940	20	668.90
29年10月	87,207	11,425	0	11,425	27	423.15	19,978	11,708	8,270	20	998.90
29年11月	86,792	7,922	78	7,844	21	377.24	38,495	27,824	10,671	25	1,539.80
29年12月	73,424	10,160	146	10,014	24	423.33	40,309	31,554	8,755	21	1,919.48
30年1月	16,331	665	241	424	22	30.23	1,142	538	604	10	114.20
30年2月	17,462	1,329	131	1,198	23	57.78	2,452	1,329	1,123	24	102.17
30年3月	24,583	2,414	190	2,224	26	92.85	4,017	1,950	2,067	22	182.59
29年度合計	464,808	46,900	1,538	45,362	268	175.00	167,072	117,854	49,218	266	628.09
総計	7,131,488	958,352	103,326	855,026	5,491	174.53	2,581,502	1,957,083	624,419	4,427	583.13

年 月	施設利用人数							自主事業参加者(再掲)		備 考
	県民 アトリエ※1	その他 (南館相談等)	県民 ギャラリー	ハイビジョン ギャラリー 等	図 書 コーナー	その他 (講堂・研修室・特別 展示室ほか)	計	講 座	その他※2	
10～28年度合計	338,161	197,605	1,913,338	81,628	203,788	570,175	3,304,695	19,371	8,385	
29年4月	0	0	0	4	680	4,092	4,776	97	1,000	
29年5月	0	0	0	0	911	9,589	10,500	349	1,028	
29年6月	0	0	0	69	701	6,553	7,323	94	77	
29年7月	106	94	0	48	700	9,364	10,312	279	272	
29年8月	540	1,792	6,689	0	665	8,320	18,006	562	495	
29年9月	525	1,331	4,038	82	608	27,844	34,428	155	230	
29年10月	520	2,193	4,151	31	669	48,240	55,804	118	81	
29年11月	591	2,130	8,618	0	943	28,093	40,375	164	2,285	
29年12月	569	1,751	6,136	22	686	13,791	22,955	203	351	
30年1月	572	1,603	8,033	21	399	3,896	14,524	41	169	
30年2月	539	1,387	5,467	55	378	5,855	13,681	126	29	
30年3月	646	2,565	6,209	85	607	8,040	18,152	82	60	
29年度合計	4,608	14,846	49,341	417	7,947	173,677	250,836	2,270	6,077	
総計	342,769	212,451	1,962,679	82,045	211,735	743,852	3,555,531	21,641	14,462	

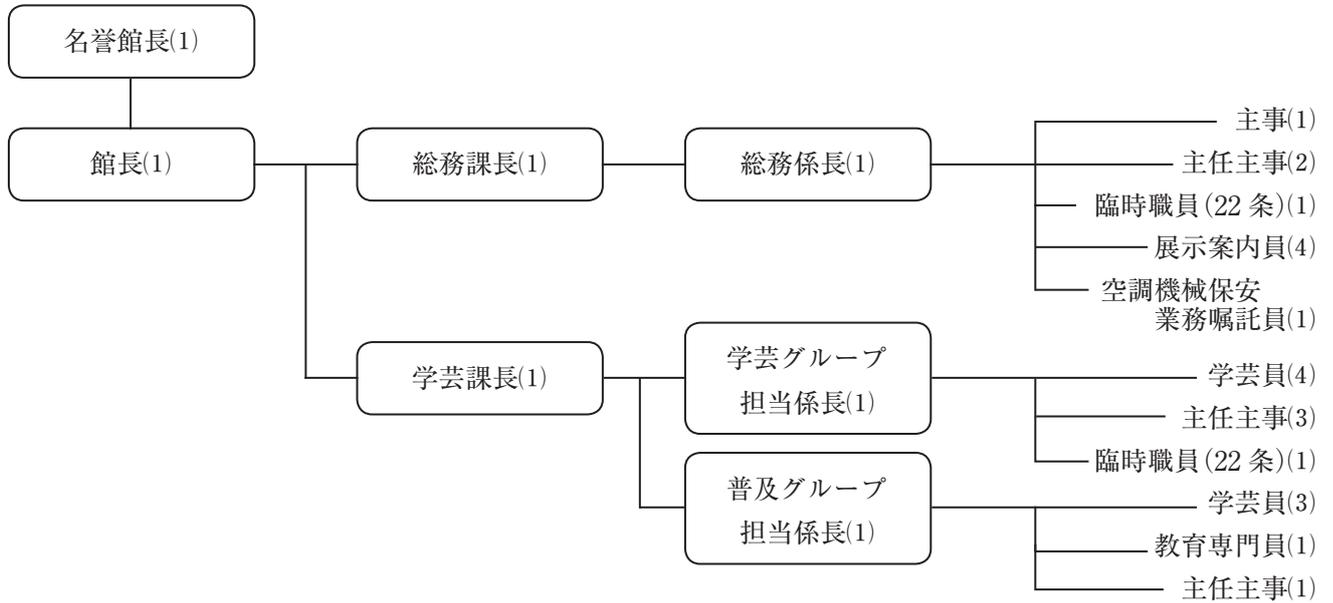
※1 施設利用人員の「県民アトリエ」には、友の会実技教室も含まれる。

※2 エントランス等にて開催された、美術館主催による事業の参加人数

VIII 組織及び職員構成

1 組織図

職員数 / 29名



2 職員名簿

職名	氏名	職名	氏名
名誉館長	玉井日出夫	学芸課長	稲田哲也
館長	高橋仁	学芸G担当係長	梶岡秀一
総務課長	武田豊明	専門学芸員	長井健
総務係長	大野由華	専門学芸員	武田信孝
主事	織田美智代	主任学芸員	杉山はるか
主任主事(再)	高藤勝弘	学芸員	喜安嶺
〃	相原祥二	主任主事(再)	竹田和明
臨時職員(22条)	田窪晴香	〃	門田伸治
展示案内員	高須賀亮介	〃	宮岡清子
〃	山崎さり	臨時職員(22条)	神野創太郎
〃	佐山明子	普及G担当係長	八木誠一
〃	中井悠紀子	教育専門員	檜垣正
空調機械保安業務嘱託員	東朝紀	専門学芸員	鈴木有紀
		〃	石崎三佳子
		〃	田代亜矢子
		主任主事(再)	岩田憲二

IX 愛媛県美術館協議会委員名簿

平成 30 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	現 職
会 長	本田 元広	(株)愛媛銀行頭取
副会長	秋山 一夫	愛媛県美術会会長
委 員	尾崎 正明	元独立行政法人国立美術館理事 元京都国立近代美術館長・茨城県近代美術館長
〃	山脇佐江子	元姫路市立美術館長 独立行政法人国立美術館理事（幹事）
〃	稲畑ルミ子	奈良県立美術館学芸課学芸係長
〃	谷口 佳代	西予市立美術館 ギャラリーしろかわ館長
〃	吉田 慎吾	愛媛県小中学校校長会長
〃	小倉 好正	愛媛県高等学校文化連盟会長
〃	宮崎 恵	愛媛県 P T A 連合会副会長
〃	青野 眞美	主婦

設置：平成 12 年 7 月 21 日（任期：2 年）

X 関係法規 (平成 29 年 4 月 1 日現在のものを掲載しています。)

1 愛媛県美術館使用料条例

(使用料の徴収)

第 1 条 愛媛県美術館(以下「美術館」という。)を使用する者から、この条例の定めるところにより、使用料を徴収する。

(使用料の額)

第 2 条 前条に規定する使用料(以下「使用料」という。)の額は、別表に定める額の範囲内で教育委員会が定める額とする。

2 前項に定めるもののほか、特別の企画による展示に係る観覧料は、当該特別の企画による展示に要する費用を勘案して教育委員会がその都度定める額とする。

(使用料の納付時期)

第 3 条 使用料は、美術館の使用の前に納付しなければならない。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、後納させることができる。

(使用料の減免)

第 4 条 教育委員会は、特に必要と認める者に対しては、その使用料を減免することができる。

(使用料の不還付)

第 5 条 既に納付した使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。

- (1) 天災その他美術館を使用する者の責めに帰することができない理由により使用が不能となったとき。
- (2) 別表施設使用料の項に掲げる施設を使用する者又は美術館が収集し、保管し、若しくは展示する美術品及び美術に関する資料の閲覧、撮影、複写、模写、模造等若しくはこれらにより得たものの展示若しくは刊行物への掲載(以下「特別利用」という。)をする者が教育委員会が定める日までに使用又は特別利用の取消しを申し出て、教育委員会がやむを得ないと認めたとき。

(委任)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、使用料の徴収に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

一部改正〔平成 12 年条例 30 号〕

附 則

この条例は、平成 10 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 12 年 3 月 24 日条例第 30 号)

この条例は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 16 年 3 月 26 日条例第 18 号)

この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 3 月 24 日条例第 28 号)

1 この条例は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、この条例の施行の日以後の許可に係る特別利用について適用する。

附 則(平成 26 年 3 月 28 日条例第 9 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

3 第 16 条の規定による改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、施行日以後の使用に係る使用料で、施行日以後にその全額又は未徴収額について徴収するものについて適用し、施行日前の使用に係る使用料及び施行日以後の使用に係る使用料で、施行日前にその全額について徴収したのものについては、なお従前の例による。(後略)

附 則(平成 29 年 3 月 24 日条例第 5 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。(後略)

(経過措置)

3 第 16 条の規定による改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、施行日以後の使用に係る使用料で、施行日以後にその全額又は未徴収額について徴収するものについて適用し、施行日前の使用に係る使用料及び施行日以後の使用に係る使用料で、施行日前にその全額について徴収したのものについては、なお従前の例による。

別表(第 2 条、第 5 条関係)

種 別		単 位	金 額
常設展観覧料		1 人 1 回につき	500 円
施 設 使 用 料	展示室	1 室 1 日につき	28,920 円
	講堂	1 日につき	7,690 円
	研修室	1 日につき	4,600 円
	県民 ギャラリー	全室使用	1 日につき
単室使用		1 室 1 日につき	14,840 円
特別利用料		1 点 1 回につき	5,140 円

2 愛媛県美術館管理規則

(目的)

第 1 条 この規則は、愛媛県美術館(以下「美術館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(事業)

第 2 条 美術館は、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 3 条に規定する事業を行う。

(組織)

第 3 条 美術館に次の表の左欄に掲げる課を置き、これらの課にそれぞれ同表の右欄に掲げる係を置く。

総務課	総務係
学芸課	

(職員の職)

第4条 美術館に置かれる職員の職は、次のとおりとする。

- (1) 館長
- (2) 参事
- (3) 課長
- (4) 副参事
- (5) 教育専門員
- (6) 専門員
- (7) 専門学芸員
- (8) 係長
- (9) 担当係長
- (10) 主任
- (11) 教育主任
- (12) 主任学芸員
- (13) 主任主事
- (14) 主事
- (15) 学芸員
- (16) 主任業務員
- (17) 業務員

(開館時間)

第5条 美術館の開館時間は、午前9時40分から午後6時までとする。

2 館長は、特別の事情があると認めるときは、前項に規定する開館時間を変更することができる。

(休館日)

第6条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）
- (2) 1月1日から3日まで及び12月29日から31日まで

2 館長は、特別の事情があると認めるときは、臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。

(入館の制限)

第7条 館長は、次の各号のいずれかに該当すると認められる者については、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 美術館の秩序を乱し、又は乱すおそれのある者
- (2) 美術館が収集し、保管し、若しくは展示する美術品及び美術に関する資料（以下「美術館の美術品等」という。）又は美術館の施設、附属設備等を滅失し若しくは損傷し、又は滅失し若しくは損傷するおそれのある者
- (3) その他美術館の職員の指示に従わない者

(観覧券の交付)

第8条 館長は、美術館が展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者が観覧料を納付したときは、観覧券を交付する。

(使用の許可)

第9条 美術館の施設のうち、次の各号に掲げる施設を使用しようとする者は、それぞれ当該各号に定める期間内に愛媛県美術館使用許可申請書（様式第1号。以下「使用許可申請書」という。）を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 企画展示室、常設展示室、特別展示室、講堂及び県民ギャラリー 使用日の1年前から7日前まで
- (2) 研修室 使用日の6月前から2日前まで

2 教育委員会は、前項の規定による使用の許可の申請があった場合において、使用が適当であると認めるときは、使用の許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県美術館使用許可書（様式第2号。以下「使用許可書」という。）を交付するものとする。この場合において、美術館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、許可に条件を付することができる。

3 教育委員会は、第1項に定める期間外に使用許可申請書の提出があった場合であっても、特に理由があると認めるときは、同項の使用の許可をすることができる。

(許可の基準)

第10条 教育委員会は、美術館を使用しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前条第1項の使用の許可をしないものとする。美術館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

- (1) 美術館の秩序を乱すおそれがあるとき。
- (2) 美術館の美術品等又は美術館の施設、附属設備等を滅失し、又は損傷するおそれがあるとき。

(使用の許可の変更)

第11条 第9条第1項の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用日時、入場料徴収の有無その他教育委員会が定める事項を変更しようとするときは、あらかじめ愛媛県美術館使用変更許可申請書（様式第3号）に使用許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

(使用の許可の取消し等)

第12条 教育委員会は、使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その使用の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。美術館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

- (1) この規則に違反し、又は美術館の職員の指示に従わないとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により使用の許可を受けたとき。
- (3) 風俗を乱すおそれがあるとき。
- (4) 使用の許可の条件に違反したとき。

(使用料の額)

第13条 愛媛県美術館使用料条例（平成10年愛媛県条例

第26号。以下「条例」という。)第2条第1項に規定する教育委員会が定める使用料の額は、別表に掲げるとおりとする。

(観覧料の減免)

第14条 教育委員会は、条例第4条の規定に基づき、次に掲げる者に対しては、観覧料を免除する。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として展示室を観覧する県内の高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の生徒及びその引率者
- (2) 身体に障害を有する者で、本人又はその保護者が身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けているもの及びその介護者
- (3) 都道府県又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項の指定都市から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者
- (5) 65歳以上の者

2 教育委員会は、前項に定めるもののほか、必要と認めるときは、条例第4条の規定に基づき、観覧料を免除し、又はその一部を減額することがある。

3 前2項の規定にかかわらず、特別の企画による展示に係る観覧料の減免については、教育委員会がその都度定める。

4 第1項第1号の規定により観覧料の免除を受けようとするときは、あらかじめ、学校長が愛媛県美術館観覧料免除申請書(様式第4号)を教育委員会に提出しなければならない。

5 第1項第2号から第5号までの各号の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、当該各号に該当することを証する書類を提示しなければならない。

(特別利用料の減免)

第15条 教育委員会は、条例第4条の規定に基づき、次に掲げる者に対しては、特別利用(条例第5条第2号に規定する特別利用をいう。以下同じ。)に係る使用料(以下「特別利用料」という。)を免除する。

- (1) 美術に関する教育、学術上の調査研究又は啓発のために特別利用をする者で、教育委員会が必要と認めるもの
- (2) 美術館の広報に関し効果があると認められる用途に供することを目的として特別利用をする者

2 教育委員会は、前項に定めるもののほか、必要と認めるときは、条例第4条の規定に基づき、特別利用料を免除し、又はその一部を減額することがある。

(使用料の還付)

第16条 条例第5条第2号に規定する教育委員会が定める日は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 企画展示室、常設展示室、特別展示室、講堂及び県民ギャラリー 使用日の30日前の日
- (2) 研修室 使用日の7日前の日
- (3) 美術館の美術品等 特別利用日の前日

第17条 条例第5条ただし書の規定により、教育委員会は、次の各号に掲げる場合においては、それぞれ当該各号に定める額を還付する。

- (1) 条例第5条第1号に該当する場合 使用料の全額
- (2) 条例第5条第2号に該当する場合 使用料の50パーセントに相当する額

2 前項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、愛媛県美術館使用料還付申請書(様式第5号)を教育委員会に提出しなければならない。

(美術館の美術品等の特別利用)

第18条 美術館の美術品等の特別利用をしようとする者は、館長に愛媛県美術館美術品等特別利用許可申請書(様式第6号)を提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の場合において、特別利用に係る美術館の美術品等が寄託されたものであるときは、同項の申請書に、当該美術館の美術品等の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

3 館長は、第1項の規定による特別利用の許可の申請があった場合において、特別利用が適当であると認めるときは、特別利用の許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県美術館美術品等特別利用許可書(様式第7号)を交付しなければならない。この場合において、美術館の美術品等の管理上必要があると認めるときは、許可に条件を付することがある。

(美術館の美術品等の館外貸出し)

第19条 館長は、美術館の業務に支障がない場合であつて、美術に関する学術上の調査研究又は啓発のために特に必要と認められ、かつ、美術館の美術品等の取扱い上の安全が確認できるときは、美術館の美術品等の館外貸出しを行うことができる。

2 前項の規定により美術館の美術品等の館外貸出しを受けようとする者は、愛媛県美術館美術品等館外貸出し許可申請書(様式第8号)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、当該美術館の美術品等が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該美術館の美術品等の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

3 館長は、前項の規定による館外貸出しの許可の申請があった場合において、館外貸出しが適当であると認めるときは、館外貸出しの許可を決定し、当該申請をした者に

対し、愛媛県美術館美術品等館外貸出許可書（様式第9号）を交付しなければならない。この場合において、美術館の美術品等の管理上必要があると認めるときは、許可に条件を付することがある。

4 美術館の美術品等の館外貸出期間は、50日以内とする。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

5 館長は、館外貸出期間中であっても、館外貸出しを許可した美術館の美術品等の返還を求めることができる。
（美術品等の寄贈又は寄託）

第20条 美術館は、美術品及び美術に関する資料（以下この条において「美術品等」という。）の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 美術館に美術品等を寄贈しようとする者は愛媛県美術館美術品等寄贈申出書（様式第10号）を、美術品等を寄託しようとする者は愛媛県美術館美術品等寄託申請書（様式第11号）を館長に提出しなければならない。

3 館長は、前項の規定による寄贈の申出又は寄託の申請があった場合において、当該寄贈の申出又は寄託の申請に係る美術品等の受入れが適当であると認め、当該美術品等の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に対し、愛媛県美術館寄贈美術品等受領証（様式第12号）又は愛媛県美術館寄託美術品等預り証（様式第13号）を交付しなければならない。

4 寄託を受ける美術品等の取扱いについては、館長が寄託しようとする者と協議して定める。

5 美術館は、寄託を受けた美術品等の不可抗力による損害に対しては、その責めを負わないものとする。
（損害賠償等）

第21条 自己の責めに帰すべき理由により、美術館の美術品等又は美術館の施設、附属設備等を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

（補則）

第22条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則施行の際現に愛媛県美術館使用規則（平成10年愛媛県規則第50号）の規定により、知事若しくは館長が行った処分その他の行為で現にその効力を有するもの又は現に知事若しくは館長に対してなされている申請その他の行為は、この規則施行の日以後においては、この規則の相当規定により、教育委員会若しくは館長が行った処分その他の行為又は教育委員会若しくは館長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

附 則（平成13年3月30日教育委員会規則第4号）

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則施行の際現に提出されている改正前のそれぞれの規則の様式の規定による申請書その他の書類は、改正後のそれぞれの規則の様式の規定による申請書その他の書類とみなす。

3 この規則施行の際現にある改正前のそれぞれの規則の様式の規定による書類の用紙は、当分の間、これを訂正して使用することができる。

附 則（平成13年4月1日教育委員会規則第6号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年3月29日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月29日教育委員会規則第3号）

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 第3条の規定による改正後の愛媛県美術館管理規則別表1の表の規定は、この規則の施行の日以後に徴収する常設展観覧料について適用し、同日前に徴収した常設展観覧料については、なお従前の例による。

附 則（平成17年4月1日教育委員会規則第7号抄）

（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成18年3月31日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年4月1日教育委員会規則第6号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成18年9月1日教育委員会規則第11号）

（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 この規則施行の際現に改正前のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

3 この規則施行の際現にある改正前のそれぞれの規則の様式の規定による書類の用紙は、平成18年度に限り使用することができる。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年8月29日教育委員会規則第17号）

1 この規則は、平成20年9月1日から施行する。

2 この規則施行の際現に改正前の愛媛県美術館管理規則様式第1号及び様式第2号の規定により提出され、又は交付している書類は、それぞれ改正後の愛媛県美術館

管理規則様式第1号及び様式第2号の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則(平成21年3月31日教育委員会規則第5号)

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際現に改正前の愛媛県美術館管理規則様式第1号、様式第2号及び様式第5号から様式第13号までの規定により提出され、又は交付している書類は、それぞれ改正後の愛媛県美術館管理規則様式第1号、様式第2号及び様式第5号から様式第13号までの規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則(平成22年4月1日教育委員会規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年3月28日教育委員会規則第2号抄)

(施行期日)

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 第4条の規定による改正後の愛媛県美術館管理規則別表の規定は、この規則の施行の日(以下「施行日」という。)以後の使用に係る使用料で施行日以後に徴収するものについて適用し、施行日前の使用に係る使用料及び施行日以後の使用に係る使用料で施行日前に徴収したのものについては、なお従前の例による。

附 則(平成26年4月1日教育委員会規則第5号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成28年3月31日教育委員会規則第2号抄)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月24日教育委員会規則第2号抄)

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の愛媛県美術館管理規則別表の規定は、この規則の施行の日(以下「施行日」という。)以後の使用に係る使用料で施行日以後に徴収するものについて適用し、施行日前の使用に係る使用料及び施行日以後の使用に係る使用料で施工日前に徴収したのものについては、なお従前の例による。

別表(第13条関係)

1 常設展観覧料

区 分	一 般	団体(20人以上)
1 高等学校及び中等教育学校の後期課程の生徒、大学の学生その他これらに類する者	200円	160円
2 15歳以上の者(中学校及び中等教育学校の前期課程の生徒並びに1に該当する者を除く。)	300円	240円

2 施設使用料

区 分		使用料	
企画展示室1	入場料が無料の場合	14,760円	
	入場料が有料の場合	23,610円	
企画展示室2	入場料が無料の場合	14,760円	
	入場料が有料の場合	23,610円	
常設展示室1	入場料が無料の場合	13,360円	
	入場料が有料の場合	21,370円	
常設展示室2	入場料が無料の場合	18,080円	
	入場料が有料の場合	28,920円	
常設展示室3	入場料が無料の場合	11,810円	
	入場料が有料の場合	18,890円	
特別展示室1	入場料が無料の場合	4,980円	
	入場料が有料の場合	7,960円	
特別展示室2	入場料が無料の場合	3,500円	
	入場料が有料の場合	5,600円	
特別展示室3	入場料が無料の場合	5,820円	
	入場料が有料の場合	9,310円	
講 堂	入場料が無料の場合	午前9時40分から正午まで	1,810円
		午後1時から午後6時まで	3,000円
		全日(午前9時40分から午後6時まで)	4,810円
	入場料が有料の場合	午前9時40分から正午まで	2,890円
		午後1時から午後6時まで	4,800円
		全日(午前9時40分から午後6時まで)	7,690円
研修室	午前9時40分から正午まで	1,990円	
	午後1時から午後6時まで	2,610円	
	全日(午前9時40分から午後6時まで)	4,600円	
県民ギャラリー1		14,840円	
県民ギャラリー2		11,650円	
県民ギャラリー3		3,170円	
県民ギャラリー4		4,230円	
県民ギャラリー5		4,230円	
県民ギャラリー6		2,110円	
県民ギャラリー7		2,110円	
県民ギャラリー8		6,350円	
県民ギャラリー9		2,750円	
県民ギャラリー10		2,850円	
県民ギャラリー11		2,850円	
県民ギャラリー12		3,170円	

注 県民ギャラリーをすべて使用する場合の使用料は、この表の規定にかかわらず、53,490円とする。

3 特別利用料

区 分	単 位	金 額
閲覧	1点1日につき	510円
模写・模造	1点1日につき	5,140円
撮影・複写	1点1回につき	5,140円
原版使用	1点1回につき	5,140円

- 注1 文書は、1葉を1点とする。
 2 びょうぶは、1隻を1点とする。
 3 1そろいをなす卷子は、1巻を1点とする。
 4 掛軸は、1幅を1点とする。
 5 小型の物で1組又は1箱となっているものは、1組又は1箱を1点とする。
 6 多数の物で1そろい又は1具となっているものは、数量に応じて数点に分けるものとする。
 7 その他の資料は、各個を1点とする。

※ 様式については、掲載を省略します。
 施設使用許可申請書が必要な場合は、愛媛県美術館ホームページ(<http://www.ehime-art.jp/>)を参照してください。

3 愛媛県博物館協議会設置条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館に、それぞれ同表の右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

愛媛県総合科学博物館	愛媛県総合科学博物館協議会
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館協議会
愛媛県美術館	愛媛県美術館協議会

(任命の基準)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命する。

(定数)

第3条 委員の定数は、それぞれ14人以内とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(雑則)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

4 愛媛県美術館協議会運営規則

(趣旨)

第1条 この規則は、愛媛県博物館協議会設置条例(平成12年愛媛県条例第31号)第5条の規定に基づき、愛媛県美術館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、協議会の委員(以下「委員」という。)の互選による。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

(招集)

第3条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、愛媛県美術館長が招集する。

2 会議の日時、開催場所及び会議に付議する事項は、あらかじめ委員に通知しなければならない。

(会議)

第4条 会議は、会長が主宰する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、愛媛県美術館において処理する。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月27日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

5 愛媛県美術品等収集評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 美術作品の収集等に関する事務を適正かつ円滑に行うことを目的として、愛媛県美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、次の事項について教育長の諮問に応じ、て審議を行う。

- (1) 美術作品の選定及び評価に関すること。
- (2) 美術作品の情報提供に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員7人以内をもって組織する。

2 委員は、美術に関する知識を有する者の中から、教育長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長は、委員のうちから互選し、副委員長は委員長が指名する。

3 委員長は、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議には、委員長が必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(任期)

第6条 委員の任期は、委嘱の日から2年間とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、愛媛県美術館において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年2月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年2月20日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年3月3日から施行する。

XI 施設・設備の概要

○ 新 館

(1) 施 設

所在地 愛媛県松山市堀之内

設計 株式会社日建設計

施工

建築 大成・野間共同企業体

電気 四電工・三信電設共同企業体

空調 須賀・日比谷共同企業体

衛生 株式会社ダイイチマリン

昇降機 三菱電機株式会社

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階

敷地面積 7,199.73㎡

建築面積 3,218.78㎡

延床面積 10,365.46㎡

仕上げ 外 部 特注磁器質ボーダータイル

打込PC版

屋 根 銅板葺・アルミハニカムパネル

アスファルト防水の上コンクリートパネル敷

特殊工法 PC版圧着構造・外壁大型カーテンウォール

(2) 設 備

空調設備

空調方式 中央ダクト方式・パッケージ方式・ファンコイル方式

主要熱源機 直だき吸収冷温水機・空気熱源ヒートポンプユニット

熱源設備 (ガス焚吸収式冷温水機) + (空気熱源回収形ヒートポンプ)

+ (冷温水蓄熱槽) 組み合わせ方式

容 量 ガス焚吸収式冷温水機 150R ton×1台

空気熱源熱回収形ヒートポンプ 100R ton×1台

空調系統・空調方式 展示室 8系統 単一ダクト変風量

収蔵庫 4系統 単一ダクト定風量方式

一部ファンコイル併用

一 般 15系統 単一ダクト定風量方式

単一ダクト変風量

(ファンVAV)方式

1F中監盤室、講師控室、ボランティア室

ビル用マルチパッケージ方式

換気設備 熱源機械室、電気室、特殊ガスボンベ室、荷捌室、EV機械室他は第1種換気とし、便所、湯沸他は第3種換気とする。

排煙設備 自然排煙…エントランスホール等

機械排煙…BF廊下、企画展示室(1)、(2)、常設展示室(1)、(2)、展示ロビー(3)、搬入口、荷解室、ハイビジョンギャラリー

蓄熱槽 冷水槽…540㎡、温水槽…170㎡

(床下二重ビット利用)

電気設備

引 込 高圧・架空

電 灯 Tr200KVA×3台

動 力 Tr500KVA×2台

コンデンサ 低圧 50KVA×6台

リアクトル 低圧 3KVA×6台

発電機 3φ3W220V 205KVA・240PS 1φ3W 110V

6Kw ディーゼル軽油

直流電源 サイリスタ全自動式整流器 3φ3W 200V 10時間 MS-E 300Ah/54セル
 放送機器 出力(非常・業務)720W 出力(BGM)360w
 卓上型2台 ワイヤレス 800MHz
 テレビ共聴 VHF・UHF・BSアンテナ
 電話 PCM時分割方式 一般内線90/120内線10/10回線64局線1/10回線 PHS接続装置10/10
 回線 アナログ局線10/12回線 INS1500局1/4回線
 インターホン 身障者用・夜間訪問用
 電気時計 ダイチ製 DC-3002、DC-3006
 火報防火扉 GP型1級50回線 副表示20L 諸警報55L 防排煙130L ガス漏れ5L
 表示設備 DC24V発光ダイオード(2モード形)

衛生設備

給水設備 飲用 松山市上水道引き込み(50mm) → 受水槽(11m³) 加圧ポンプ方式
 雑用 雨水利用+井水 → 受水槽(28m³) 加圧ポンプ方式
 給湯設備 中央給湯方式(太陽熱利用)+局所方式
 真空式温水ヒーター 100,000kcal/H 2台
 貯湯槽 2m³ 2台
 電気湯沸器 30リットル8台
 排水設備 建物内汚水・雑排水分流方式(雨水は分流)
 脱ガス設備(中圧) 吸収式冷温水機及び真空式温水ヒーターに供給
 消火設備 屋内消火栓設備、連結散水設備(5系統)、イナージェン消火設備(6系統)、
 消火器設備、移動式粉末消火設備、フード消火設備(厨房)
 その他 太陽熱利用設備、雨水再利用設備(有効水量206m³)、井水設備
 昇降機設備 乗用油圧エレベーター(15人乗 車椅子対応)2台
 乗用油圧エレベーター(11人乗 車椅子対応)1台
 荷物用油圧エレベーター(4,200kg Wカゴ3,500mm×D4,800mm×H3,000mm)1台

○ 南 館

(1) 施設

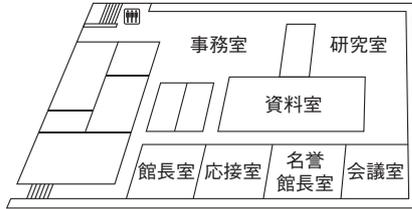
所在地 愛媛県松山市堀之内
 構造 鉄筋コンクリート造
 地上3階地下1階
 敷地面積 2,301.50m²
 建築面積 921.20m²
 延床面積 4,296.69m²

区分	室名	面積(m ²)	
南館	創作部門	県民ギャラリー1～12	2,004
		県民アトリエ1	68
		県民アトリエ2	105
		実技教室	124

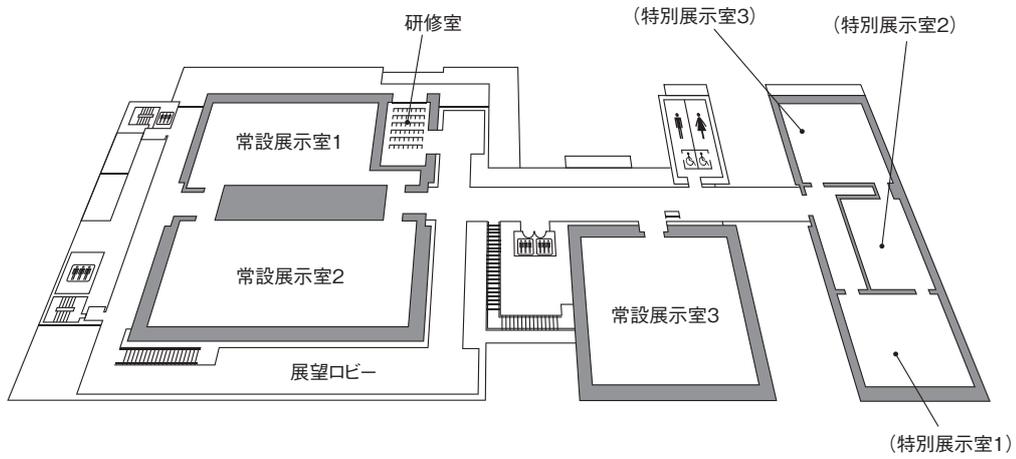
新館フロア



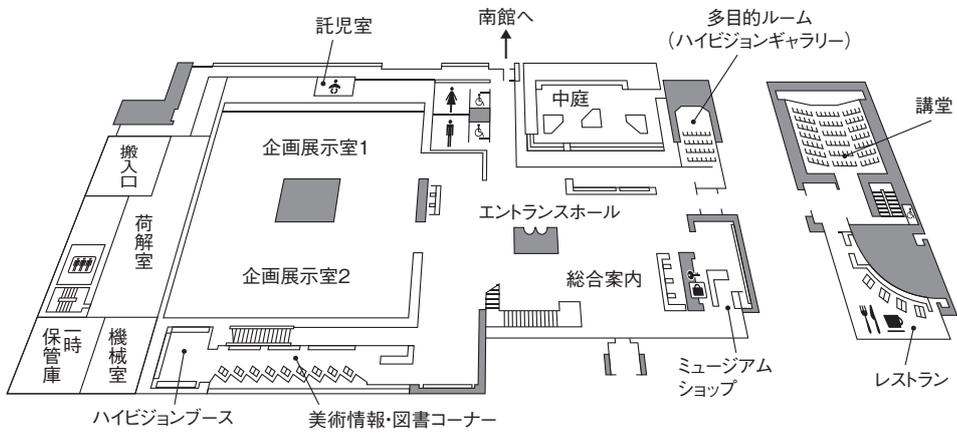
3階



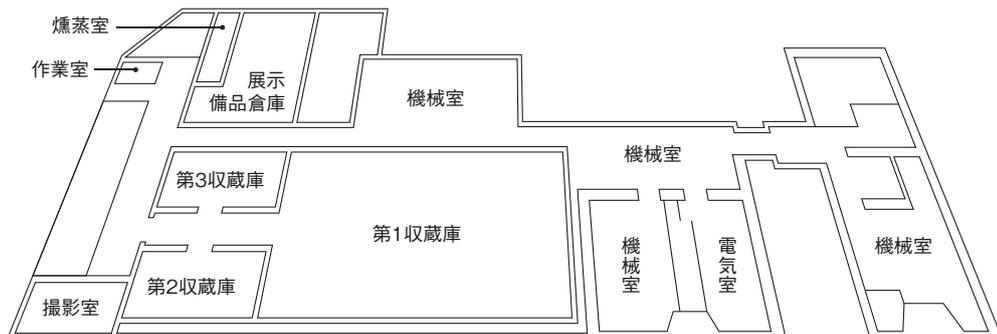
2階



1階



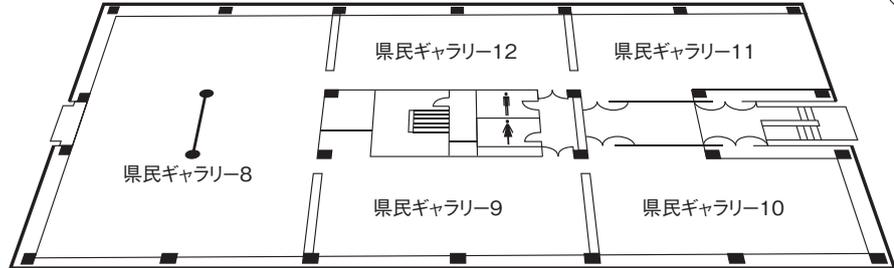
地下1階



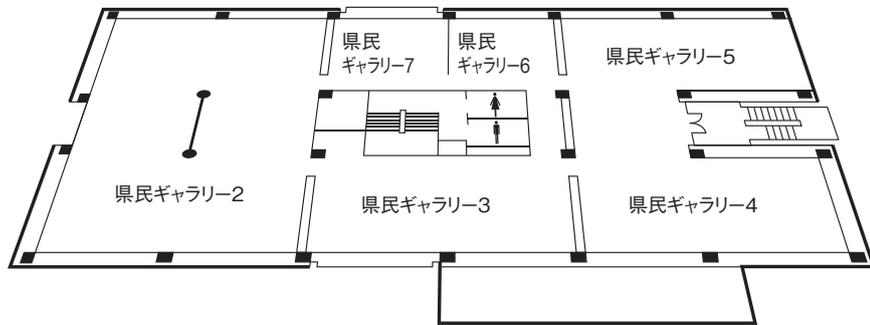
南館フロア



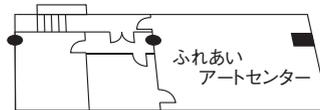
3階



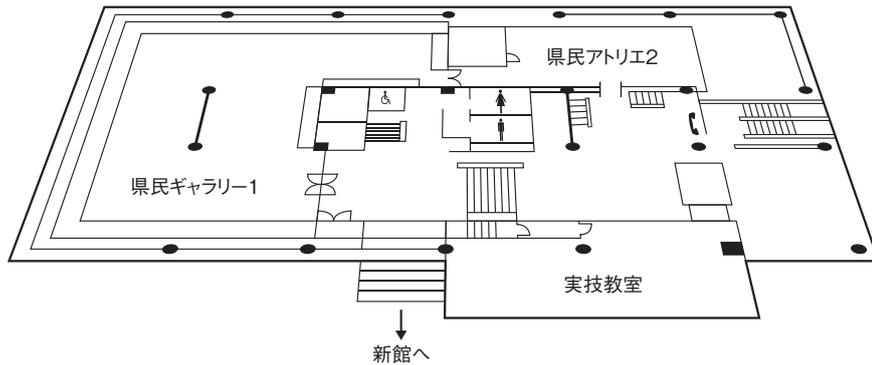
2階



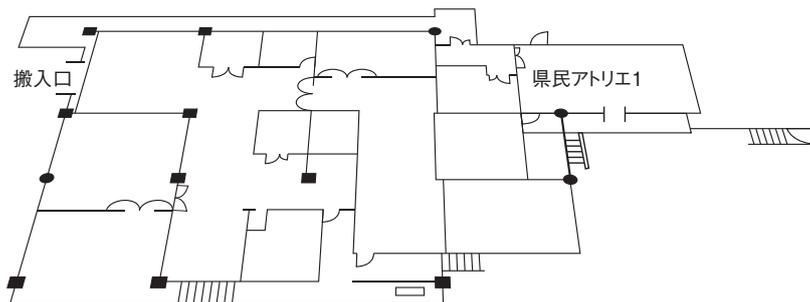
中2階



1階



地下1階



愛媛県美術館

研究紀要 第17号

BULLETIN

THE MUSEUM OF ART, EHIME

アトリエにおける版画制作の安全性を考える

石崎 三佳子



愛媛県美術館 県民アトリエ

はじめに

腐食銅版画やリトグラフの制作では、有機溶剤や有害な化学物質を含む材料を使用する。当館でも講座やアトリエで銅版画を実施する際には、油性グラウンド(防蝕材)や油性インクの使用によってグラウンドの清掃時には有機溶剤であるプリントクリーナーやリグロインを使用し、油性グラウンドを薄めるときにはリグロインを使用している。

過去に版画の講座の参加される方や、アトリエ⁽¹⁾を利用する方で、制作時の匂い、揮発性のリグロインやプリントクリーナーの有機溶剤が苦手な方は、講座の参加やアトリエ利用を断念される事例があった。

プリントクリーナーやリグロインは健康を害するという情報は得ていても、講座などは一過性の利用で用量は少量ということもあり、換気を気遣う程度であったが、ノントキシック(Non toxic=非毒性)の有機溶剤を使用しない版画技法を北山銅版画室(京都)で体験したことで、版画制作での安全性を考えるようになった。

美術館では子どもを含む利用者が版画の講座に参加したり、アトリエでの一般利用で長期的な版画制作に関わったりすることを考えると、利用者の安全の確保は無視できず、創作の楽しみは健康な身体とともに成り立つものではないかと考える。

本稿で、アトリエ内で比較的使用頻度の高いプリントクリーナー、リグロインの有害性を確認し、現在のアトリエのそれらの取り扱い方法を検証し、健康に配慮した版画制作の方法や工夫を提案する。

1 ノントキシックの動向

1978年、カナダで伝統的な版画技法で扱う有機溶剤の毒性と健康被害の危険性を報告する『版画制作における健康と安全：版画家のためのマニュアル』刊行された。有機溶剤を使用しない方法の研究が版画家や版画教育に携わる人たちによって進められ、その非毒性の版画技法の動きを牽引してきた1人として、版画家であり、教育者であるカナダのキース・ハワードが挙げられる。キース・ハワードは、伝統的な凹版の油性グラウンドの代替としてアクリルベースの水溶性グラウンドの考案者であり、『Safe Photo Etching for Photographers and Artists』(1991年)など非毒性の版画技法を紹介する書籍を出版し、非毒性の技法を紹介するために世界各地で版画家や美術教師を対象としたワークショップを開催する。

日本においては、土居誠が運営する北山銅版画室では2004年からノントキシック凹版の研究を始め、2005年以降はノントキシック版画工房に移行している。2007年に武蔵篤彦が京都精華大学紀要にてノントキシックについて言及し、環境にやさしい版画としてポリマー版画を紹介する。湊七雄は2010年にアメリカでキース・ハワードとフリードハード・キークベンに会い、技法研究の最新情報や動向を調査し、学校教師向けのワークショップの開催や学校現場で活用できる教材研究に取り組み、ノントキシック技法の研究や普及に努め、マルニックス・エヴェラルトとの共著『PRINTMAKING WORKSHOP ARTIST'S GUIDE ノントキシック銅版画への誘い』を2016年に刊行する。

銅版画家の石山直治は、自身のサイトにおいて2005年の記事としてノントキシック凹版の紹介、油

性グラウンドの代替技法とその使用感、石山が勤めるユヴァスキュラ（フィンランド）の工房の現状を紹介している。

美術家連盟は『美術家の健康と安全』(2017年)を、版画だけでなく日本画、洋画、彫刻の美術制作全般にかかる使用する材料の危険・有害性に触れ、その取扱いの留意点などをまとめ、美術家の意識改革を目的としたハンドブックとして刊行した。海外から巻き起こった非毒性の版画は、健康や環境を重視される社会風潮とともに日本にも浸透しつつある。

2 プリントクリーナー、リグロインの有害性

アトリエ内で使用頻度の高い有機溶剤、プリントクリーナーとリグロインについて有害性を検証する。

科学技術の進歩とともに、産業の各分野で使用される有機溶剤の種類と量は著しい増加を示し、労働環境におけるこれら有機溶剤による中毒にかかる危険性も強まり、労働省が有機溶剤による中毒予防対策の充実を図るため、有機溶剤中毒予防規則が昭和36（1961）年に施行される。

規則の対象となる有機溶剤は54種類あり、リグロインやプリントクリーナーの成分に対象となる有機溶剤が含まれている。有機溶剤は常温では液体であるが、一般に揮発性が高いため、蒸気となって作業者の呼吸を通じて体内に吸収されやすく、また、油脂に溶ける性質があることから皮膚からも吸収される。

プリントクリーナーは銅版画では油性グラウンド（防蝕剤）の除去、油性インクの清掃などで利用する。アルミ版リトグラフにおいても油性描画材を除去する際に使用する。内容成分は、石油系炭化水素で、無色透明で僅かに石油臭のする可燃性液体である。

プリントクリーナー⁽²⁾を製造する株式会社ナカタニの安全データシート⁽³⁾によるGHS分類⁽⁴⁾では引火性液体が区分3〔引火性液体及び蒸気〕、吸引性呼吸有害性が区分1〔飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ〕に該当する。

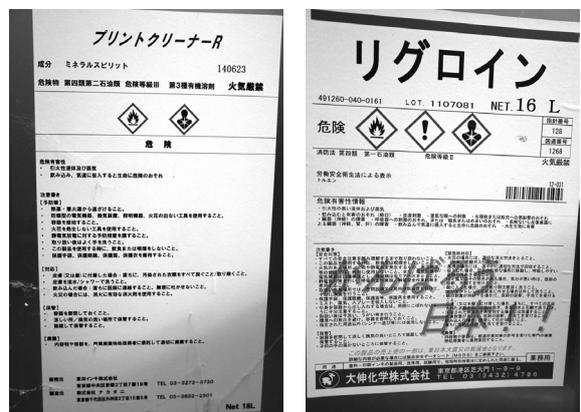
リグロインは、石油系炭化水素の混合物、無色透明の液体で石油臭がある。メーカーにより組成が異なるが、美術館で使用している大伸化学株式会社の安全データシートによるとGHS分類では引火性液体が区分2〔引火性の高い液体及び蒸気〕、急性毒性（経口）が区分5〔飲み込むと有害のおそれ〕、皮膚腐食性・刺激性が区分2〔皮膚刺激〕、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性が区分2⁽⁵⁾、生殖毒性は区分1A〔生殖能又

は胎児への悪影響のおそれ〕、特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）が区分1〔臓器（神経）の障害〕と区分3〔呼吸器への刺激のおそれ、眠気又はめまいのおそれ〕、特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）が区分1〔長期又は反復ばく露による臓器（神経、腎、肝）の障害〕、吸引性呼吸器有害性が区分1〔飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ〕、水生環境慢性有害性が区分3〔水生生物に有害〕に該当する。

いずれも安全データシートに記載のあるように取扱いの注意としては熱源から遠ざけること、保護手袋などを着用すること、十分な換気を行うこと、容器を密閉し保管することなど共通するが、GHS分類によると身体への有害性はリグロインが高いことがわかる。

プリントクリーナーやリグロイン等の有機溶剤は、蒸気密度が空気より重いため、空気中に放出されたとき下層部にそれらの気体がたまることになると、身長の高い子どもがより気体を吸引しやすいと言える。

安全データシートには物理化学的性質のほか、危険性、有害性、ばく露した際の応急措置、取扱方法、保管方法などについて詳細に記載しており、使用者は一読し、その性質を理解し安全を確保すべきである。



プリントクリーナー、リグロインのラベル表示

3 プリントクリーナー、リグロインの取り扱いの現状 (1) 保管

プリントクリーナー、リグロインは友の会の販売物として提供していることもあり、購入した一斗缶からボトル（ポリエチレン性カ）に移し、アトリエ内の引き戸付きの棚で保管している。ボトルは作業を優先したノズル付きもしくは蓋に注ぎ口付きの密閉できないものである。補充用の一斗缶は制作スペースとは別の部屋に保管している。

引火性液体に対応した消火器は設置している。



保管庫



容器

(2) 使用方法

ここでは、アトリエ内での一般的な使用として記す。

プリントクリーナーは、銅版画やコラグラフなどの油性インクの掃除、エッチングの油性グラウンドの除去の際、版面に少量を直接たらし、ウエスで拭きとって使用する。揮発性の高いリグロインは、銅版画の仕上げの拭き取りやプレス機のベッドプレートに付着したインクの拭き取りとして、ウエスに液体を沁み込ませ使用する。また、リグロインは濃度が高い液体グラウンドの薄め液として使用する。

プリントクリーナー、リグロインともに、使用した溶剤が付着したウエスは、作業中は作業机に置いて、最後にまとめてゴミ箱（蓋なし）に廃棄する。ゴム手袋等の着用は、作業中の脱着の煩わしさからか液体が付着したウエスを素手で触れることが多い。

(3) 換気

部屋の天井付近に設置してある換気扇を使用するか、窓の開閉を行う。

4 プリントクリーナー、リグロインの取り扱いの改善

(1) 保管

アトリエ内に置いているボトルは常に注ぎ口が開いていて気体を放出し続けることになる。使用しないときは不要に気体を放出させないよう密閉容器への改善が必要である。

(2) 使用方法

皮膚から吸収されるので、素手で触れることは避け、手袋は着用することは徹底したい。ただし、ゴム手袋も有機溶剤を浸透させるので、使用した後はウエスで拭き取り洗剤で洗い、その都度、手袋を外すことを心

掛ける。

また、揮発性なのでマスクの着用も必要であり、使用したウエスを作業机に置いたままになるのも、気体を放出し続けるので、作業中、使用したウエスは密閉できる容器等で一時保管し、作業終了後はゴミ箱（蓋なし）に直接廃棄するのではなく、袋に溶剤が付いたゴミをまとめて密閉した上でゴミ箱に廃棄するなどの配慮が必要である。

(3) 換気

アトリエの換気扇は上部の設置のみである。揮発した気体は空気より重く床近くに滞留するため、本来は床近くの吸排気が必要となるのであろうが、設備の改修は難しく、外への通用口の戸を開け、床近くで扇風機をまわし、外部に排気する方法など、換気の工夫は必要である。

(4) 溶剤を使用しない技法

有機溶剤の使用は安全性という制作以外の面で気を使わなくてはならない負担が付加される。日本でも有機溶剤を使用しない制作が広がりを見せており、従来の有機溶剤を使用する制作に固執することなく、有機溶剤を使用しない方法を積極的に取り入れることも考えたい。

有機溶剤を使用しない技法として、アトリエ内で取り入れやすいものをここで紹介する。

①インクの清掃

油性インクの除去剤と使用するプリントクリーナーの代替方法⁽⁶⁾としては、可能な限りヘラでインクを取りのぞいた後、サラダ油で拭き取り、仕上げに食器用洗剤で洗う方法がある。プリントクリーナーを用いるより、少し清掃に時間はかかるものの、臭いなど体を感じる負担がない。材料も身近なものであり、アトリエ利用者には、この方法を紹介しているところである。

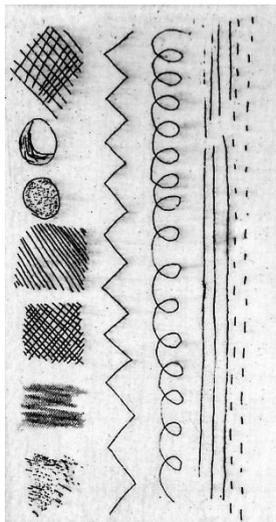
さらに、使用するインクを水性インクに切り替えてしまえば、食器用洗剤と水洗いでインクの掃除ができる。手に付いたインクや拭き取りのインクのついた寒冷紗も洗うことができる点において、非常に清掃が手軽である。学校団体のワークショップで実践したところ、片付けや手洗いがスムーズであった。

プレス機のベッドプレートのインクの汚れは、リグロインに消毒用エタノールで拭き取るとよい。

②グラウンド

油性グラウンドを使用するとリグロイン、プリントクリーナーを使用が避けられない。有機溶剤を使用しない防蝕材として考案された水溶性のグラウンドを使用することで問題は解決できる。水溶性グラウンドとして、日本では新日本造形から販売されているウォーターグラウンドがあるが、身近な材料を用いて作れるアクリル系水溶性グラウンドについて、日本語では北山銅版画室、石山直治らのwebサイト上でも紹介されている。防蝕後のグラウンドは、新日本造形のウォーターグラウンドは、水で除去でき、アクリル系水溶性グラウンドはエタノールで除去できる。

水溶性グラウンドをいくつか試した中で、個人的には床用ワックスとグロスポリマーメディウムを調合したグラウンドがニードルでの描画がスムーズで、腐蝕液に対する耐久性もある。エアブラシによるアクアチントの表現も可能である。作品制作への応用をさらに試したい。



床用ワックス、グロスポリマーメディウムによる水溶性グラウンドの試作
(腐食液:塩化第二鉄、腐食時間:30分、液温:17°C)

おわりに

比較的利用の多いリグロイン、プリントクリーナーの有害性、それらのアトリエ内の取り扱い状況、問題と改善方法を検証してみたが、健康面と制作面で有機溶剤を使用することの負担は否めないことがわかった。

制作の楽しみの前提に健康や環境は守られるべきであり、そのためには制作に携わる者は使用する材料に関する知識を持って対処すべきである。プリントクリーナーとリグロインのみならず、他の版種で使用する材料、特に友の会で販売する材料についても、有害な物質の有無を確認し、使用方法を検証が必要と言える。

アトリエ利用者自らも正しい知識を備えるため、日

本美術家連盟が刊行しているハンドブック『美術家の健康と安全 2017年版』などをアトリエ内に設置し、利用者とも情報を共有していきたい。

従来の版画が新技法で代替できるものでもなく、有機溶剤を使用せざるを得ない場合はあり、また、従来の技法を利用者が選択される場合もある。その技法を全く否定するのではなく、極力使用量を減らすとか、使用方法に注意を払う工夫が必要である。

また、ノントキシックが広がりつつある中で、健康に配慮した新たな技法や材料も考案されており、そういった有機溶剤を使用しない版画を積極的に取り入れ、子どもや、長期的、継続的な制作にも安全な技法を積極的に講座などでは取り入れ、長くつきあえる版画を紹介していきたい。

註

(1) 愛媛県美術館のアトリエは、アトリエ1を版画の部屋、アトリエ2を写真、染織、紡ぎ、木工など多目的な部屋とし、室内に設置している機材、道具を利用した創作ができるスペースとして、一般利用者に無料開放している。アトリエでの講座や団体対応なども実施している。

(2) 株式会社ナカタニの製品名はプリントクリーナー Rである。

(3) 安全データシート (Safety Data Sheet) は、化学物質および化学物質を含む混合物を譲渡または提供する際に、その化学物質の性質や危険性・有害性及び取扱いに関する情報を化学物質等を譲渡または提供する事業者等に提供するための文書である。化学物質等を取り扱う労働現場において化学物質を適切に管理することが必要であるとの認識から、平成12年4月から労働安全衛生法において、SDSの提供が義務化された。

(4) GHS「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals: GHS) の危険有害性を示す分類。

(5) 目に対する重篤な損傷・眼刺激性の区分2は2A [強い眼刺激]と2B [眼刺激]に分かれる。

(6) 銅版画での油性インクを清掃する方法を想定している。全ての版材、版種で応用できる方法ではない。

参考文献

厚生労働省安全衛生部編『化学物質の危険・有害便覧』中央労働災害防止協会、2002年。

武蔵篤彦「ポリマー版画、感光性樹脂版による版画技法」『京都精華大学紀要』第三十二号、2007年。p.25-44

中林中良「美術家の健康と安全(1)」『連盟ニュースNo.423』社団法人日本美術家連盟、2007年。p.1-2

後藤富美子「美術家の健康と安全（2）」『連盟ニュースNo.424』社団法人日本美術家連盟、2007年。p.1-2

佐藤一郎「美術家の健康と安全（3）」『連盟ニュースNo.425』社団法人日本美術家連盟、2008年。p.2-3

西村公泉「美術家の健康と安全（4）」『連盟ニュースNo.426』社団法人日本美術家連盟、2008年。p.10-11

橋本弘安・尾藤衛己「美術家の健康と安全（5）」『連盟ニュースNo.427』社団法人日本美術家連盟、2008年。p.8-9

田島泰幸「美術家の健康と安全（6）」『連盟ニュースNo.428』社団法人日本美術家連盟、2008年。p.1-2

湊七雄「非毒性版画技法を応用した美術教材の開発研究」『大学版画学会』第41号、2012年。p.34-41

マルニックス・エヴェラルト「もうそこまで来ている、版画の未来。」『版画学会』第45号、2016年。p.25-30

湊七雄「ノントキシック版画技法の普及に向けたワークショップの開発」『版画学会』第45号、2016年。p.31-40

湊七雄、マルニックス・エヴェラルト『PRINTAMAKING WORKSHOP ARTIST'S GUIDE ノントキシック銅版画への誘い』湊七雄研究室 国立大学法人福井大学教育地域科学部、2016年。『美術家の健康と安全 2017年版』一般社団法人 日本美術家連盟、2017年。（web版）

『リグロイン 化学物質等安全データシート』大伸化学株式会社、2011年。

『プリントクリーナーR 安全データシート』株式会社ナカタニ、2016年。

参考ウェブサイト

土居誠「北山銅版画室」<http://www.hanga.info/>

石山直司「石山直司って誰？」<http://www.kolumbus.fi/naoji/>

Friedhard Kiekeben「nontoxicprintNontoxic Printmaking, Safe Painting & Printed Art」<https://www.nontoxicprint.com/>

厚生労働省「職場のあんぜんサイト」

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>

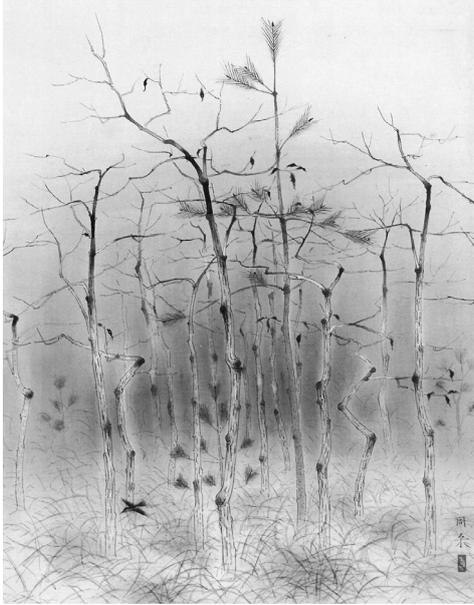


図1
雪木立
昭和5年（1930）



図2
牡丹
昭和11年（1936）頃



図3
夕月
昭和14年（1939）



図4
山
昭和29年（1954）

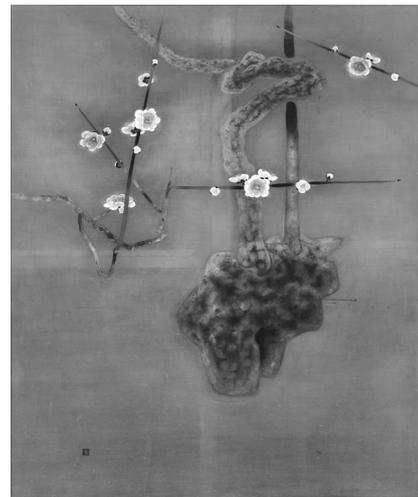


図5
梅
昭和32年（1957）

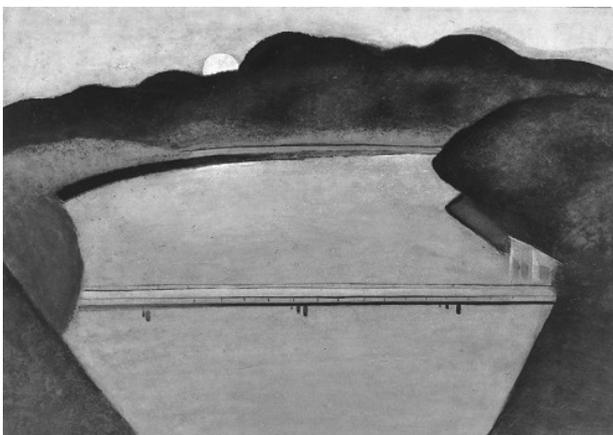


図6
濠の月
昭和36年（1961）

愛媛県美術館所蔵・寄託 高橋周桑作品一覧 (平成30年度末現在)

表1【所蔵作品】

	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm/縦×横)	出品歴	収蔵年度
No.1	冬木立	昭和5年(1930)	紙本着色・額	65.0×50.0		昭和59年(1984)度寄贈
No.2	鷺	昭和15年(1940)	絹本着色・額	38.5×49.5		昭和52年(1977)度寄贈
No.3	新樹	昭和25年(1950)	紙本着色・額	50.0×57.0		平成29年(2017)度寄贈
No.4	春蘭	昭和25年(1950)	紙本着色・額	77.0×45.0		平成29年(2017)度寄贈
No.5	鮎	昭和26年(1951)	紙本着色・額	23.5×26.5	第18回新制作協会展	平成29年(2017)度寄贈
No.6	柿	昭和26年(1951)	紙本着色・額	43.0×51.0		平成29年(2017)度寄贈
No.7	牡丹	昭和27年(1952)	紙本着色・額	59.0×49.0		平成29年(2017)度寄贈
No.8	山	昭和29年(1954)	紙本着色・額	108.0×147.0	第18回新制作協会展	平成29年(2017)度寄贈
No.9	松と鳥	昭和29年(1954)	紙本着色・額	39.0×48.0		平成29年(2017)度寄贈
No.10	菖蒲	昭和29年(1954)	紙本着色・額	52.0×44.0		平成29年(2017)度寄贈
No.11	白木蓮	昭和30年(1955)	絹本着色・軸	43.0×49.5		昭和48年(1973)度寄贈
No.12	富士と松原	昭和30年(1955)	紙本着色・額	50.0×42.0		平成29年(2017)度寄贈
No.13	鉄仙瓶	昭和31年(1956)	紙本着色・額	60.0×59.0		平成29年(2017)度寄贈
No.14	梅	昭和32年(1957)	紙本着色・額	136.0×112.0	第21回新制作協会展	平成29年(2017)度寄贈
No.15	濠の月	昭和36年(1961)	紙本着色・額	60.0×86.4		昭和59年(1984)度寄贈
No.16	雪木立	昭和36年(1961)	紙本着色・額	74.8×66.6		平成29年(2017)度寄贈
No.17	皿の杏	昭和36年(1961)	紙本着色・額	39.0×50.0		平成29年(2017)度寄贈
No.18	木立	昭和37年(1962)	紙本着色・額	60.0×50.0		平成29年(2017)度寄贈
No.19	林	昭和38年(1963)	紙本着色・額	52.0×40.0	新制作協会日本画部春季展 (1964年 ※遺作出品)	平成29年(2017)度寄贈
No.20	春暁	昭和38年(1963)	紙本着色・額	44.0×51.0	新制作協会日本画部春季展 (1964年 ※遺作出品)	平成29年(2017)度寄贈
No.21	朝顔	昭和30年代	絹本着色・額	40.2×50.0		平成6年(1994)度購入

表2【寄託作品】

	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm/縦×横)	出品歴
No.22	牡丹	昭和11年(1936)頃	絹本着色・軸	144.3×51.8	九皇会第2回展
No.23	夕月	昭和14年(1939)	絹本着色・軸	129.3×41.6	
No.24	竹林	昭和17年(1942)	紙本着色・軸	45.0×51.0	
No.25	根菜	昭和10-20年代	絹本着色・軸	39.6×49.2	
No.26	豆の花	昭和10-20年代	絹本着色・軸	52.2×51.0	
No.27	松に鶴	昭和27年(1952)	絹本着色・軸	53.3×50.3	
No.28	桜	昭和29年(1954)	紙本着色・額	69.5×72.5	
No.29	松	昭和29年(1954)	紙本着色・額	111.0×143.5	第18回新制作協会展
No.30	皿に葡萄	昭和30年(1955)	絹本着色・軸	44.8×50.4	
No.31	皿に鯛	昭和30年(1955)	絹本着色・軸	39.3×54.5	
No.32	牡丹	昭和30年(1955)	絹本着色・軸	50.9×56.3	
No.33	鮎	昭和30年(1955)	紙本着色・軸	50.7×42.2	
No.34	桃果	昭和31年(1956)	絹本着色・軸	39.3×49.9	
No.35	松と桜	昭和32年(1957)	紙本着色・ 二曲屏風一隻	142.0×139.2	
No.36	木蓮	昭和33年(1958)	絹本着色・軸	39.8×50.8	
No.37	白菜	昭和30年代	紙本着色・額	42.7×51.0	
No.38	水路	昭和30年代	紙本着色・額	67.8×67.8	
No.39	旭光之図	昭和30年代	紙本着色・額	54.0×49.8	
No.40	鉄仙蔓	昭和30年代	絹本着色・軸	52.6×51.1	
No.41	春晨	昭和30年代	絹本着色・軸	51.2×57.0	
No.42	三津富士	昭和30年代	絹本着色・軸	43.5×52.0	
No.43	蘭花	昭和30年代	絹本着色・軸	60.4×59.0	
No.44	曙	昭和30年代	絹本着色・軸	43.1×50.2	

(No. 1、図1)《牡丹》(No. 22、図2)《夕月》(No. 24、図3)といった昭和戦前期の作品は、他に現存するものが少ないだけに重要である。多くを占めているのは、一九五〇年代以降の円熟期の作品であるが、御舟没後に院展を離れて、創造美術そして新制作協会での活動の中で、新たな画風の模索・展開へと至ったことが、戦前期の作品と比較するとよく分かる。これらはいずれも、丹念な写生に基づきながらも、自然をすっきりと整理し、自己の内面で再構成して画面に定着させている。中でも《山》(No. 8、図4)《梅》(No. 14、図5)《濠の月》(No. 15、図6)などに顕著な、抽象的な象徴性を帯びた表現は、あまりに偉大な師・御舟の存在に苦悩したという彼が、それを乗り越えて到達した独自のものと言えよう。晩年のインタビューで周桑は「日本画は古いなんてよくいわれるが、どぎつい原色を塗りたくった絵が多い今日、夢みたいな絵があってもいいじゃないか。もちろん基礎がしっかりしていなければいけないが」と語っている。「夢みたいな絵」とは、言い換えるなら「純化された幽玄な表現」とでもなるうか。また、昭和二十三年(一九四八)の第一回創造美術展の審査の様子を取材した土門拳が語るところによると、当時美術界を席巻しつつあった抽象主義の傾向を、会として容認するか否かの議論が起き、同人たちの間でも意見が二分したが、最終的には周桑の「問題はアブストレーだからどうということではなく、その作品自体が絵画として真に美しいか、美しくないかということとで決定しなければならぬ」という主張で、落着いたという。こうした彼の発言や信念を振り返りつつ、改めて作品を見渡すと、自然を捉えながら、どこか夢幻的な空間を造り出している周桑の作風であるが、それは決して感覚主義的なものではなく、揺るぎない描写と構成の力量の上に成立していることを実感できる。そこに、御舟の厳格で真摯な教えを継承し展開させた、高橋周桑という画家の本質が見て取れるであろう。

参考文献

- ・『高橋周桑展』図録 愛媛県立美術館分館 一九八四年
- ・「気骨の日本画家 高橋周桑の生涯」(1)～(6) 『愛媛新聞』一九八四年四月二十一日～二十六日
- ・『速水御舟とその周辺 大正期日本画の俊英たち』図録 世田谷美術館 二〇一五年

御舟没後には、義兄・吉田幸三郎が遺品の整理・管理するのを助け、大いに頼りにされた。

(2) 昭和戦前期

昭和三年（一九二八）、再興第一五回院展に《春閑》で初入選を果たし、さらに同五年（一九三〇）の再興第一七回院展では《秋草》を出品、太田聴雨とともに院賞を受賞、院友となった。同七年（一九三二）、再興第十九回院展に《銀座（一）（二）（三）》を出品。同年に郷倉千鞆門下の豊島志ま子と結婚し、平林寺近くの埼玉県北足立郡片山村堀之内（現・新座市）に居を構えたが、翌年には東京都目黒区三谷町に転居した。同九年（一九三四）、日本橋高島屋で第一回個展を開催。再興第二十一回院展に《競馬》を出品。さらに、奥村土牛、吉岡堅二、溝上（小倉）遊亀、太田聴雨、寺島紫明らと関尚美堂主催の「九阜会」同人となる（のちには上村松篁、徳岡神泉、山口華楊も参加）。同一〇年（一九三五）に師の御舟が享年四〇歳で逝去、以後は師に就くことはなかった。同十五年（一九四〇）、橋本明治、加藤栄三、吉岡堅二、山本丘人、福田豊四郎らとともに第一回「丹光会」を開催、同年、目黒区鷹番に転居。同十六年（一九四一）、再興第二十八回院展に《鶴》を出品。この頃より、京都、奈良を訪ねる。同十八年（一九四三）、文楽の吉田栄三に心酔、新橋演舞場に毎日通う。同年の第三十回再興院展に《文楽吉田栄三（義経千本桜）》を出品。また同じ頃、文楽を撮影していた写真家・土門拳とも親交を結んだ。

(3) 戦後

昭和二十二年（一九四七）、再興第三十二回院展に《陳列室（須菩提）》を出品して無鑑査となったが、翌年、四十八歳の時に院展を離れて、東京の山本丘人、吉岡堅二、福田豊四郎、橋本明治、加藤栄三、そして京都の上村松篁、奥村厚一、菊池隆志、向井久万、秋野不矩、沢広朝、広田多津らとともに「世界性に立脚す

る日本絵画の創造を期す」ことを綱領とし、「在野精神に立脚し官展に関与せず」を規約とする新たな美術団体「創造美術」を創立した。第一回創造美術展に《白垂夜景》《室内仏》《ダリア》を出品。同二十六年（一九五一）、創造美術は新制作派協会と合流して新制作協会日本画部（現・創画会）となり、会員として活動。以降、同三十六年（一九六一）まで毎年、新制作協会展に出品を続ける。同二十九年（一九五四）、日本橋高島屋、大阪梅田画廊で個展開催。以後も、同三十六年（一九六一）までに三度個展を開催した。この時期は、御舟作品のコレクターであった演出家・武智鉄二（一九二〇〜八八）と出会い、互いに芸術論を夜通し戦わせて親交を深めた。この縁で、周桑は、武智演出による舞台の舞台衣装と舞台美術を、昭和二十九年（一九五四）、三十一年（一九五六）に担当した。同三十三年（一九五八）、妻・志ま子が逝去、自身も胸を病む。同三十五年（一九六〇）には、同じ愛媛出身で新制作協会洋画部にいた古茂田守介（一九一八〜六〇）と、松山において二人展の開催を計画していたが、この年に守介が亡くなり実現しなかった。同三十八年（一九六三）、病状が悪化し入院、翌年二月二十七日に享年六十三歳で逝去した。同年、新制作協会日本画部春季展に絶筆《春暁》《林》《鉄仙花》を遺作出品した。

当館所蔵・寄託の周桑作品

当館が現在所蔵している周桑作品は、計二十一点（表1）。そのうち、十五点は、昨年（平成二十九年）度にご遺族より寄贈を受けたものである。これらは、周桑自身が生前手放すことなく手許に大切に置いておいた作品ということもあり、新制作協会展出品作二点や絶筆を含む優品ばかりである。さらに、ここ数年で、県内の個人所蔵作品の寄託も計二十三点（表2）を受け入れており、これらもあわせると、周桑その人の表現の個性や展開を、相応に展望し、理解しうる内容となっている。

師・御舟の影響がよく認められる、繊細で透徹した描写力が冴える《冬木立》

高橋周桑 人と作品

長 井 健

はじめに

高橋周桑（一九〇〇〜六四）は、愛媛県西条市出身の日本画家である。速水御舟（一八九四〜一九三五）の数少ない内弟子として、戦前は院展で活動し、さらに戦後は新しい日本画創作を目指して、山本丘人らと美術団体「創造美術」結成に携わるなど、本県出身の日本画家としては重要な足跡を残しているが、本格的な回顧展は、没後二十年の昭和五十九年（一九八四）に開催した愛媛県立美術館分館での展示のみであり、また没後五十年を経た現在、残念ながらその画業や作品を語る機会は少なくなっている。

そのような中、当館では昨年（平成二十九年）度、ご遺族より計十五点の作品を寄贈いただき、収蔵作品が格段に増えることとなった。さらにここ数年で、個人所蔵者からの寄託品も二十数点が加わり、当館において周桑の画業についてある程度展望できる環境が整ったと言える。この好機に、改めて周桑の画業についてまとめておく次第である。加えて、当館所蔵および寄託の周桑作品についても紹介したい。

生涯と画業

（一）出生〜御舟入門

周桑は、明治三十三年（一九〇〇）十二月二十三日、本県周桑郡庄内村大字巨ノ上（現・西条市）に、代々庄屋を務める高橋家の七人兄弟の六番目の子として

生まれる。本名は千恵松。明治四十二年（一九一七）、父と長兄が事業に失敗、家族で九州に移住し、此地で少年時代を過ごす。一家の働き手として、炭坑や陶石採掘、旅館の番頭、菜園の手伝いなどに従事したという。大正七年（一九一八）、十八歳の時に、『萬朝報』に掲載された速水御舟の《洛北修学院村》（現・滋賀県立近代美術館蔵）の展評を読み、さらに画集を見て感銘を受け、画家を志すようになる。同十年（一九二一）、御舟に何度も入門希望の手紙を出すもの、この時自身も二十七歳という若さであり、自らの制作に専念したいことから、弟子を取らない主義だった御舟はその都度断る。同年末に上京した周桑は、新聞販売の職そして下宿先を周到に決めてから、御舟を訪ねて直談判し、その熱意に根負けした御舟は、ついに入門を許された。もともと御舟は、周桑を弟子としてではなく、一緒に研究する仲間として迎え入れた。「周桑」の号は、出身地に因んで御舟から与えられたものである。当時、御舟は結婚直後で、目黒の大地主で芸術支援家であった義兄の吉田幸三郎宅に住んでいたが、周桑は一人で画室の世話をするなど、常に傍らにあつて、厳格で親密な師弟関係を築いていった。周桑はこの関係を「それは親鶏が雛に餌を口移しにやるやうな実に慈愛に満ちたものでした」（『美術評論』四一―二、昭和十年四月）と述懐している。同十二年（一九二三）、御舟とともに、武蔵野野火止（現・埼玉県新座市）の臨濟宗妙心寺派の古刹・平林寺に仮寓し、絵画修行と参禅に励んだ。『萬葉集古義』などの古典にも親しんだという。以後、昭和十年（一九三五）に御舟が亡くなるまでの十九年間、周桑は師を支え続けた。

愛媛県美術館
平成29年度年報・研究紀要第17号

平成31年2月発行

発行所 愛媛県美術館
愛媛県松山市堀之内
TEL.089-932-0010
FAX.089-932-0511

印刷所 株式会社 明 朗 社

